

ガムクール GUMCOOL

環境対応型改質アスファルトシート防水
ー 常温粘着工法 ー

環境対応型改質アスファルトシート防水

GUMCOOL ～ガムクール～

アスファルト防水、年間30,805,000㎡^{*1}の実績と信頼

旧約聖書にノアの方舟の防水材料として登場する「アスファルト」は、防水に用いる素材としては、最古のものとされています。古来より用いられてきた「アスファルト」は21世紀となった現在でも雨漏りを防ぐための材料として、建物の屋上に最も多く用いられています。日本で1年間に施工されるアスファルト防水は、約30,805,000㎡、渋谷区と中野区をすっぽり覆うことができるほどの面積^{*2}です。なぜアスファルトは、これほど長く、かつ多くの屋上に防水材料として利用されてきたのでしょうか?「水を通さない」という機能はさまざまな素材に求めることが可能です。しかし、多様な形状を持つ建築物にしっかりと防水をするためには、その形状にあわせて現場で確実に施工できなければなりません。そこで、熱を加えると溶け、冷えると固まるという性質を利用することで、多様な建築現場に合わせて確実に防水層を構築できるアスファルトこそが防水材料として最適とされ、これほど長く活用されてきたのです。

*1 矢野経済研究所「防水市場白書」2000～2010のデータより、アスファルト防水と改質アスファルト防水の合計年間平均数値を算出。
*2 国土地理院「平成22年 全国都道府県市区町村別面積調」より算出。

時代の要請は、新築から改修へ ～改修型アスファルト防水への進化～

21世紀を迎え、かつての新築ビル・マンションが乱立した時代から、いかにして今ある建物を長持ちさせて使っていくか、という「ストックマネジメント」の時代へと移ってきました。時代の要請は「防水性能が高い」ということにとどまらず、「ライフサイクルコストが有利」「居住中、使用中でも問題なく工事できる」ということにも及んできています。

ガムクール防水は、アスファルト防水の問題とされる、臭いと煙の発生を抑えるため、ゴムアス粘着層による強力な接着性を利用し、大型火器や大型工具を用いることなく確実な防水層を施工できるように進化した、いわゆる「冷工法」という防水工法です。この「冷工法」を、現在の劣化したアスファルト防水の上にかぶせて施工することで、元々ある防水層の性能も取り込んだ重厚なアスファルト防水改修を行うことが可能となり、ライフサイクルコストの面でも大きなメリットを生み出します。

ガムクール防水は、「ストックマネジメント」の時代にマッチした、改修に最適な防水システムなのです。



目次

ガムクール防水について	3	アスファルト系下地処理材／仮防水材	39
ガムクール防水の特長	4	保護塗料	41
ガムクール防水 仕様番号一覧	13	保護仕上げ材	43
ガムクール防水仕様		技術資料	
《接着工法》		防水性能	45
砂付仕上げ・断熱複層工法	15	耐風圧性能	48
砂付仕上げ・複層工法	17	納まり図例	51
砂付仕上げ・単層工法	19	材料紹介	55
押えコンクリート仕上げ・複層工法	20	材料一覧	69
軽歩行パネル仕上げ・複層工法	21	ガムクール防水の維持管理	73
軽歩行ブロック仕上げ・複層工法	23		
《機械的固定工法》			
砂付仕上げ・複層工法	25		
砂付仕上げ・複層工法 （機械的固定・接着剤併用）	27		
勾配屋根工法	29		
官公庁仕様	31		
塗膜防水併用工法～アスクール～	35		
塗膜防水併用工法～オルタックエース～	36		
塗膜防水併用工法～アクアベース～	37		



ガムクール防水

ガムクール防水は、改質アスファルトを主原料としたシートを貼り重ねて防水層を構成する工法です。

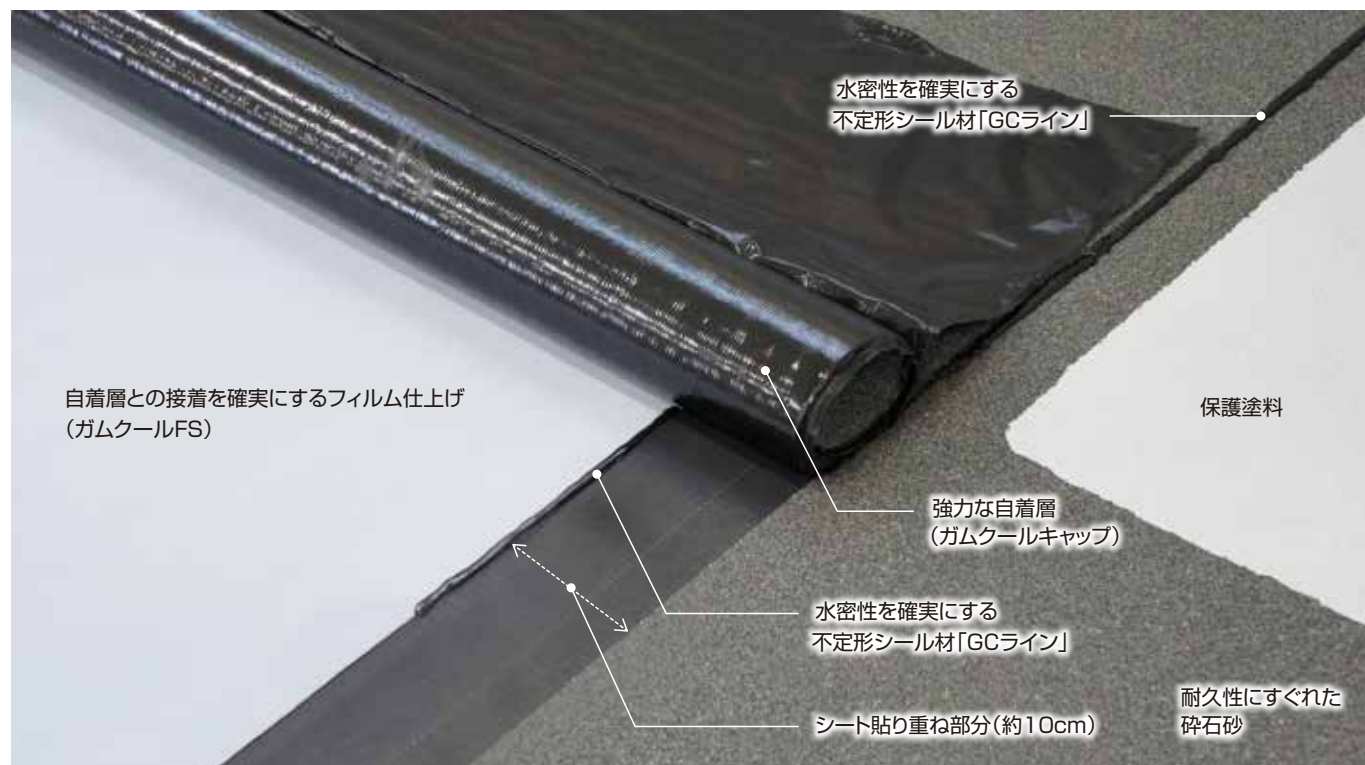
シート同士を約10cmずつ重ね、その部分にシール材を充填することで水の浸入を防ぎます。

ガムクールの裏面には、予め工場にて「自着層」と呼ばれる強力な粘着材が塗布されています。

この自着層が、隙間無く、かつ強力に既存の防水層やコンクリートへ密着し、シール材との連係で確実に水を防ぐ効果を発揮します。

さらに性能アップした新・ガムクール

リニューアルした新・ガムクールは、製品を構成する改質アスファルト層の最上層を、より熱に対して安定した性能を発揮するように改良しました。最も温度変化の影響を受けやすい層と表面砂を改良したことで、これまでよりさらに優れた耐久性能を発揮します。



水密性を確実にする副資材群

ガムクール防水には、防水の要となるシート類の他に、このシステムを支える副資材があります。一般的に、シート系防水材はドレン廻りやコーナー出入隅などの複雑部位はどうしても切り込みを入れなければならず、弱点になりがちですが、ガムクール防水の場合は伸縮性に優れた特殊シート「エンシンシート」を使用すれば、切り込みを入れずに納めることができます。防水のポイントとなるシートラップ（重ね）部には、「GCライン」「ガムラップ」「ガムホット」などのシール材が欠かせません。これら以外にも、既存下地に対応する下地処理材や改修用二重ドレンなど、“防水”という機能を完遂するための様々な配慮が、ガムクール防水を支えています。

《エンシンシートで納める複雑部位》



《GCラインを用いたラップ処理》



GUMCOOL

ガムクールが支持される4つの理由

- 特長1. 防水層を再利用
- 特長2. 断熱効果で快適空間創造
- 特長3. 高反射塗料で防水層を延命
- 特長4. 屋上空間をカスタマイズ

防水層を再利用 FEATURE-1

ガムクール防水の特長 1

熱アスファルトからガムクールへ

ガムクールが誕生したのは1986年(昭和61年)。まだ新築工事が全盛だった建築業界で、今後需要が高まるであろう改修分野にいち早く着目し、開発されました。熱アスファルトのすぐれた性能を引き継ぐ一方、改修工事に必要な機能を備えた「ガムクール防水」は、以来25年以上、建物の屋上を改修し続けています。

防水改修は、再生工法で

長期間にわたり、雨漏りから建物を守ってきた防水層。紫外線や熱を受け続けた防水層は、施工後10年を越えると傷みが目立つようになります。そこで必要となるのが防水層の改修工事。漏水などの不具合が起こる前に計画しましょう。ここで検討しなければならないのが、今まで建物を守り続けた防水層の処置です。できれば、瞬時に新しい防水層と取って代わり、安全に改修工事を済ませたいものです。しかし、広い屋上の防水層施工には時間がかかります。

何か良い考えはないでしょうか。

そこで、考えだされたのが「再生工法」です。既存の平面防水層を撤去せず、新設の防水層をかぶせて施工する改修工法のことです。既存の防水層の上に新設する防水層をかぶせるため、施工中の雨漏りを防止することが出来ます。

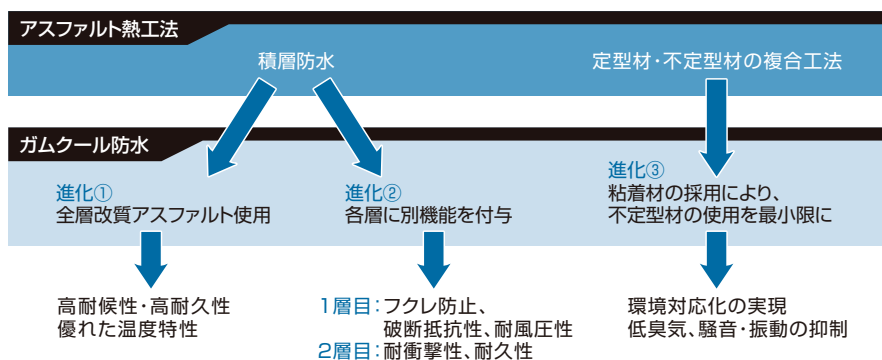
また、防水層を撤去する費用や工程も省略することができるため、振動や音も少なく、建物を利用しながら防水施工をすすめる改修工事に最適な工法といえます。

再生工法に適したガムクール防水

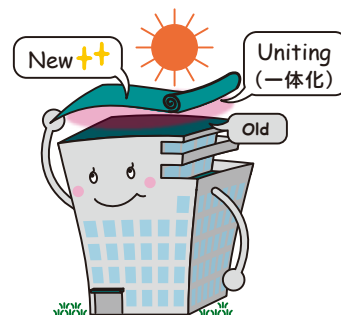
再生工法を採用するなら、やはり同じ材質の物を重ねるのが相性において最適です。同質同士ならお互いしっかりと接し合い、一つの防水層として機能するからです。ガムクール防水は、アスファルト防水の長所を継承しつつ、施工時の諸問題を解消した工法です。



アスファルト熱工法からガムクール防水へ



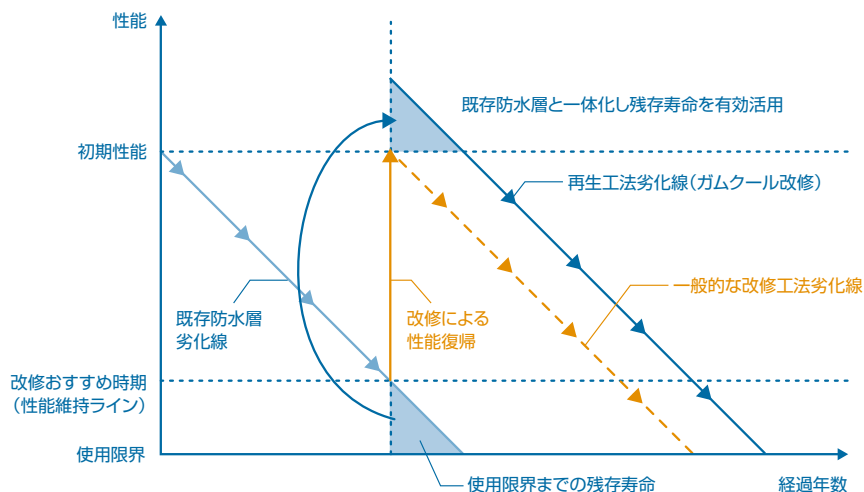
既存防水層としっかり一体化されるよう
主となる防水シートに加え、下地処理材や
シール材などの補助材も充実しています。



アスファルト防水の改修は ガムクールで

アスファルト防水層の寿命は一般に15年前後がひとつの目安となっています。経年した防水層は改修し、新たに防水機能を付与させることが必要です。古い防水層(既存防水層)は、一部分に問題が発生し漏水が起きるケースがほとんどで、100%劣化しているわけではありません。ガムクールなら、専用下地処理材を用いることで、既存防水層の上に新しい防水層を貼り重ね一体化させ、既存防水層の残存寿命を有効活用することができます。

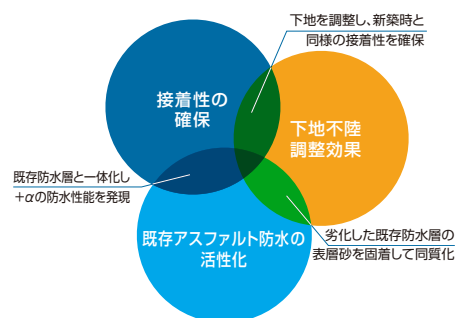
再生工法のイメージ



再生工法をサポートする下地処理材 「リベース」「クールベース」

一般に防水層はコンクリートで保護されている場合と、防水層が表面に露出している場合があります。露出の場合の防水層最上層は、紫外線からの保護のため碎石が撒布された仕上げとなっています。防水層の経年劣化が進行すると、その表面砂の固着力が低下するなどの現象が

現れ、新規防水層との接着力が不十分になる恐れがあります。そんなときに活躍するのが下地処理材。「リベース」「クールベース」は旧防水層の下地表面に塗布することで、新規防水材施工に最適な状態へ蘇らせるアスファルト系材料です。



次回の改修も「再生工法」ガムクールで

目の前の改修もまだなのに、その次の改修の話をされても……と思われるかもしれません。

しかし建物の寿命を考えると、防水層の改修は1回限りではありません。この先数回の改修も視野に入れて、最善の道を選択するのが上手な改修のポイントです。再生工法には、既存防水層を活かしつつ何度も重ねて改修できるという利点があります。

最初の改修にガムクール防水を採用することは、長期の防水機能と、先々の改修容易性を手に入れることになるのです。



断熱効果で快適空間創造 FEATURE-2

ガムクール防水の特長 2



省エネの基本は外断熱

屋上の役割は「雨漏りを防ぐ」だけではありません。

夏には灼熱の太陽光を浴び、冬には積雪や凍害の影響を受けます。

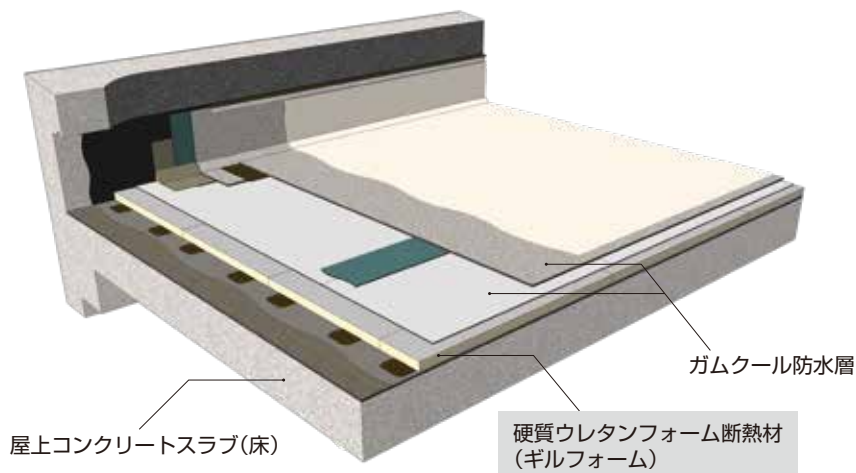
屋上の多大な熱損失はエネルギーの無駄使いとなるばかりではなく、熱による躯体の膨張・収縮を引き起こし、建物そのものの劣化原因ともなります。

このような事態を避けるため、必要となるのが躯体を断熱材で包む「外断熱」です。外気温の変化から躯体を守り、室内の温熱環境を一定に保つ外断熱は、熱による躯体の膨張収縮を防ぐだけではなく、エネルギーの効率も向上させます。

その一方で、外断熱のポイントになるのが70℃にもなる断熱材の直上に来る防水材の耐久性です。

70℃を越える過酷な環境においても、ガムクール防水はその高耐久性により、確かな防水性能を維持します。

ガムクール防水外断熱工法 GSS-200S



ガムクール防水外断熱工法

建物の屋根はエネルギー損失の多い部位ですが、外断熱機能を付加することで大きく改善ができます。断熱材を用いる場合、建物の内側(内断熱)か、外側(外断熱)のいずれかに設置するのが一般的です。

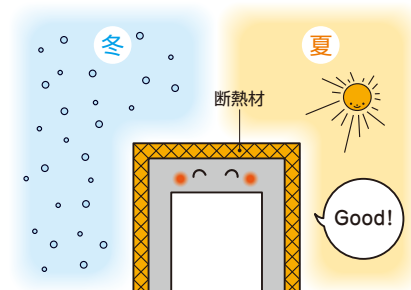
かねてより、私たちは外側に設置する外断熱工法をお勧めしてきました。

外断熱工法は、建物を外部温熱環境から守り、結露を抑制するなどの効果をもたらし、省エネ、CO₂削減にも貢献する優れた工法です。新築時に外断熱でなくてもガムクール防水なら、改修時に断熱機能を付加することができます。

外断熱の効果

夏の暑さ、冬の寒さなど熱の影響を和らげ、建物を保護するには、断熱材が活躍します。断熱材はコンクリートなどの躯体の外側に設置する「外断熱」と、室内側に設置する「内断熱」の2種類があり、現在は外断熱が主流となっています。それは、外断熱が次のようなメリットがあるからです。

- 外側から断熱するため、外部の熱によるコンクリートなどの躯体の膨張・収縮を抑制し建物の負担を抑え、長寿命化を実現します。
- 外部の熱の影響を受けにくいため、冷房・暖房効率が上がり、省エネをしつつ快適な居住環境を生み出します。
- 内断熱に比べ、屋内結露を抑制します。



「プラスワン断熱」という考え方

断熱が施されていない屋根を、断熱工法で改修すると、かなりの効果が実感できるでしょう。一方、すでに新築時に断熱施工されている屋根だと、防水の改修だけで事足りるのでしょうか。

ご存じの通り、省エネルギーやCO₂排出量削減のため、建物に要求される断熱性能は年々高まってきました。

国土交通省が定めてきた省エネ基準では、過去数回に渡って基準とすべき断熱材の厚みを増やしています。

特に1999年の次世代省エネ基準が登場した背景には、温室効果ガス(主にCO₂)の排出削減が急務であるにもかかわらず、日本では民生部門のCO₂排出量が逆に増加していたことがあります。そのため、住宅分野におけるCO₂の排出削減の切り札として設置されたと言えます。このような流れを振り返ると、十数年以上前に施工された断熱材の厚みは、現在の基準

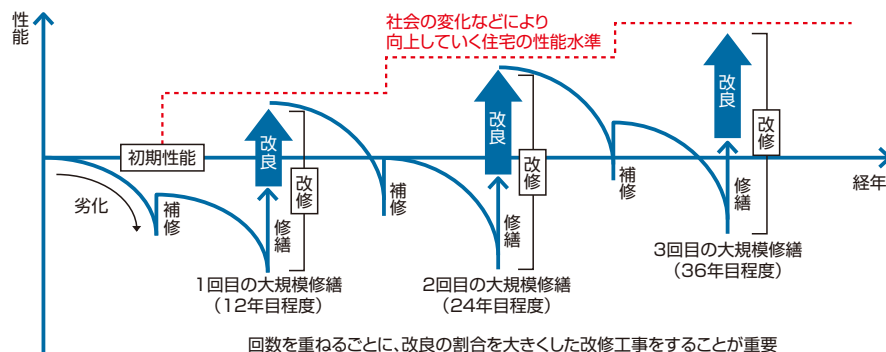
に不足している可能性が高いことは否めません。

ガムクール防水では、既存の断熱防水層の上に比較的容易に断熱材を施工することが可能です。実際に断熱材を重ねることで、今までよりさらに屋内温度環境が改善し

冷暖房費がより少なくなるなどの効果を得ることができます。

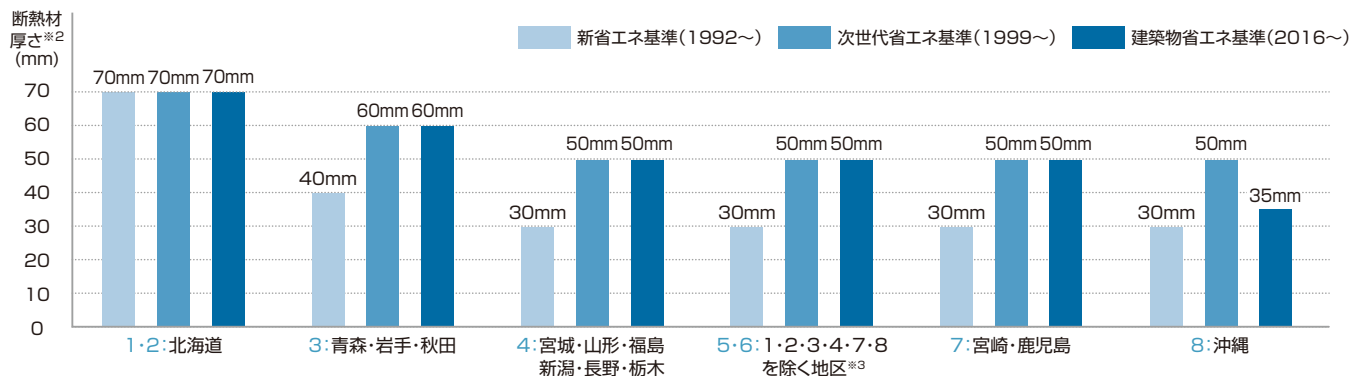
すでに在る断熱材の上に、もう1枚断熱材を重ねる＝プラスワン断熱は、住まい手の実利と社会環境対応の双方を満たすことができる工法です。

「原状回復」の修繕だけでは社会の求める性能水準に追いつけない



改修：現状レベルを現時点で望まれる水準まで改善する 修繕：現状レベルを建設当初の水準まで回復させる
補修：現状レベルを実用上支障のない水準まで回復させる
「改修によるマンションの再生手法に関するマニュアル／国土交通省04年6月(10年7月改訂)」より抜粋

新旧省エネ基準による各地区の断熱材厚さの違い※1



※1 「新省エネ基準」「次世代省エネ基準」「改正省エネ基準」は、地区分けが一部異なっています。上グラフは改正省エネの地区分けです。市町村によっては他の地区に区分されることがあります。 ※2 硬質ウレタンフォーム「ギルフォーム」を使用した場合の厚さ
※3 茨城県・群馬県・埼玉県・千葉県・東京都・神奈川県・山梨県・静岡県・愛知県・三重県・富山県・石川県・福井県・岐阜県・滋賀県・京都府・大阪府・兵庫県・奈良県・和歌山県・鳥取県・島根県・岡山県・広島県・山口県・徳島県・香川県・愛媛県・高知県・福岡県・佐賀県・長崎県・熊本県・大分県

注意事項
・省エネ基準の適合判断以外に適用することはできません。

高反射塗料で防水層を延命 FEATURE-3

ガムクール防水の特長 3



保護塗料に求められる新たな役割

かねてより、防水保護塗料は主に紫外線から防水層を保護する目的で使用されてきました。しかし、現在は、高反射・遮熱機能を抜きに保護塗料を語るができない時代になりつつあります。

その理由として挙げられるのが、外断熱工法の普及です。外部からの熱を遮るには、断熱材を躯体外側に施工する「外断熱」がもっとも効果を発揮します。その一方で断熱材上の防水層は、断熱材で侵入を遮られた日射の熱量をすべて受け止めることになるため、特に夏場、高温となり劣化の進行が速くなる傾向にあります。そこで防水層の強い味方となるのが、高反射塗料です。

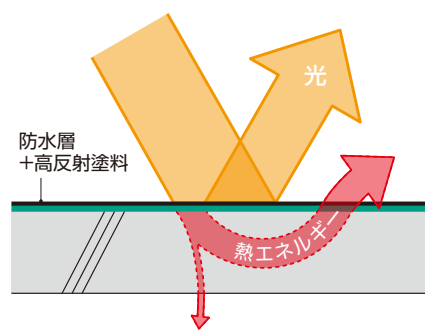
高反射塗料の機能

高反射塗料は、防水層表面に塗布することで太陽光を反射して防水層の温度上昇を抑制し、熱による防水層劣化を抑制します[※]。防水層が長持ちすることで建物自体の耐久性が向上します。

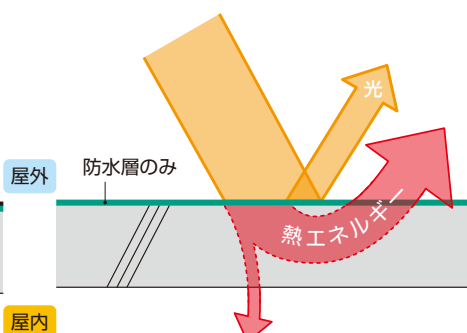
また、温度上昇を抑えることは、防水層をより長持ちさせることにつながるだけではなく、都市部で問題となっているヒートアイランド現象の緩和にも貢献します。外部熱を遮る断熱材、断熱材上の防水層温度上昇を抑制する高反射塗料。防水機能を延命しつつ住環境を快適にする、二者はもはや切り離して語ることのできない組合せです。

[※]防水層の表面温度と保護効果についての詳細は44ページをご参照ください。

高反射塗料ありの屋根



高反射塗料なしの屋根



太陽光は物体(屋上)に当たった時点で熱エネルギーに変換されます。屋上に高反射塗料が施されていると、太陽光が表面で反射するため、光の総量が少なくなり、その結果熱エネルギーに変換される量も減少します。いったん変換された熱は、外気に放射されるものと室内に流入されるものに分れます。外気に放射される熱はヒートアイランド現象の要因となるため、太陽光をより多く反射させることが、ヒートアイランドの緩和につながります。

高反射塗料 SPシリーズ

防水層の表面に塗布することで、高反射・遮熱機能を発揮し、防水層の温度上昇を大幅に抑制します。エマルジョン系塗料ですので、施工時の火災や中毒の心配ありません。明るい色調は、屋上を軽やかなイメージに仕上げます。SPスーパーサーモコート、SPサーモコート、SPクリーンカラー、SPファインカラー、SPミッドカラーは全色、日射反射率の近赤外線領域がグリーン購入法^{*}に適合する防水層保護塗料です。

^{*}循環型社会の形成のために、平成12年5月制定された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」

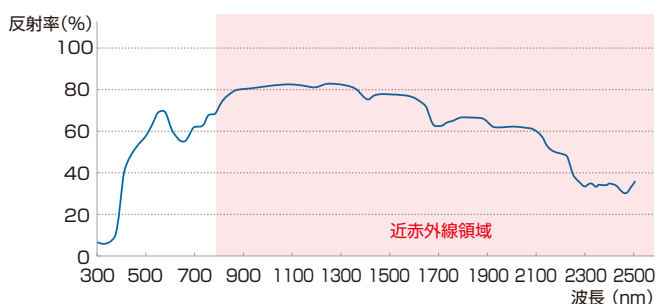
試験結果

(財)日本塗料検査協会試験による

品名	日射反射率(%)		
	全波長領域 300~2500nm	可視光領域 300~780nm	近赤外線領域 780~2500nm
SPサーモコート サーモグリーン (TH-29)	64.5	56.0	75.9

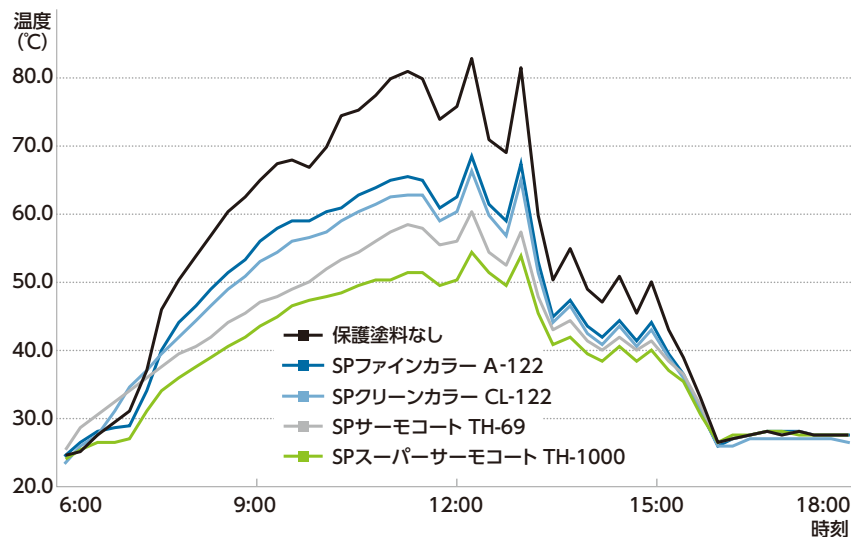
^{*}近赤外線領域は可視光領域に比べ熱に変換されやすく、この領域をより多く反射する方が遮熱効果が高いことになります。

分光反射率



保護塗料の有無による防水層温度推移

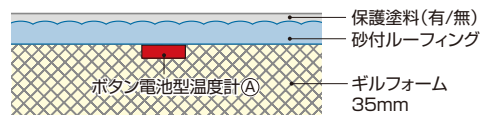
保護塗料がその効果を最も発揮する暑さ真っ盛りの時期に、ガムクール断熱防水の表面に塗料を塗布した場合と、しなかった場合の温度を比較しました。試験結果からは、およそ15℃～20℃の温度低減効果が確認できました。



測定日:2017年8月9日 測定場所:当社試験場(東京都内) 最高気温:35.7℃

試験体断面図

ガムクールキャップと、断熱材ギルフォームの間に温度計を設置し、測定

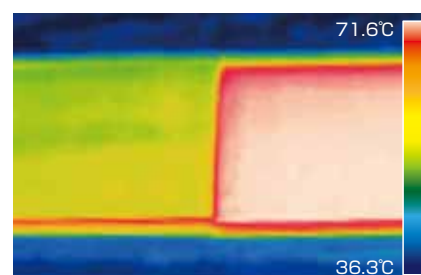


試験体	①温度℃ (12:15)	温度差 [*]
保護塗料なし	83.0	—
SPファインカラー A-122	68.5	14.5
SPクリーンカラー CL-122	66.5	16.5
SPサーモコート TH-69	60.5	22.5
SPスーパーサーモコート TH-1000	54.5	28.5

^{*}保護塗料なしを基準とした温度差

見て触れて判る表面温度の違い

夏場、屋外に設置した試験体をサーモグラフで撮影すると、高反射塗料の有無で表面の温度差がはっきりと現れます(写真・右)。実際に手で触れてみるだけでも、明らかに温度が下がっていることが体感でき、その効果を実感できます。



屋上空間利用 FEATURE-4

ガムクール防水の特長 4

豊かな屋上は、 確かな防水から生まれます

過密化する都市において、屋上は唯一残された未利用空間。いま屋上空間には、多くの期待が寄せられています。太陽光発電や屋上緑化といった積極的な利用から、緊急時の災害対策として屋上に施設名称などを記すヘリサインなど、活用方法が広がりを見せています。

しかし、このような利用方法が実現するのは、屋上の本来もっている防水機能が十分に発揮されてからこそです。雨漏りするような屋上では、このような付加価値は望めません。本格的な防水層を施してこそ、可能性が広がるのです。

ガムクール防水は、軽歩行に適した仕上材や、高反射塗料、屋上緑化を実現するための耐根層、太陽光発電モジュールを設置するための架台設置など、多様化するニーズに応え、屋上の未来を創ります。



屋上緑化

増え続けるビル、減り続ける緑に、環境問題が騒がれる、今。その対策が様々に論じられ、利便性、機能性が人々の生活を豊かにすると考えていた時代から、癒しとゆとりを求める暮らしへ変わろうとしています。

人々の暮らしが本当の豊かさに近づくた

めのひとつの手段として、田島ルーフィングでは屋上緑化に注目し、永年その研究を続けてきました。屋上を緑化することによって得られる効果は多くのものがあります。緑が人々の心に癒しをもたらし、屋上を植物と土が覆うことで夏場のクールダウン、ヒートアイランド現象の緩和、

水害を未然に防ぐ雨水の一時貯留機能など、多くのメリットがあります。その一方で、いったん屋上を緑化すると、防水層の点検・修理は大変な労力と費用を必要とするため、防水層には、耐荷重・耐根・耐久性などにおいて、通常よりも厳しい条件に耐える性能が要求されます。ガムクールを含むアスファルト系防水の特長のひとつに、要求される機能に応じて様々な種類のシートを自由に組み合わせられることがあげられます。シートを複数重ねる事で、単層よりもさらに耐久性を伸ばすことができ、最上層に耐根シートを設けることで、植物の根の侵入を防ぐ機能が備えられます。緑の癒し効果も、まずは漏水のない建物があってこそ。ガムクール防水は、屋上緑化の足元から人々の暮らしを見守っています。



※屋上緑化の詳細については、別冊「グリーンルーフストーリープラス」をご覧ください。



太陽光発電

屋上空間の利用方法として、緑化と並び注目されているのが太陽光発電。

ソーラーパネルを敷き並べることでエネルギーを自ら作り出すという、緑化とはまた違った効果をもたらします。ソーラーパネルが主役の太陽光発電ですが、じつはその足もとがとても重要です。パネル設置の際に防水層を損傷すると、即雨漏りにつながる恐れがあります。

ソーラーパネル設置のために肝心の防水が疎かになり、漏水させてしまっは本末転倒ですので、十分な配慮が必要です。

ガムクール防水は、確実な防水機能を維持するための副資材と、専用のパネル設置用基礎を組み合わせることで、太陽光発電と防水の共生を実現します。

※パネル設置用基礎の詳細については、別冊「PV-FIX」をご覧ください。



屋上を彩る仕上げ

緑化やソーラーパネルでカバーされないエリアには、高反射塗料や軽歩行用パネルなど、多様な利用目的にお応えできる各種仕上材をご用意しています。

軽歩行用のパネルは、2色から3色のパネルを組み合わせ、鮮やかなパターン仕上げも可能です。

目的に合わせて、ガムクール防水に組み合わせて使用することで、屋上利用の形態は大きく広がります。



接着工法

- 自着層による接着固定で、下地に穴を開けずに済み、既存防水層を活かした改修が可能です。(立上りは原則撤去)
- 下地に応じた各種下地処理材の選定が必要です。

既存アスファルト防水	GSS-200S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.15
	GGB-3S	複層絶縁バリキャップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.21
	GST-3SS	複層絶縁ステップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GST-3SG	複層絶縁ゴムロンタイル仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GSS-2S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.17
	GSS-2	複層密着砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.18
	GSS-1	単層密着砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.19
既存コンクリート	GCO-200SE	複層絶縁エイブロック仕上げ	断熱あり	軽歩行		p.23
	GCO-2SR	複層絶縁RBタイル仕上げ	断熱あり	軽歩行		p.24
	GCS-200S	複層絶縁砂付仕上げ(防湿層なし)	断熱あり	非歩行		p.15
	GCS-300S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.16
	GCB-3S	複層絶縁バリキャップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.21
	GCT-3SS	複層絶縁ステップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GCT-3SG	複層絶縁ゴムロンタイル仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GCO-2SE	複層絶縁エイブロック仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.23
	GCS-2S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.17
既存合成高分子防水	GPS-300S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.16
	GPB-3S	複層絶縁バリキャップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.21
	GPT-3SS	複層絶縁ステップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GPT-3SG	複層絶縁ゴムロンタイル仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.22
	GPS-2S	複層絶縁砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.17
	GPS-2	複層密着砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.18
	GPS-1	単層密着砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.19
既存躯体コンクリート(新築・室内)	GCC-200S	複層絶縁押えコンクリート仕上げ	断熱あり	歩行		p.20
	GCC-2S	複層絶縁押えコンクリート仕上げ	断熱なし	歩行		p.20

【アイコンの説明】



歩行 不特定の人が多目的に使用。
軽歩行 特定の人が特定の用途に使用。
非歩行 メンテナンス程度の使用。



機械的固定工法

下地処理が簡便だが、一定の下地強度が要求され、騒音が発生する。
 機械固定工法とは異なり、下地処理の上、自着層による接着固定で、下地に穴を開けずに改修する工法を接着工法という。



複層工法

ルーフィングを2層積層して仕上げるアスファルト系ならではの工法。高い耐久性が期待できる。また、1層で仕上げる工法は**単層工法**といい、既存がアスファルト防水で、かつ状態が良い場合に用いる。



瑕疵担保履行法

住宅瑕疵担保責任保険、および大規模修繕瑕疵担保責任保険において住宅保証機構株式会社の設計施工基準第3条の申請を行い、確認を受けた仕様。
 (保険法人ごとに申請した仕様があります。詳細は弊社営業員にご相談ください。)



断熱仕様は、断熱層を含む。(非断熱は含まない)。
 断熱層の追加により冷暖房費削減効果、躯体保護効果などが期待できる。



絶縁仕様は、自着層がストライプ形状になっており、通気性を確保しフクレを抑制、下地の動きにも柔軟に対応できる。また、下地状態が良く、フクレの懸念がない場合に**密着仕様**を用いる。高い接着力が得られ、立上り部や側溝部にも適する。

機械的固定工法

- 接着工法の採用が難しい場合などに、防水層をビスとディスクで下地へ機械的に固定する工法です。
- 下地処理が簡便ですが一定の下地強度が要求され、ドリルによる騒音が発生します。

既存コンクリート(ALCを除く)	CAS-200M	砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.25
	CAB-3M	バリキャップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAB-3R	接着併用バリキャップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAT-3MS	ステップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAT-3MG	ガムロンタイル仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAT-3RS	接着併用ステップ仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAT-3RG	接着併用ガムロンタイル仕上げ	断熱なし	軽歩行		p.28
	CAS-2M	砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.26
	CAS-2R	接着併用砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.27
既存ALC下地	CAS-200MAL	砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.25
	CAS-2MAL	砂付仕上げ	断熱なし	非歩行		p.26

勾配屋根工法

- 既存シングル葺き勾配屋根を既存防水層を活かしたガムクール防水、シングル防水による改修が可能です。

既存シングル防水	GSK-1・GSK-2・GSK-200	彩色砂付仕上げ	断熱あり	非歩行		p.29
	GS-51*シングル140	シングル仕上げ	断熱なし	非歩行		p.30

【仕様番号の見方】

接着工法

G ガムクール	S 下地	T 仕上げ	-	3S 層数	S パネル種類
全仕様共通	S 砂付 P 高分子 C コンクリート	S 砂付 B バリキャップ T 軽歩行用パネル O 押え C コンクリート K 勾配屋根		1 1層 2 2層 3 2層+保護仕上材 200 断熱、2層 300 断熱、2層+防湿層 ※※※S 1層目ストライプ	S ステップ G ガムロンタイル E エイブロック R RBタイル

機械的固定工法

CA スクール メカニカル 固定	T 仕上げ	-	3 層数	R 工法	S パネル種類
全仕様共通	S 砂付 B バリキャップ T 軽歩行用パネル		2 2層 3 2層+仕上げ材 200 断熱2層	M 機械的固定のみ R レイコーセメント併用	S ステップ G ガムロンタイル

*「GS-51シングル140」は、勾配屋根用シングル防水システム(別冊カタログ)の仕様番号です。上記のガムクール仕様番号の見方には含まれません。

【防水層重量目安と厚み表記について】(15~34ページ)

- 重量目安：下地処理材・防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。押えコンクリートは含みません。
- 厚み：防水層・断熱材・仕上げ材を含みます。下地処理材・接着剤・押えコンクリートは含みません。
※ガムクールで改修した場合の防水層仕上がり高さの確認を目的としており、ガムクール防水層そのものの厚さではありません。

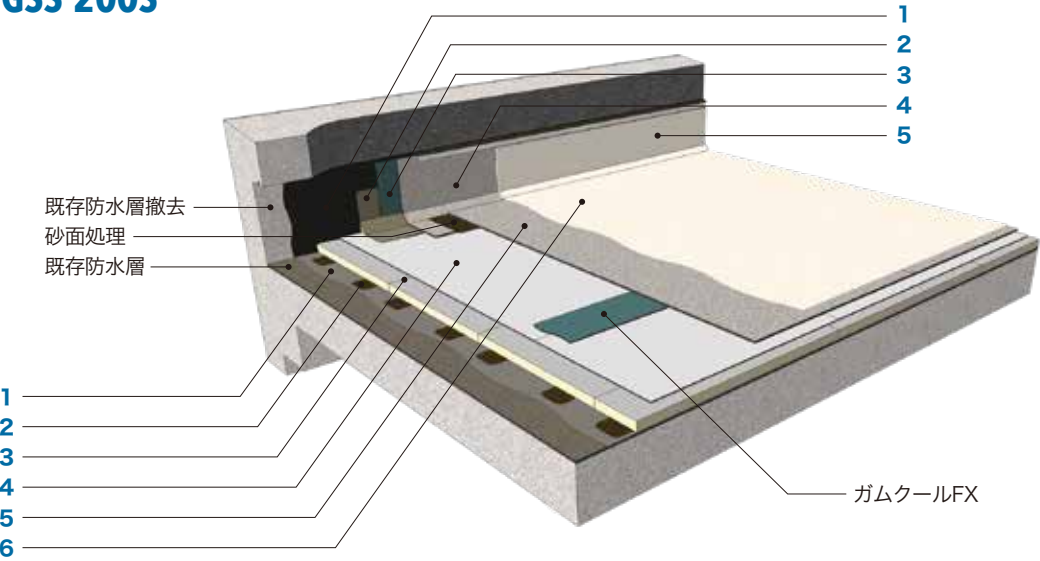
砂付仕上げ・断熱複層工法

断熱 絶縁

断熱性能に優れた硬質ウレタンフォーム ギルフォームを組み込んだ「プラス^{ワン}断熱工法」。

GSS-200S

防水仕様
接着工法



GSS-200S

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 10kg/m² 厚み: 約39mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m ²)			
GSS-200S※1		GV-3TH※2	
1	リベース	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイコーセメント (点貼り)※ 0.8kg	ガムキャントFX	
3	ギルフォーム	ガムクールFX	
4	ガムクールFS	ガムクールキャップ	
5	ガムクールキャップ	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
6	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

※レイコーセメントに代えて、防湿層としてダンパーシートを用いることもできます。(価格別途)

※SPサーモコートは2回塗りで所定の塗布量を確保します。

※SPサーモコートに代えてSPクリーンカラー、SPファインカラー、SPミッドカラーもご採用いただけます。(価格別途)

※緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り (0.7~0.8kg/m²) してください。

GCS-200S

適用下地: 押えコンクリート・モルタル
防水層重量目安: 9kg/m² 厚み: 約39mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m ²)			
GCS-200S※1		GV-3TH※2	
1	水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	レイコーセメント (点貼り)※ 0.8kg	ガムキャントFX	
3	ギルフォーム	ガムクールFX	
4	ガムクールFS	ガムクールキャップ	
5	ガムクールキャップ	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
6	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

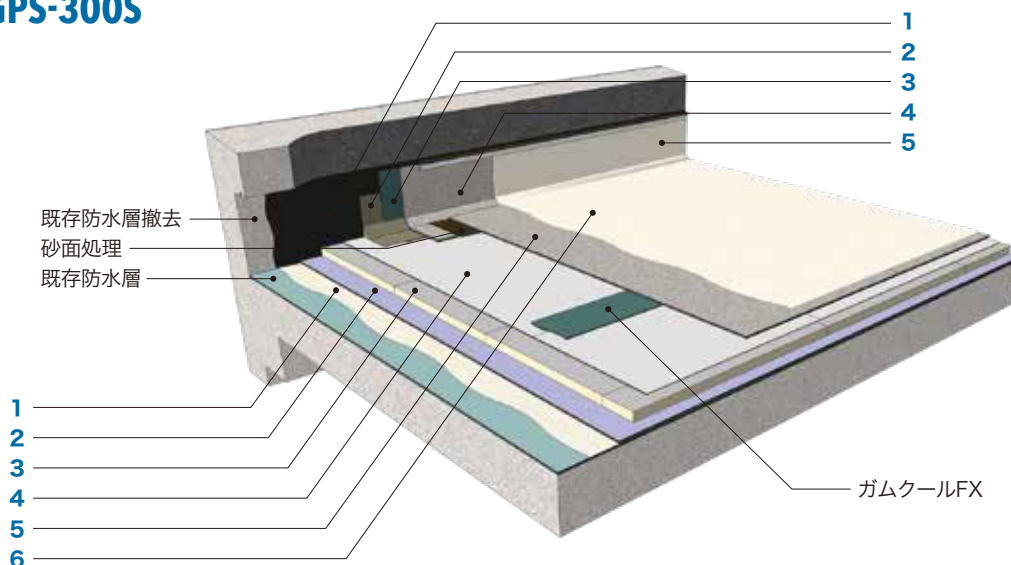
※1 断熱工法の注意事項

- ・ギルフォームの厚さは断熱性能の要求度に応じ増加することができます。(価格別途)
- ・8ページの「新旧省エネ基準による断熱材厚さの違い」グラフを参考に、厚みをご検討ください。
- ・フレ防止のため、ステンレスペーバスWまたはペーバス(立上り)を設置します。

※2 立上りGV-3TH仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・既存モルタル面取り等によりGV-3THが適用できない場合は、GV-2THを適用します。
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

GPS-300S



GPS-300S

適用下地: 高分子系防水

防水層重量目安: 9kg/m² 厚み: 約40mm (断熱35mmの場合)(単位: /m²)

GPS-300S※1		GV-3TH※2	
1	各種プライマー	水性プライマーAS	0.2kg
2	ダンパーシート	ガムキャントFX	
3	ギルフォーム	ガムクールFX	
4	ガムクールFS	ガムクールキャップ	
5	ガムクールキャップ	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
6	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

*SPサーモコートは2回塗りで所定の塗布量を確保します。

*SPサーモコートに代えてSPクリーンカラー、SPファインカラー、SPミッドカラーもご採用いただけます。(価格別途)

*緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

GCS-300S

適用下地: 押えコンクリート・モルタル

防水層重量目安: 9kg/m² 厚み: 約40mm (断熱35mmの場合)(単位: /m²)

GCS-300S※1		GV-3TH※2	
1	水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	ダンパーシート	ガムキャントFX	
3	ギルフォーム	ガムクールFX	
4	ガムクールFS	ガムクールキャップ	
5	ガムクールキャップ	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
6	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

リベース塗布量(目安) 《GSS-200S》

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
(40ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表 《GPS-300S》

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.1kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマー+速硬化OTプライマーMブルー	各0.1kg/m ²

・OTプライマーAの代わりに、オルタックプライマーUを用いる場合もあります。

・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。

・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。

・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。

・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。

砂付仕上げ・複層工法

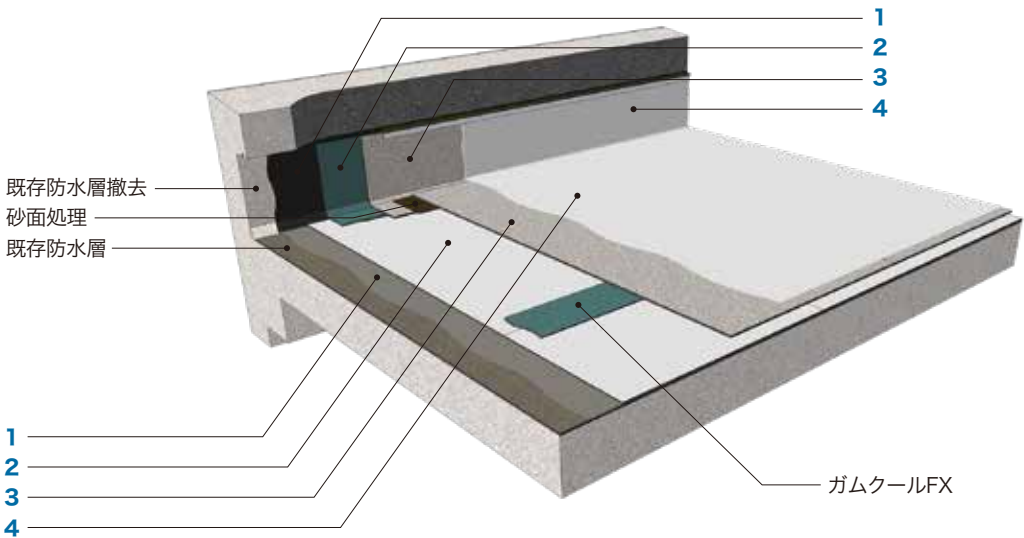
非断熱

絶縁

下地活性化材や豊富なプライマーの採用で、さまざまな既存防水層に対応する複層防水工法。

GSS-2S

防水仕様
接着工法



GSS-2S

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 7kg/m²
厚み: 約4mm



(単位: /m²)

	GSS-2S※1	GV-2※2
1	リベース	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	ガムクールFX
3	ガムクールキャップ	ガムクールキャップ
4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg

GPS-2S/GCS-2S

適用下地: **GPS-2S** 高分子系防水
GCS-2S 押えコンクリート・モルタル
防水層重量目安: 6kg/m² 厚み: 約4mm



(単位: /m²)

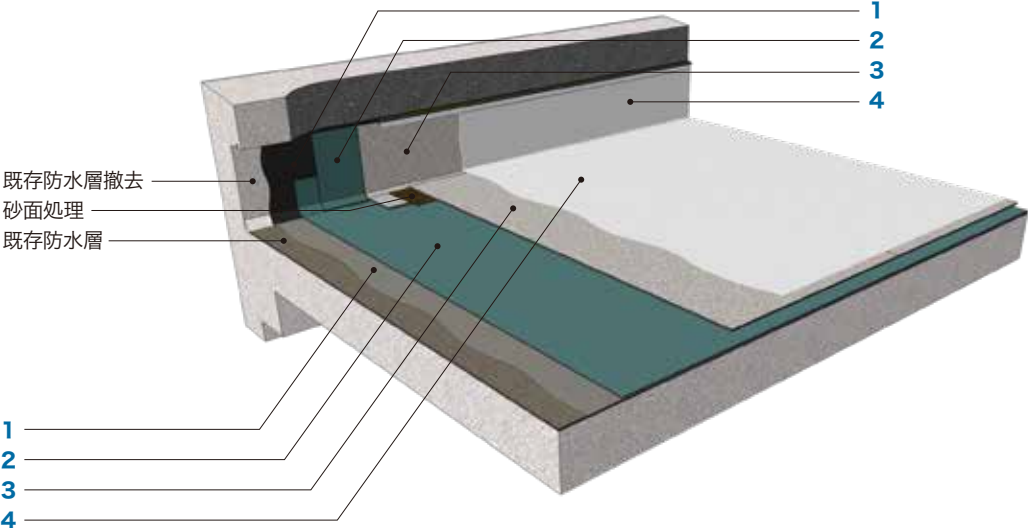
	GPS-2S/GCS-2S※1	GV-2※2
1	GPS-2S 各種プライマー GCS-2S 水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	ガムクールFX
3	ガムクールキャップ	ガムクールキャップ
4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg

*SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
*緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

※1 絶縁工法の注意事項
・絶縁工法においてはフクレ防止のため、ステンレスペーパースまたはペーパース(立上り)を設置します。

※2 立上りGV-2仕様の注意事項
・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
・塗膜防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

GSS-2



GSS-2

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 8kg/m² 厚み: 約4mm



GSS-2		GV-2※2	(単位: /m ²)
1	リベース	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFX	ガムクールFX	
3	ガムクールキャップ	ガムクールキャップ	
4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg	

*SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
*緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

GPS-2

適用下地: 高分子系防水
防水層重量目安: 7kg/m² 厚み: 約4mm



GPS-2		GV-2※2	(単位: /m ²)
1	各種プライマー	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFX	ガムクールFX	
3	ガムクールキャップ	ガムクールキャップ	
4	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg	

リベース塗布量(目安)《GSS-2S/GSS-2》

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
(40ページ参照)

既存防水層別 プライマー選定表《GPS-2S/GPS-2》

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.1kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマー+速硬化OTプライマーMブルー	各0.1kg/m ²

・OTプライマーAの代わりに、オルタックプライマーUを用いる場合もあります。
・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。事前に接着試験を行って確認してください。

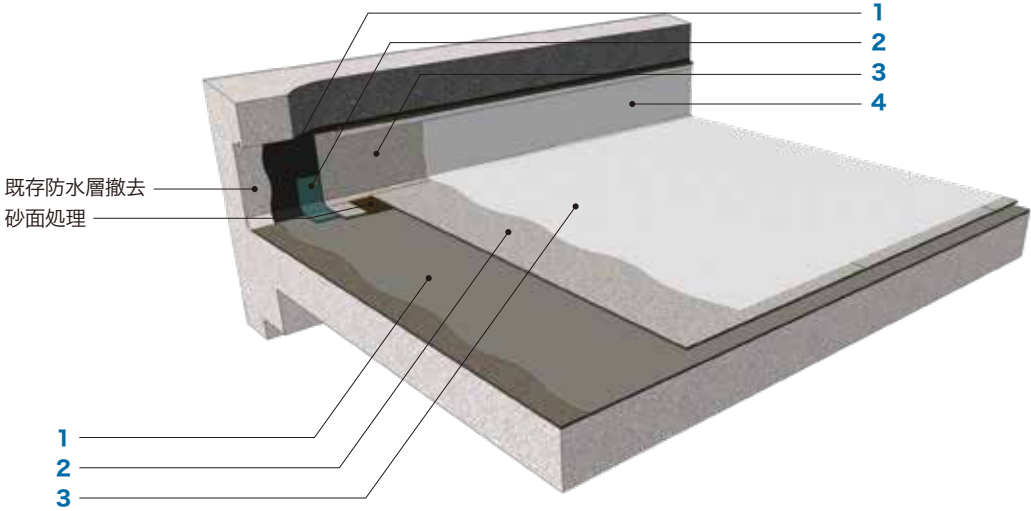
砂付仕上げ・単層工法

非断熱

密着

下地状態が比較的良好な場合に採用可能で、高い接着力を得られる工法。

GSS-1



GSS-1

適用下地: アスファルト露出防水
防水層重量目安: 6kg/m² 厚み: 約4mm



(単位: /m ²)			
GSS-1※1		GV-1※2	
1	リベース	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールキャップEX	FX-33	
3	SPファインカラー 0.4~0.6kg	ガムクールキャップEX	
4	—	SPファインカラー 0.4~0.6kg	

*SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
*緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

GPS-1

適用下地: 高分子系防水
防水層重量目安: 5kg/m² 厚み: 約4mm



(単位: /m ²)			
GPS-1※1		GV-1※2	
1	各種プライマー	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールキャップEX	FX-33	
3	SPファインカラー 0.4~0.6kg	ガムクールキャップEX	
4	—	SPファインカラー 0.4~0.6kg	

※1 単層密着工法の注意事項
・リベースの代わりにクールベースも使用できます。(40ページ参照)

※2 立上りGV-1仕様の注意事項
・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
・FX-33に代えてガムクールFXを裁断して使用することもできます。
・塗膜系防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

※3 押え工法の注意事項
・1層目ガムクールFSに代えてガムクールFXを用いる場合があります。
・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
・絶縁クロスの貼付には、ガムラップ、GCラインも使用できます。

押えコンクリート仕上げ・複層工法

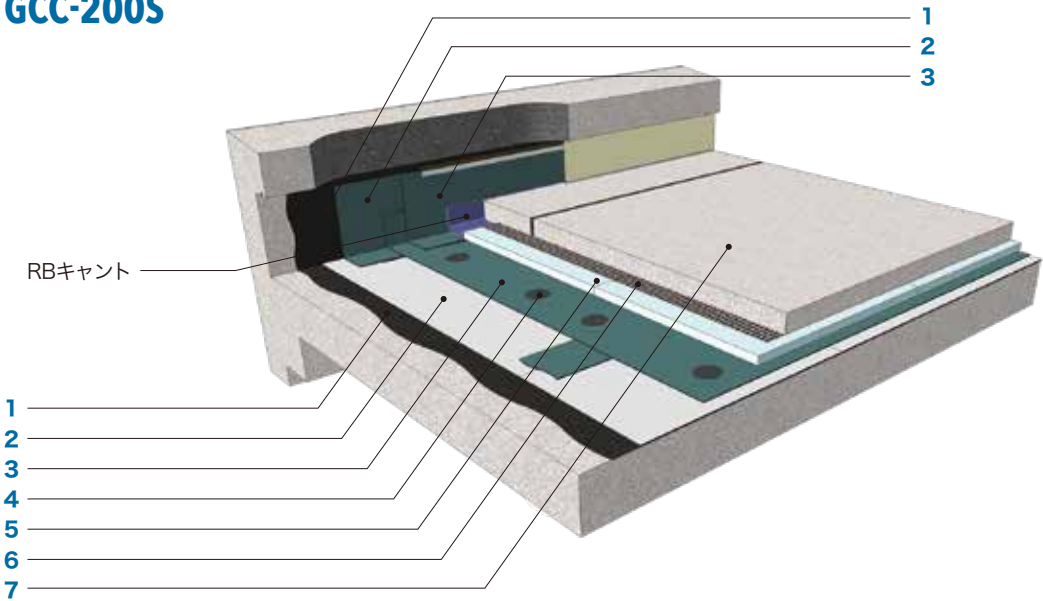
断熱

非断熱

絶縁

不特定多数の人の歩行に対応可能なコンクリート仕上げ工法。

GCC-200S



防水仕様

接着工法

GCC-200S

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 6kg/m² 厚み: 約38mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m²)

	GCC-200S※3	GV-2C※4
1	水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	ガムクールFX
3	ガムクールFX	ガムクールFX
4	RBセメント(点貼り) 0.5kg	—
5	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II	—
6	絶縁クロス1000 (RBセメント)	—
7	押えコンクリート(別途)	—

GCC-2S

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 4kg/m² 厚み: 約3mm



(単位: /m²)

	GCC-2S※3	GV-2C※4
1	水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	ガムクールFX
3	ガムクールFX	ガムクールFX
4	絶縁クロス1000 (RBセメント)	—
5	押えコンクリート(別途)	—

※4 立上りGV-2C仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。
- 他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。

既存防水層別 プライマー選定表《GPS-1》

下地の種別	プライマー種類	塗布量
ウレタン塗膜	OTプライマーA	0.1kg/m ²
加硫ゴムシート	水性プライマーAS	0.1kg/m ²
塩ビシート	VTプライマー+速硬化OTプライマーMブルー	各0.1kg/m ²

- ・OTプライマーAの代わりに、オルタックプライマーUを用いる場合もあります。
- ・加硫ゴムシートは状況により撤去が望ましい場合があります。
- ・塩ビシートの溶接棒等凸部は撤去します。
- ・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。
- ・下地の種類、劣化状態により適応できない場合があります。
- 事前に接着試験を行って確認してください。

軽歩行パネル仕上げ・複層工法

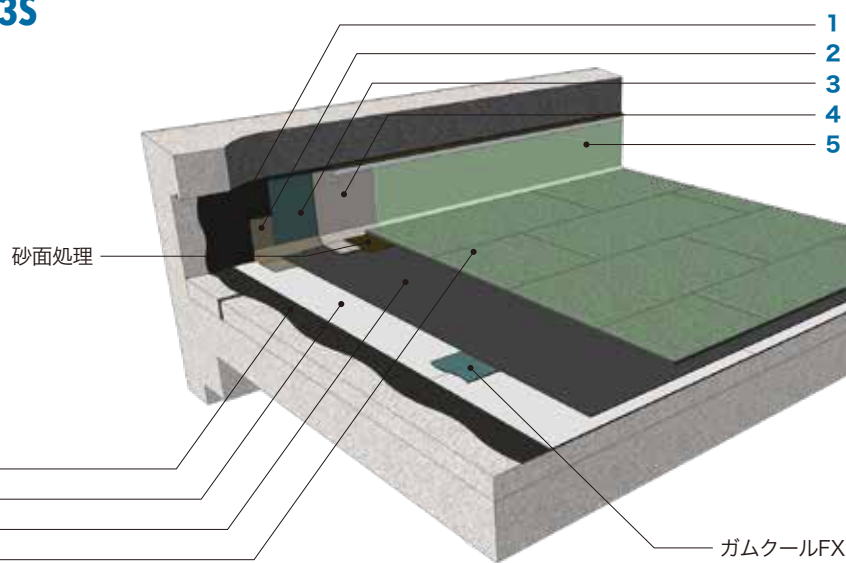
非断熱

絶縁

バリキャップ/ステップ/ガムロンタイル

カラフルな色合いと快適な歩行感を生み出す軽歩行パネル仕上げ。

GCB-3S



GSB-3S

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 15kg/m²

厚み: 約9mm



(単位: /m²)

	GSB-3S※1	GV-3※2	
1	リベース	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFS	ガムキャントFX	
3	ガムクールベースE	ガムクールFX	
4	バリキャップP	ガムクールキャップ	
5	—	SPファインカラー	0.4kg

GPB-3S/GCB-3S

適用下地: GPB-3S 高分子系防水

GCB-3S 押えコンクリート・モルタル

防水層重量目安: 14kg/m² 厚み: 約9mm



(単位: /m²)

	GPB-3S/GCB-3S※1	GV-3※2	
1	GPB-3S 各種プライマー GCB-3S 水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	ガムクールFS	ガムキャントFX	
3	ガムクールベースE	ガムクールFX	
4	バリキャップP	ガムクールキャップ	
5	—	SPファインカラー	0.4~0.6kg

※1 軽歩行パネル仕上げの注意事項

- ・バリキャップおよびステップスクエア500のパターン仕上げは、デザインにより価格が異なります。
- ・ステップスクエア、ガムロンタイル端部保護のため、ステップエッジをご使用ください。
- ・美観維持のためステップスクエアには3年程度毎にクリアタイプのステップトップ(主剤15kg、硬化剤3kg)の塗布(0.2kg/m²)をおすすめします。(価格別途)
- ・ステップスクエアは天然石のため、微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2色~3色を組合せた市松貼りなどをおすすめします。
- ・絶縁工法においてはフレク防止のため、ステンレスペーパスまたはペーパス(立上り)を設置します。

※2 立上りGV-3仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・既存モルタル面取り等によりGV-3が適用できない場合は、GV-2を適用します。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

軽歩行ブロック仕上げ・複層工法

エイブロック

断熱

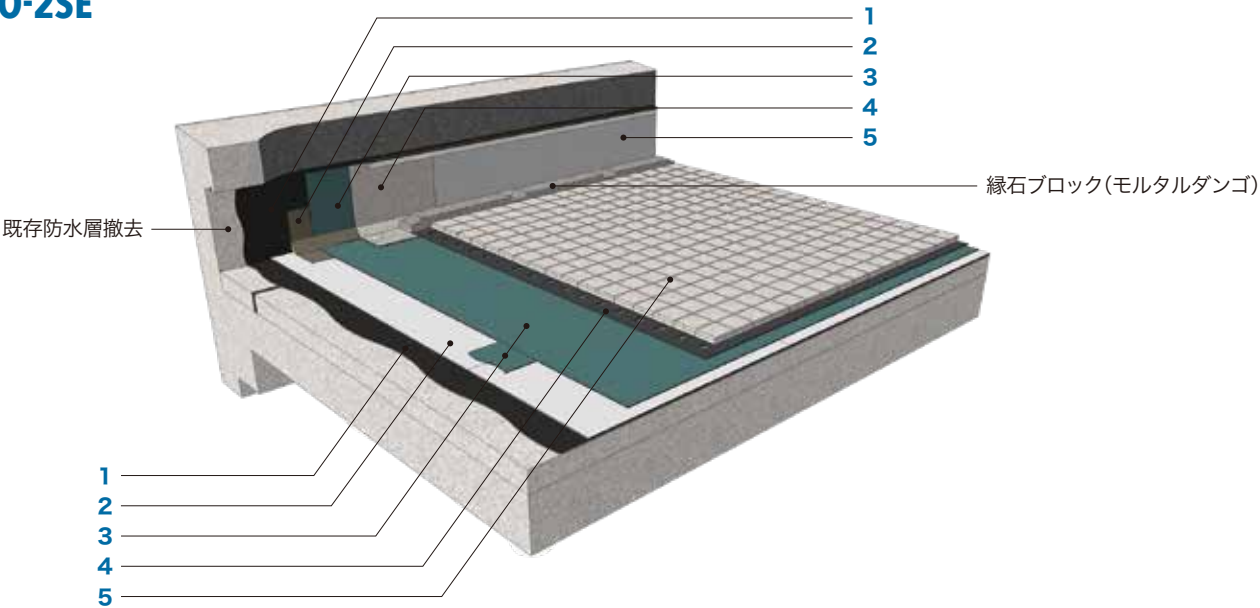
非断熱

絶縁

下地状態メッシュ連結ブロックの置き敷き施工による軽歩行仕上げ。

防水仕様
接着工法

GCO-2SE



GCO-2SE

適用下地: コンクリート
防水層重量目安: 60kg/m² 厚み: 約28mm



(単位: /m²)

GCO-2SE※1				GV-3※2			
1	水性プライマーAS	0.2kg		水性プライマーAS	0.2kg		
2	ガムクールFS			ガムキャントFX			
3	ガムクールFX			ガムクールFX			
4	エイマット			ガムクールキャップ			
5	エイブロック			SPファインカラー 0.4~0.6kg			

GCO-200SE

適用下地: コンクリート
防水層重量目安: 61kg/m² 厚み: 約63mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m²)

GCO-200SE※1				GV-3※2			
1	水性プライマーAS	0.2kg		水性プライマーAS	0.2kg		
2	ガムクールFS			ガムキャントFX			
3	ガムクールFX			ガムクールFX			
4	RBセメント(点貼り) 0.5kg			ガムクールキャップ			
5	RBボードまたは スタイロフォームRB-GK-II			SPファインカラー 0.4~0.6kg			
6	エイマット			—			
7	エイブロック			—			

※1 軽歩行ブロック仕上げの注意事項

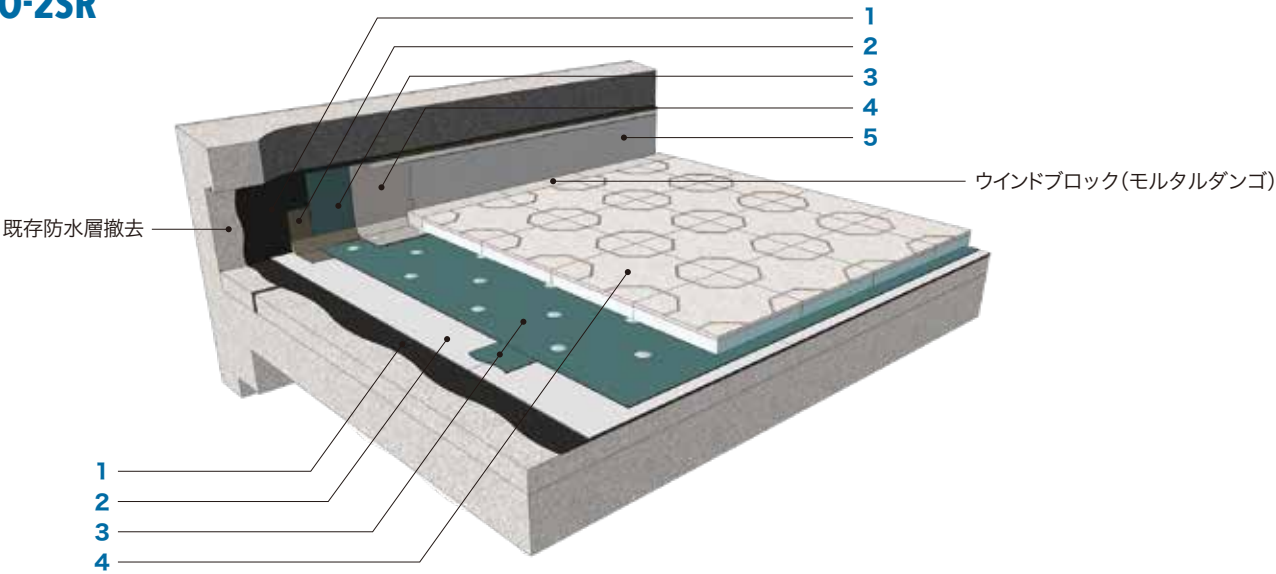
- ・平面部を部分的に砂付仕上げとする場合は、保護塗料にSPサーモコートを採用してください。(価格別途)
- ・エイブロックは、セメント製品ですので表面にエフロレッセンス(白華)が生じる場合があります。
- ・絶縁工法においてはフクレ防止のため、ステンレスペーパーまたはペーパー(立上り)を設置する場合があります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・エイブロックには、置き敷きタイプ(BF)と連結タイプ(BJ)がありますので、いずれかを選択ください。
- ・BJタイプは、専用プラグビスにてエイブロック同士を連結することができます。
- ・エイブロックは、中高層建築物や強風地域での推奨施工方法および使用制限がありますので、事前にご相談ください。
- ・エイブロックは受注生産品です。

軽歩行ブロック仕上げ・複層工法 RBタイル

断熱 絶縁

断熱材と一体化したブロックの敷設により、断熱と軽歩行仕上げを一工程で実現。

GCO-2SR



防水仕様
接着工法

GCO-2SR

適用下地: コンクリート

防水層重量目安: 44kg/m² 厚み: 約68mm



(単位: /m²)

	GCO-2SR※1	GV-3※2
1	水性プライマーAS 0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg
2	ガムクールFS	ガムキャントFX
3	ガムクールFX	ガムクールFX
4	RBタイル(モルタルダンゴ)	ガムクールキャップ
5	—	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※2 立上りGV-3仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・既存モルタル面取り等によりGV-3が適用できない場合は、GV-2を適用します。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

砂付仕上げ・複層工法

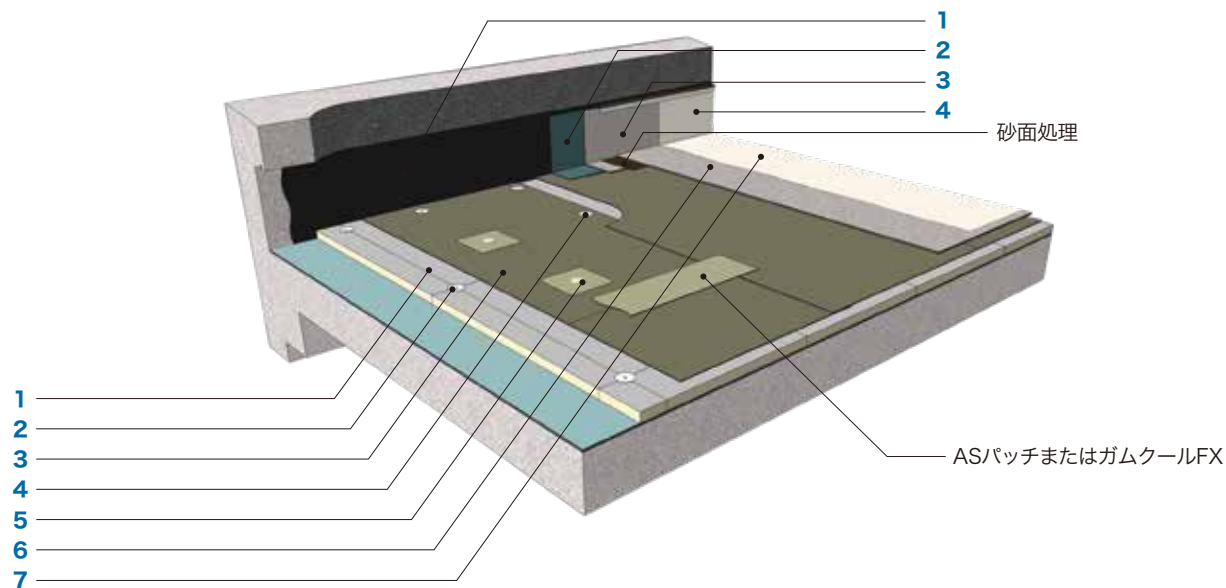
断熱

下地コンクリートやALCにアンカーを打ち込み防水層を部分固定するので、既存防水層の種別を選びません。

CAS-200M

防水仕様

機械的固定工法



CAS-200M

適用下地: 既存防水層の種別を問わずコンクリート下地に用います
防水層重量目安: 10kg/m² 厚み: 約40mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m²)

	CAS-200M※1	GV-2TH※2	
1	ギルフォーム	水性プライマーAS	0.2kg
2	ASディスク・PLアンカー	ガムクールFX	
3	クールスポットB	ガムクールキャップ	
4	ASディスク・PLアンカー	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
5	ASパッチ	—	
6	ガムクールキャップ	—	
7	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

CAS-200MAL

適用下地: 既存防水層の種別を問わずALC下地に用います
防水層重量目安: 10kg/m² 厚み: 約40mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m²)

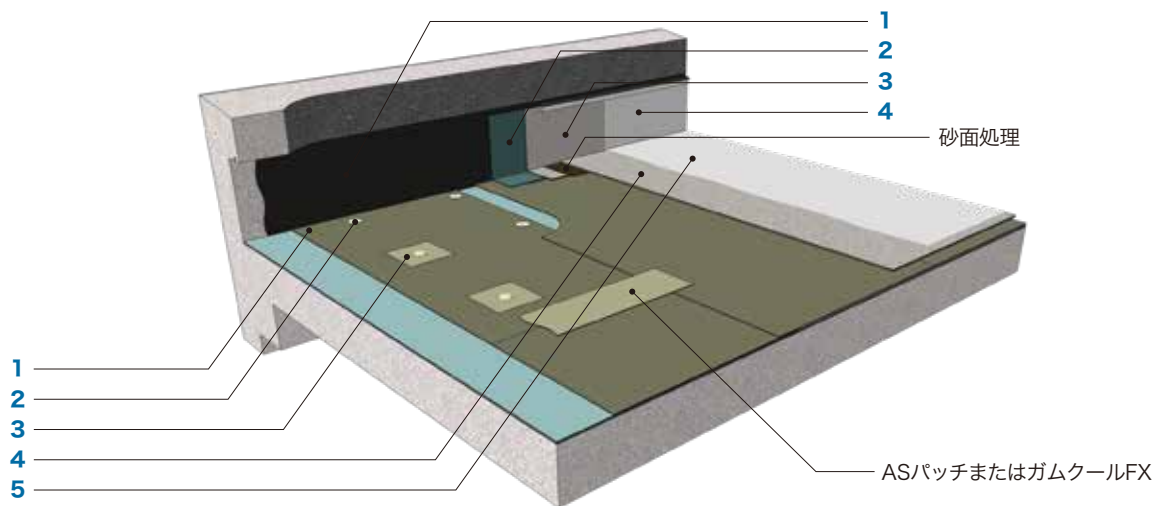
	CAS-200MAL※3	GV-3TH※2	
1	ギルフォーム	水性プライマーAS	0.2kg
2	AMディスク・UPアンカー-8※	ガムキャントFX	
3	クールスポットB	ガムクールFX	
4	AMディスク・UPアンカー-8※	ガムクールキャップ	
5	ASパッチ	SPサーモコート 0.8~1.2kg	
6	ガムクールキャップ	—	
7	SPサーモコート 0.8~1.2kg	—	

※エポキシ樹脂 (ボンドE206) 併用

※1 砂付仕上げ(コンクリート下地)の注意事項

- ・本工法の採用に当たっては、必ず事前に引き抜き試験などで、アンカーの固定強度をご確認ください。
- ・強風地域の場合は、必要に応じてディスク、アンカーの増打ちをします。
- ・アンカーの埋め込み深さについては61ページをご参照ください。
- ・CAS-200Mでは、PLアンカーの他にUPアンカーも使用できます。
- ・CAS-2Mでは、UPアンカーの他にPLアンカーも使用できます。
- ・ディスク、アンカーの固定本数については50ページ、または施工要領書をご参照ください。
- ・フレ防止のため、ステンレスペーバス(W)またはペーバス(立上り)を設置する場合があります。
- ・SPサーモコートは2回塗りで所定の塗布量を確保します。
- ・SPサーモコートに代えてSPクリーンカラー、SPファインカラー、SPミッドカラーもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

CAS-2M



CAS-2M

適用下地: 既存防水層の種別を問わずコンクリート下地に用います
防水層重量目安: 8kg/m^2 厚み: 約5mm

(単位: kg/m^2)

	CAS-2M※1	GV-2※2
1	クールスポットB	水性プライマーAS 0.2kg
2	ASディスク・UPアンカー	ガムクールFX
3	ASパッチ	ガムクールキャップ
4	ガムクールキャップ	SPファインカラー 0.4~0.6kg
5	SPファインカラー 0.4~0.6kg	—

※1 立上り部にGV-3工法の適用も可能です。
※CAS-2Mで、既存が塩ビシート防水の場合はご相談ください。

CAS-2MAL

適用下地: 既存防水層の種別を問わずALC下地に用います
防水層重量目安: 8kg/m^2 厚み: 約5mm

(単位: kg/m^2)

	CAS-2MAL※3	GV-3※2
1	クールスポットB	水性プライマーAS 0.2kg
2	AMディスク・UPアンカー-8※	ガムキャントFX
3	ASパッチ	ガムクールFX
4	ガムクールキャップ	ガムクールキャップ
5	SPファインカラー 0.4~0.6kg	SPファインカラー 0.4~0.6kg

※エポキシ樹脂(ボンドE206)併用
※CAS-2MALで、既存が塩ビシート防水の場合はご相談ください。

※2 立上りGV-2/GV-2TH/GV-3/GV-3TH仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル・コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は35~38ページをご参照ください。

※3 砂付仕上げ(ALC下地)の注意事項

- ・本工法はビス谷径と同径の下穴を開けてエポキシ樹脂(ボンドE206)を注入し、UPアンカー-8にてディスクを固定します。
- ・強風地域の場合は、必要に応じてディスク、アンカーの増打ちをします。
- ・アンカーの埋め込み深さについては61ページをご参照ください。
- ・フクレ防止のため、ステンレスペーパースまたはペーパース(立上り)を設置する場合があります。
- ・CAS-2MALの場合、SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り($0.7\sim 0.8\text{kg/m}^2$)してください。

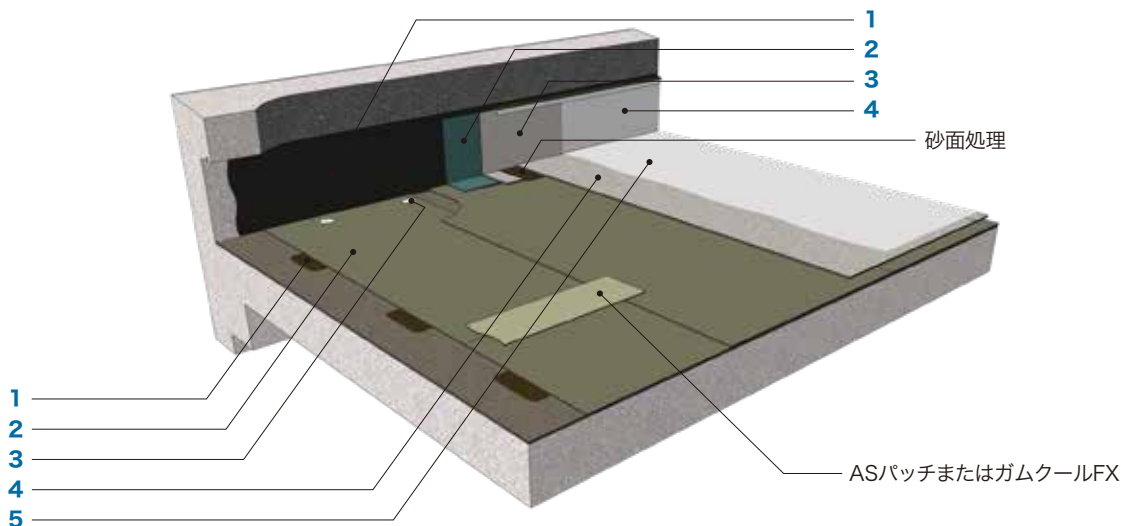
砂付仕上げ／軽歩行仕上げ・複層工法

非断熱

機械的固定・接着剤併用

機械的固定と接着剤を併用し、ビス固定時の騒音を減少。

CAS-2R



CAS-2R

適用下地: アスファルト露出防水／押えコンクリート

防水層重量目安: 8kg/m²

厚み: 約5mm



(単位: /m²)

CAS-2R※1		GV-2※2	
1	レイコーセメント (点貼り) 0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg	
2	クールスポットB	ガムクールFX	
3	ASディスク・UPアンカー	ガムクールキャップ	
4	ガムクールキャップ	SPファインカラー 0.4～0.6kg	
5	SPファインカラー 0.4～0.6kg	—	

*CAS-2Rは、既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。

*SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)

*緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7～0.8kg/m²)してください。

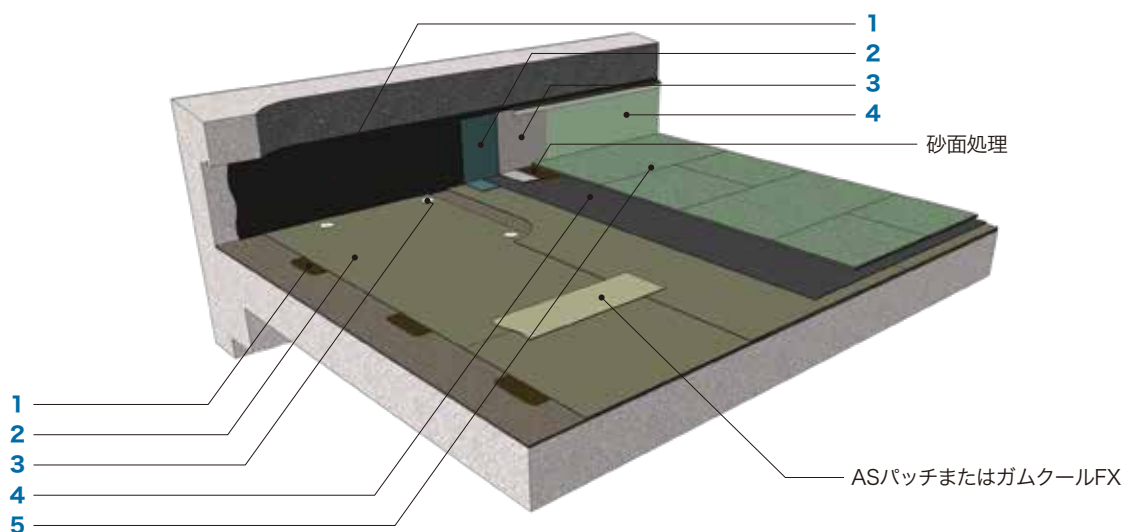
※1 砂付仕上げの注意事項

- ・本工法の採用に当たっては、必ず事前に引き抜き試験などで、アンカーの固定強度をご確認ください。
- ・強風地域の場合は、必要に応じてディスク、アンカーの増打ちや接着剤の塗布面積を増やします。
- ・アンカーの埋め込み深さについては61ページをご参照ください。
- ・UPアンカーの他にPLアンカーも使用できます。ディスク、アンカーの固定本数や接着剤の塗布位置については、50ページ、または施工要領書をご参照ください。
- ・フクレ防止のため、ステンレスペーパスまたはペーパス(立上り)を設置する場合があります。

※2 立上りGV-2仕様の注意事項

- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
- ・立上りは原則既存防水層は撤去のため、プライマーはモルタル、コンクリート下地を想定しています。他の仕上げとなる場合のプライマーの選定については、ご相談ください。
- ・塗膜防水併用工法で施工する場合は35～38ページをご参照ください。
- ・既存がシート防水機械的固定工法の場合は適用できません。

CAB-3R



CAB-3R

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: 16kg/m²

厚み: 約9mm

(単位: /m²)

CAB-3R※3		GV-2※2	
1	レイコーセメント (点貼り) 0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	クールスポットB	ガムクールFX	
3	ASディスク・UPアンカー	ガムクールキャップ	
4	ガムクールベースE	SPファインカラー 0.4~0.6kg	
5	バリキャップP	—	

*CAB-3RをCAB-3M仕様に変更する場合は、CAB-3R工程1の接着剤(レイコーセメント)を省略します。
工程3のASディスク・UPアンカーの本数は、50ページCAS-2Mの固定ピッチをご参照ください。

CAT-3RS/CAT-3RG

適用下地: アスファルト露出防水

防水層重量目安: ステップ 17kg/m²/ガムロンタイル 18kg/m²

厚み: ステップ 約11mm/ガムロンタイル 約12mm

(単位: /m²)

CAT-3RS※3		GV-2※2	
1	レイコーセメント (点貼り) 0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	クールスポットB	ガムクールFX	
3	ASディスク・UPアンカー	ガムクールキャップ	
4	ガムクールFX	SPファインカラー 0.4~0.6kg	
5	ステップスクエア500※	—	

*CAT-3RGの場合は、工程4をガムクールキャップ、工程5をリベース、工程6をガムロンタイルとします。

*CAT-3RSをCAT-3M仕様に変更する場合は、CAT-3RS工程1の接着剤(レイコーセメント)を省略します。
工程3のASディスク・UPアンカーの本数は、50ページCAS-2Mの固定ピッチをご参照ください。

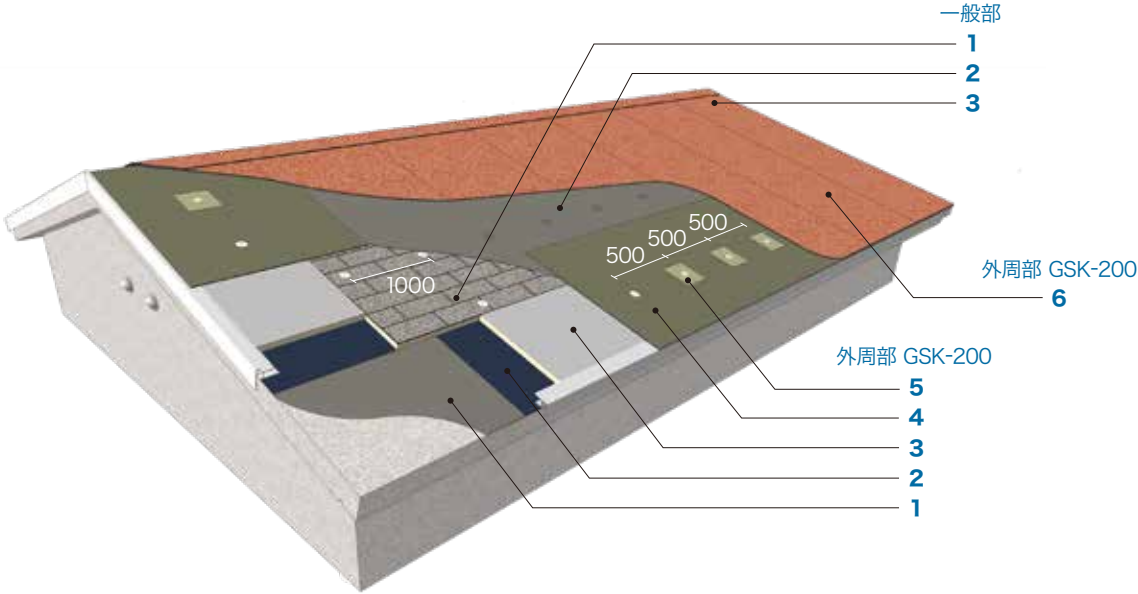
※3 軽歩行仕上げの注意事項

- ・本工法の採用に当たっては、必ず事前に引き抜き試験などで、アンカーの固定強度をご確認ください。
- ・強風地域の場合は、必要に応じてディスク、アンカーの増打ちや接着剤の塗布面積を増やします。
- ・アンカーの埋め込み深さについては61ページをご参照ください。UPアンカーの他にPLアンカーも使用できます。
- ・ディスク、アンカーの固定本数や接着剤の塗布位置については、50ページまたは施工要領書をご参照ください。
- ・フクレ防止のため、ステンレスペーパスまたはペーパス(立上り)を設置する場合があります。
- ・ステップスクエアは天然石のため微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2色~3色を組合せた市松貼りなどをおすすめします。
- ・美観維持のため、ステップスクエアには3年程度毎に、クリアタイプのステップトップ(主剤15kg、硬化剤3kg)の塗布(0.2kg/m²)をおすすめします。(価格別途)
- ・ステップスクエア、ガムロンタイル端部保護のため、ステップエッジをご使用ください。

勾配屋根 防水型改修工法

既存シングル葺きのイメージを一新する、すっきりとした仕上がりに生まれ変わる機械的固定併用工法。

GSK-1



GSK-1/GSK-1SP

適用下地: シングル屋根

防水層重量目安: 6kg/m² (断熱部10kg/m²)

厚み: 約4mm (GSK-200等 厚み: 約40mm 断熱35mmの場合) 適正勾配: 2/10以上



(単位: /m ²)		
GSK-1/GSK-1SP 一般部		
1	ASディスク・UPアンカー	1カ所
2	リベースSL	0.8~1.5kg
3	彩色ガムクールキャップEX GSK-1 SP仕様 3 ガムクールキャップEX 4 SPファインカラー	0.4~0.6kg

(単位: /m ²)		
GSK-2/GSK-2SP 外周部		
1	リベースSL (水切金物・フラッシング テープ価格別途)	0.8~1.5kg
2	ガムクールFX	—
3	ASディスク・UPアンカー・ ASパッチ	2カ所
4	彩色ガムクールキャップEX GSK-2 SP仕様 4 ガムクールキャップEX 5 SPファインカラー	0.4~0.6kg

(単位: /m ²)		
GSK-200/GSK-200SP 外周部		
1	リベースSL (水切金物価格別途)	0.8~1.5kg
2	ガムクールベースE	—
3	ギルフォーム	—
4	ガムクールFX	—
5	ASディスク・UPアンカー・ ASパッチ	2カ所
6	彩色ガムクールキャップEX GSK-2 SP仕様 6 ガムクールキャップEX 7 SPファインカラー	0.4~0.6kg

注意事項

- ・彩色ガムクールキャップEX(色:新緑・赤茶)は受注生産品です。(納期2~3週間)
- ・既存断熱シングルの場合外周金物は、既存断熱材のサイズにより特注品対応が必要となる場合がございます。別途ご相談ください。
- ・屋根勾配、シートの種類(フィルムタイプの下貼り材 ガムクールFX、FS類)、施工時間帯(夜露発生時)など、作業条件によっては滑りやすくなることが予想されます。採用に際しては事前に十分な防滑対策を講じた上で施工を行うように計画をお願いいたします。
- ・屋根勾配によっては、経年により施工したルーフィングにずれが生じる場合がございます。適用勾配に従って適宜ズレ止め釘の併用をお願いいたします。
- ・ズレ止め釘の施工法については別途「シングル」の施工基準書をご参照ください。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・本仕様の他に2層(複層)仕様(GSS-2タイプ)、断熱仕様(GSS-200Sタイプ)を採用する場合は、別途ご相談ください。

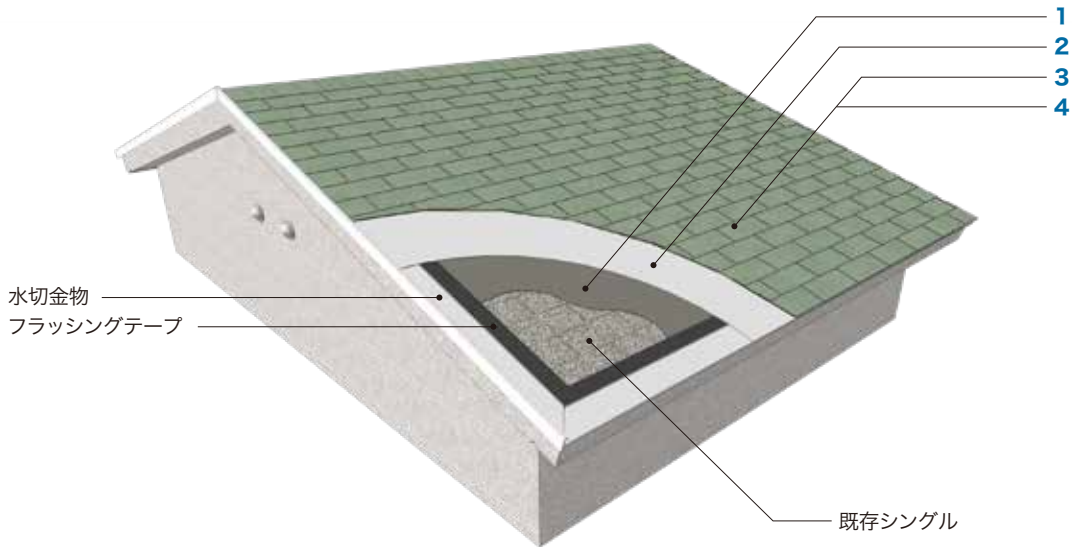
適用条件と下地処理 適切な下地処理を行った後、ガムクールを施工します。

仕様番号	適用下地	塗布量
GSK-1	シングル 断熱・非断熱	シングルタブ不良部撤去等
GSK-2	シングル 非断熱	水切り金物撤去・外周シングル撤去(300mm幅程度)等
GSK-200	シングル 断熱	水切り金物撤去・外周シングル撤去・断熱材撤去(600mm幅程度)等

勾配屋根 意匠型改修工法

既存シングル葺きのイメージはそのまま、美観と機能を回復します。

GS-51シングル140※



防水仕様

勾配屋根工法

GS-51/52/53シングル140※

適用下地: シングル屋根
防水層重量目安: 約14kg/m² (リベースSL 1.5kg使用時)



(単位: /m²)

GS-51シングル140		
1	リベースSL (水切金物 フラッシングテープ価格別途)	0.8~1.5kg
2	ガムクールM	—
3	シングルセメント	1.1kg
4	シングル	—

GS-51/52/53ロフティー140※

適用下地: シングル屋根
防水層重量目安: 約19kg/m² (リベースSL 1.5kg使用時)



(単位: /m²)

GS-51ロフティー140		
1	リベースSL (水切金物 フラッシングテープ価格別途)	0.8~1.5kg
2	ガムクールM	—
3	シングルセメント	1.1kg
4	ロフティー	—

注意事項

- ・下地処理に先立ち、既存シングルのフクレや劣化部分の処理を行います。
- ・屋根勾配が2/10未満の場合はご相談ください。
- ・屋根勾配により工事価格が変わります。詳細は、弊社WEBサイトの設計価格表をご参照ください。
- ・屋根勾配によってはズレ止め釘を併用してください。
- ・詳細は「シングル」の施工基準書、施工要領書等をご参照ください。
- ・既存が断熱シングル葺きの場合は、ご相談ください。
- ・リベースSL塗布量の目安は、既存シングルの表面が比較的良好な状態では1.5kg/m²、砂落ちが著しい状態では0.8kg/m²です。
- ・リベースSLに代えてクールベースも使用できます。(40ページ参照)
- ・シングル他改修工法は、別冊「シングル」カタログをご参照ください。

※屋根材種類により、仕様番号が異なります。
また、屋根勾配によっても仕様番号が異なります。

仕様番号		適用勾配
シングル140	ロフティー140	
GS-51	GS-51	2/10~5/10未満
GS-52	GS-52	5/10~10/10未満
GS-53	GS-53	10/10以上

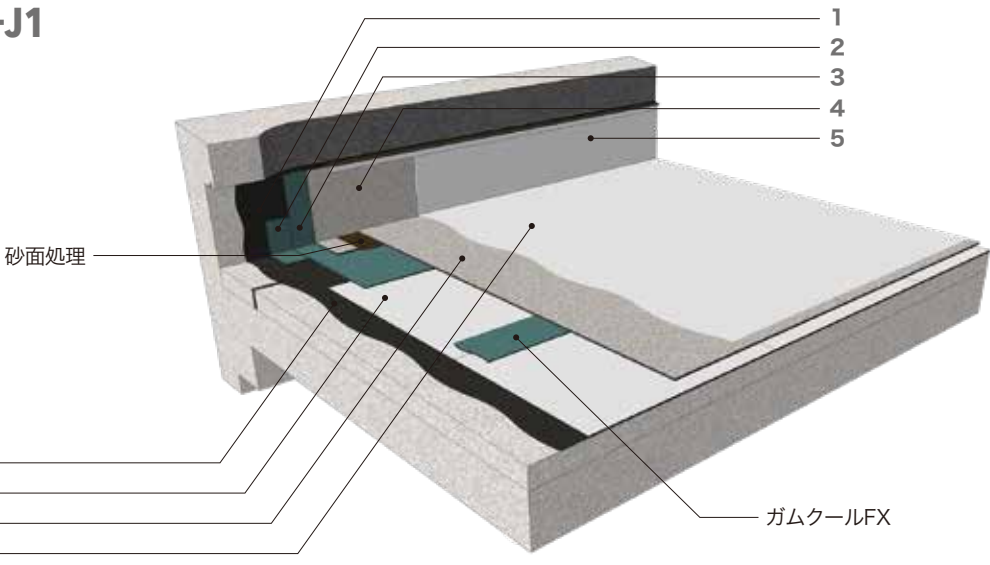
国土交通省大臣官房官庁営繕部監修

【公共建築工事標準仕様書 平成28年版 9章 防水工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

【公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版 3章 防水改修工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

防水仕様
官公庁仕様

AS-J1



AS-J1 新築・改修

適用下地:コンクリート・モルタル
防水層重量目安:7kg/m² 厚み:約5mm

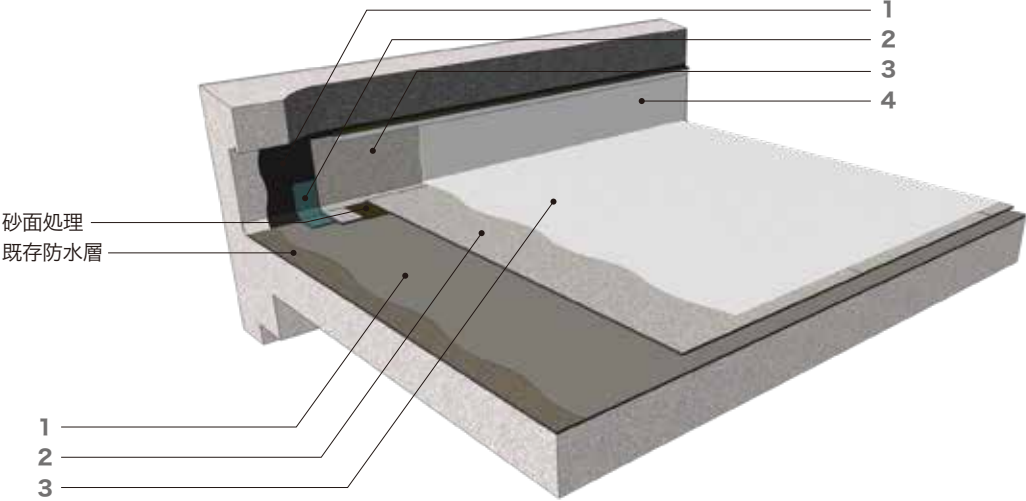


(単位:/m ²)					
AS-J1 (常温粘着工法)			AS-J1 平面部		立上り
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)kg	水性プライマーAS	0.2kg	水性プライマーAS 0.2kg
2	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	ガムクールFSⅡ	—	ガムクールFX増張り (幅200mm程度) —
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)	—	ガムクールキャップ	—	ガムクールFX —
4	仕上塗料塗り	—	SPファインカラー	0.4～0.6kg	ガムクールキャップ —
5	—	—	—	—	SPファインカラー 0.4～0.6kg

注意事項

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7～0.8kg/m²)してください。
- ・フクレ防止のため、ステンレスペーバスまたはペーバス(立上り)を設置します。

AS-J2



AS-J2 改修

適用下地:アスファルト露出防水
防水層重量目安:6kg/m² 厚み:約4mm



(単位:/m ²)					
AS-J2 (常温粘着工法)			AS-J2 平面部		立上り
1	プライマー塗り	0.2(0.4)kg	リベース	—	水性プライマーAS 0.2kg
2	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	ガムクールキャップEX	—	ガムクールFX増張り (幅200mm程度) —
3	仕上塗料塗り	—	SPファインカラー	0.4~0.6kg	ガムクールキャップEX —
4	—	—	—	—	SPファインカラー 0.4~0.6kg

注意事項

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・下地が既存防水層でアスファルト露出防水層の場合、リベースを使用します。(リベースの塗布量は左表参照) リベースの代わりにクールベースも使用できます。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

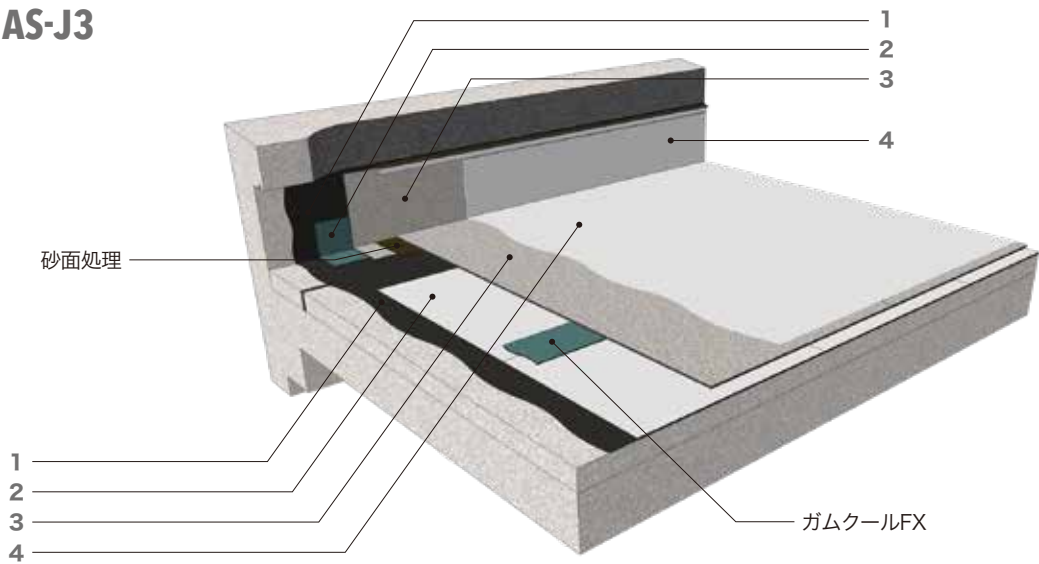
リベース塗布量(目安)《AS-J2》	
下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

官公庁仕様

非断熱 絶縁

国土交通省大臣官房官庁営繕部監修
【公共建築工事標準仕様書 平成28年版 9章 防水工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法
【公共建築改修工事標準仕様書 平成28年版 3章 防水改修工事】改質アスファルトシート防水 常温粘着工法

防水仕様
官公庁仕様



AS-J3 改修

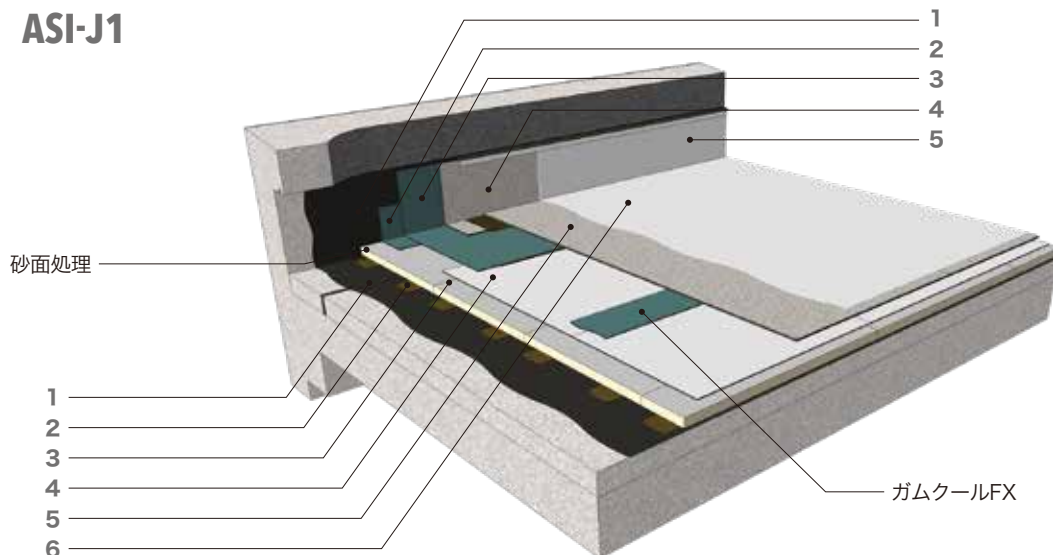
適用下地: 押えコンクリート・モルタル
防水層重量目安: 7kg/m² 厚み: 約5mm



(単位: /m ²)					
AS-J3 (常温粘着工法)		AS-J3 平面部		立上り	
1	プライマー塗り	0.2 (0.4)kg	水性プライマーAS	0.2kg	水性プライマーAS
2	部分接着シート	—	ゴムクールFS	—	ゴムクールFX増張り (幅200mm程度)
3	粘着層付改質アスファルトシート (露出単層防水用R種、3.0mm以上)	—	ゴムクールキャップEX	—	ゴムクールキャップEX
4	仕上塗料塗り	—	SPファインカラー	0.4～0.6kg	SPファインカラー

注意事項
・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合があります。
・平面部工程2を省略し、部分粘着層付改質アスファルトシート(ゴムクールキャップAS)を用いる場合があります。
・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7～0.8kg/m²)してください。

ASI-J1



ASI-J1 新築・改修

適用下地: コンクリート・モルタル、アスファルト露出防水
防水層重量目安: 10kg/m² 厚み: 約40mm (断熱35mmの場合)



(単位: /m²)

ASI-J1 (常温粘着工法)		ASI-J1 平面部		立上り		
1	プライマー塗り	0.2 (0.4) kg	水性プライマーAS	0.2kg	水性プライマーAS	0.2kg
2	断熱材張付け	—	レイコーセメント (点張り)	0.8kg	—	—
			ギルフォーム	—	ガムクールFX増張り (幅200mm程度)	—
3	部分粘着層付改質アスファルトシート (非露出複層防水用R種、1.5mm以上)	—	ガムクールFSⅡ	—	ガムクールFX	—
4	粘着層付改質アスファルトシート (露出複層防水用R種、2.0mm以上)	—	ガムクールキャップ	—	ガムクールキャップ	—
5	仕上塗料塗り	—	SPファインカラー	0.4～0.6kg	SPファインカラー	0.4～0.6kg

注意事項

- ・ALCパネルの場合は、工程1を()内とします。
- ・仕上げ塗料の種類および使用量は特記によります。
- ・断熱材ギルフォームの厚さは特記によります。
- ・季節や立地条件によって、水性プライマーASの代わりにアスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSを使用する場合もあります。
- ・工程3の立上りは、粘着層付改質アスファルトシート(ガムクールFX)を使用します。
- ・下地が既存防水層でアスファルト露出防水層の場合、リベースを使用します。(リベースの塗布量は左表参照)
- ・リベースの代わりにクールベースも使用できます。
- ・フクレ防止のため、ステンレスペーバスWまたはペーバス(立上り)を設置します。
- ・SPファインカラーに代えてSPクリーンカラー、SPミッドカラー、SPサーモコートもご採用いただけます。(価格別途)
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7~0.8kg/m²)してください。

リベース塗布量(目安)《ASI-J1》

下地の種別・状態	塗布量
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落した砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂)ルーフィング下地	0.8kg/m ²

塗膜防水併用工法 アスクール 立上り・架台

密着

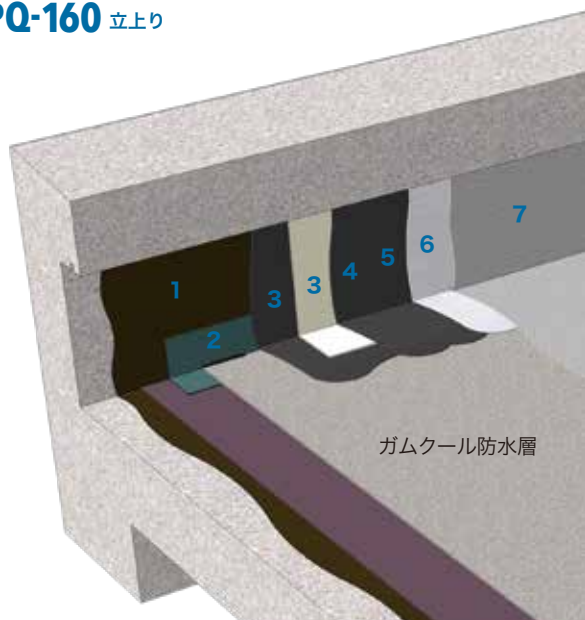
架台や配管廻りなど複雑部位の施工には、塗膜系防水材を併用して納める方法があります。

ガムクール防水との併用では「アスクール」「オルタックエース」「アクアベース」の3種類から選択が可能です。

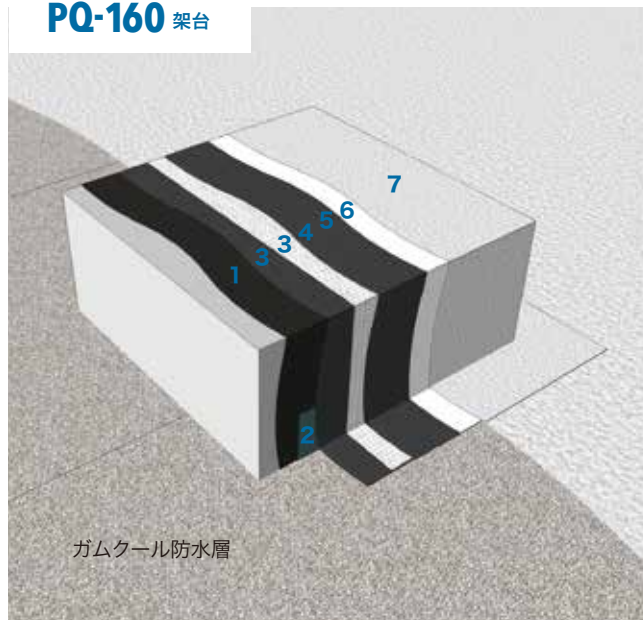
防水仕様

塗膜防水併用工法

PQ-160 立上り



PQ-160 架台



PQ-160

適用下地: コンクリート下地

立上り・架台		(単位: /m ²)
1	水性プライマーAS	0.2kg
2	増貼り(FX-33またはガムクールFX)※1	—
3	アスクール マットFC	0.8kg —
4	アスクール	1.2kg
5	アスクール	0.8kg
6	SPベース(アスクール上のみ)※2	0.45kg
7	SPファインカラー	0.15kg

2液型常温反応型改質アスファルト系塗膜防水材 アスクール

1. 同じアスファルト系であるガムクールとの接着性が良好です。
2. 不定形の塗膜材ですので、架台や配管廻りなどの複雑部位の施工に適しています。
3. SPファインカラーなど、専用保護塗料の塗布で、アスクール〜ガムクールと連続した仕上がりイメージが得られます。
4. ホルムアルデヒド放散等級でF☆☆☆☆の表示認定を取得しています。(アスクールA・B剤)



注意事項

※1 FX-33やガムクールFXを用いずに、マットFCで増貼りをする場合は、平場砂付シート施工後、アスクール(0.8kg/m²)／マットFC増貼り／アスクール(1.2kg/m²)の手順で変更できます。

※2 側溝部をPQ-160で施工する場合は、工程5と工程6の間に伸介プライマーとして、OTプライマーA(0.1kg/m²)を塗布してください。

・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合は、ご相談ください。

・アスクールには、アスファルトプライマー、アスファルトプライマーSSは使用できません。

・金属下地にはKYプライマーエポ金属用(0.1kg/m²)などを使用します。ウレタン下地にはOTプライマーA(0.1kg/m²)を使用します。

・アスクールは「エンシンシート」と組合わせての使用はできません。

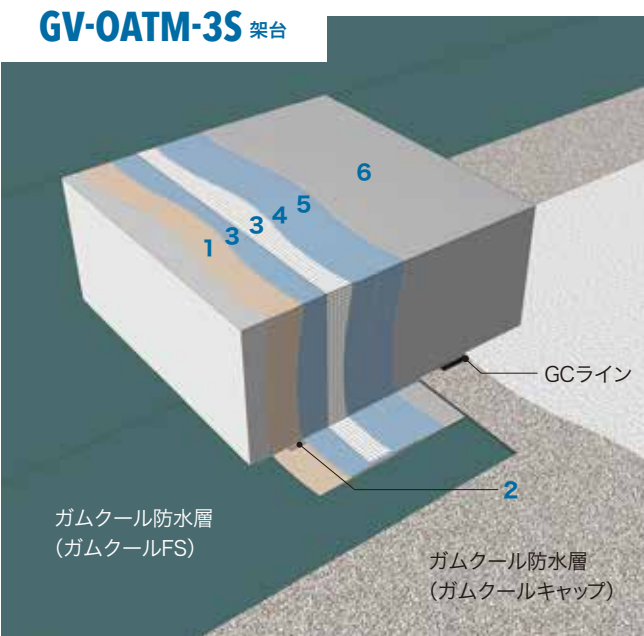
・SPファインカラーに代えて、SPクリーンカラー(0.35kg/m²)、SPミッドカラー(0.15kg/m²)、SPサーモコート(0.45kg/m²)もご採用いただけます。(価格別途)

・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7～0.8kg/m²)してください。

塗膜防水併用工法 オルタックエース 架台

密着

2液型ウレタン塗膜防水材を用いる、架台廻り専用の併用工法。



GV-OATM-3S

適用下地:コンクリート下地

	架台	(単位:/m ²)
1	OTプライマーA	0.2kg
2	入り隅部 OTシール	—
3	立上り用オルタックエース メッシュUB	0.3kg —
4	立上り用オルタックエース	1.7kg
5	立上り用オルタックエース	1.0kg
6	OTコートシリコーン	0.2kg

2液型ウレタン塗膜防水材 オルタックエース

1. ガムクールとの相性が良い不定形の塗膜材ですので、架台や配管廻りなどの複雑部位の施工に適しています。
2. 特化則・有機則非該当、またホルムアルデヒド放散等級でF☆☆☆☆の表示認定を取得しています。



注意事項

- ・オルタックエースは架台廻りでの使用を原則といたします。
- ・架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合は、ご相談ください。
- ・OTコートシリコーンに代えてOTコートクール、OTコートAも採用可能です。(価格別途)

防水仕様

塗膜防水併用工法

塗膜防水併用工法 アクアベース 立上り・架台

密着

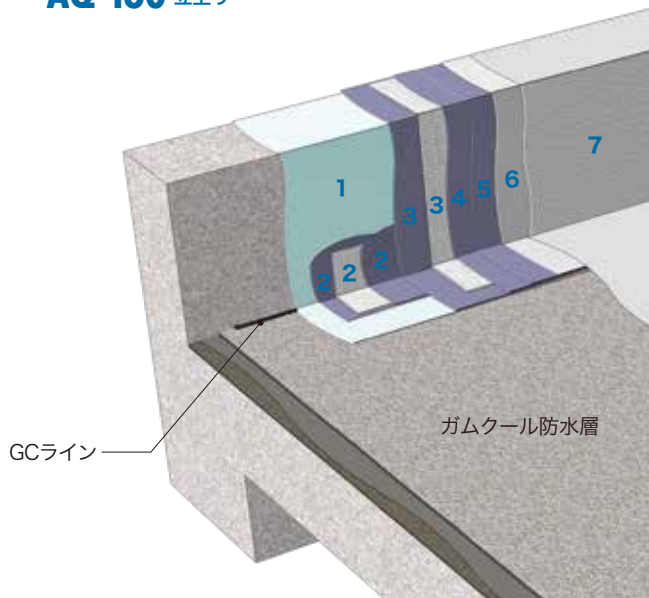
水系の2液混合型アクリルゴム系塗膜防水材料を用いる併用工法。

立上り、架台ともに、平面部を仕上げた後に入隅部の増貼りを行う「後増貼り」と、先に入隅部を増貼りする「先増貼り」のどちらでも適用可能です。

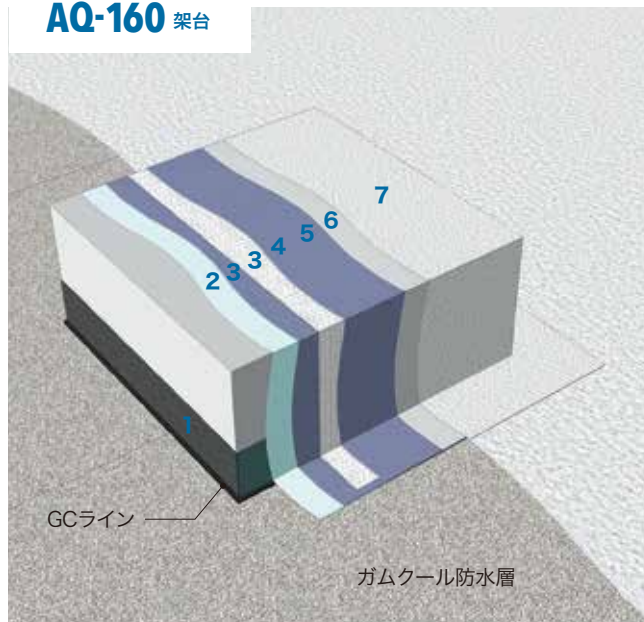
防水仕様

塗膜防水併用工法

AQ-160 立上り



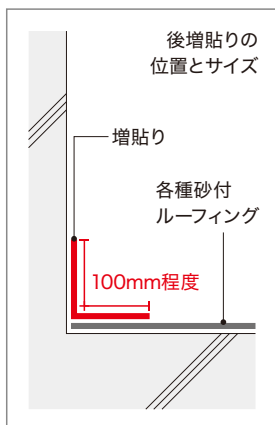
AQ-160 架台



AQ-160

適用下地: コンクリート下地

立上り(後増貼り) (単位:/m ²)		
1	アクアプライマー	0.15kg
2	増貼り※1	—
3	アクアベース アクアールフ	1.0kg —
4	アクアベース	1.0kg
5	アクアベース	1.0kg
6	SPファインカラー	0.15kg
7	SPファインカラー	0.15kg

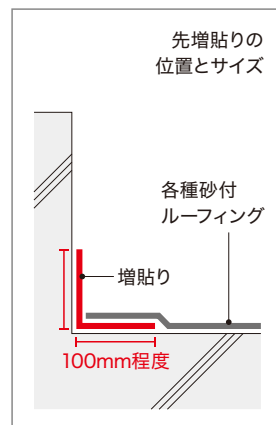


※1 後増貼りの場合、平面部の砂付ルーフィング施工後にアクアベース(1.0kg/m²)→アクアールフ増貼り→アクアベース(1.0kg/m²)の手順で施工します。

AQ-160

適用下地: コンクリート下地

架台(先増貼り) (単位:/m ²)		
1	増貼り※2	—
2	アクアプライマー	0.15kg
3	アクアベース アクアールフ	1.0kg —
4	アクアベース	1.0kg
5	アクアベース	1.0kg
6	SPファインカラー	0.15kg
7	SPファインカラー	0.15kg



※2 先増貼りの場合、FX-33、ガムクールFX、ポリマリットGLなど、平面部アスファルト工法の増貼り材を使用します。その場合は2層目の施工前に行ってください。

アクアベース併用工法は、立上り部の既存防水層を撤去せずに改修を行うことも可能です。詳しくは「コンポジットシステムAS」カタログをご覧ください。

注意事項

- ・アクアベースの各施工は指触により表面乾燥を確認した後、次工程に移ってください。
- ・側溝などの雨水が滞留する部位にAQ-160を施工する場合は、工程5と工程6の間に仲介プライマーとして、アクアプライマー(0.1kg/m²)を塗布してください。
- ・立上り、側溝部、架台廻りは原則既存防水層を撤去することを想定しています。その他の場合はご相談ください。
- ・アクアベース施工部位には必ずアクアプライマーを使用してください。
- ・アクアベースはエンシンシートと組合せての使用はできません。
- ・SPファインカラーに代えて、SPクリーンカラー2回塗り(0.2kg/m²+0.2kg/m²)、SPサーモコート2回塗り(0.4kg/m²+0.4kg/m²)、SPベース+SPファインカラー(0.45kg/m²+0.15kg/m²)もご採用いただけます。(価格別途)

2液混合型アクリルゴム系塗膜防水材料 アクアベース

「アクアベース」は、塗膜の水分が揮発することで乾燥硬化する材料です。

添加材を混合攪拌することで増粘し、立面などへの塗布作業に適した粘性に変化します。

反応硬化型の材料とは異なり、混合後に急激な増粘は起こらない設計です。

混合後の材料は水分揮発が起こらないように保管することで、再攪拌により数日間使用することができます。

アスファルト防水全般と相性がよく、周辺環境や作業員に対してもより安心して使用できる環境対応型(特化則・有機則 非該当)の塗膜防水です。



アクアベースの特長

アスファルト系各種防水と併用可能

不定形の塗膜材を塗布するだけで防水層を形成できるので、複雑部位の施工に適しています。

アスファルト系防水工法全般と相性がよく、専用プライマーを用いることで各種ルーフィング、シート類との良好な接着性を確保します。

改修現場にも最適な環境配慮型

エマルジョン系材料のため、臭気などの問題や引火、火傷、中毒の危険がなく、作業員や周辺環境に対して安全に作業を行えます。

また、ホルムアルデヒド放散等級 F☆☆☆☆の認定を取得しており、安心して使用できます。(特化則・有機則・消防法 非該当)

独自の乾燥機構による確実な硬化

表面の皮張り(塗膜表面だけが先に乾燥・硬化するエマルジョン系特有の現象)を抑制しているため、下層まで均一に乾燥が進行して高品質な防水層を形成。夏場など気温が高い環境においても施工性に優れています。

アクアベース施工手順の例

〈先増貼りの場合〉
増貼り施工後



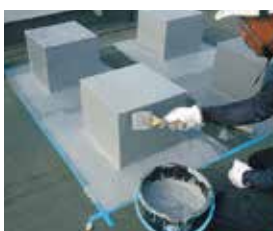
アクアプライマー塗布



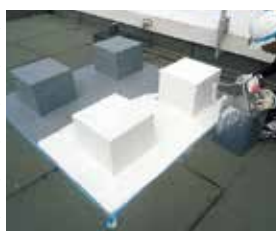
下塗り〜アクアルーフ施工



中塗り施工



上塗り施工



保護塗料塗布①



保護塗料塗布②



仕上がり

アスファルト系下地処理材・仮防水材

既存防水層の種類や状況に応じて選択可能な下地処理材と仮防水材

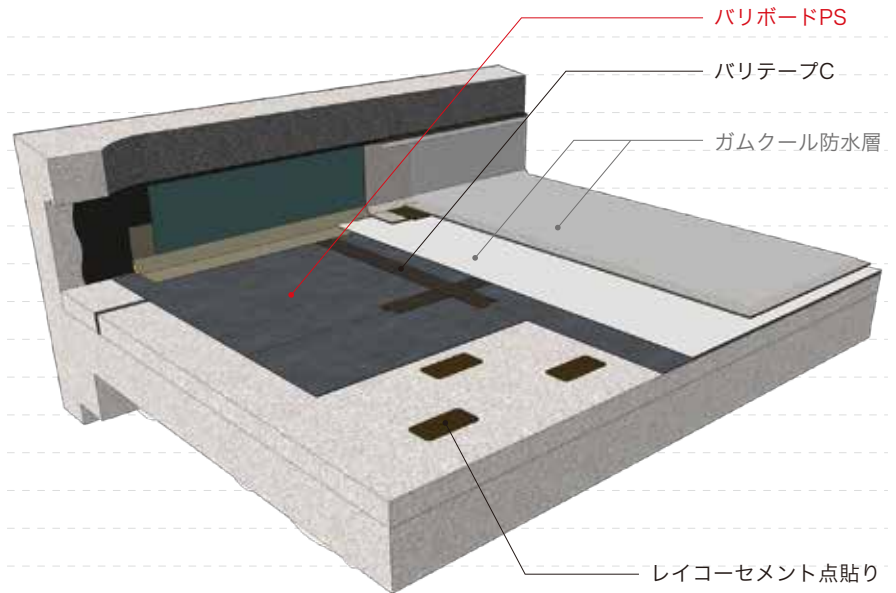
アスファルトパネル 下地処理材(乾式)

バリボードPS(アスファルトパネル)

厚さ4mmのアスファルト成型板で、既存下地に点貼りすることでガムクール防水層に最適な下地をつくりあげ、その上にガムクールを直接貼付けることができます。

凹凸のあるタイル下地等も、バリボードPSの敷設により平滑な下地が簡単にできあがります。

下地処理を簡略化・スピード化する乾式工法のバリボードPSは、同質のアスファルト系テープで目地貼りすることで、平面部防水層としての機能も発揮します。



荷姿	適用下地	接着剤・プライマー	ジョイントテープ
寸法:0.9×1m 厚さ:4.0mm	アスファルト露出防水／アスファルト保護防水※1	レイコーセメント 点貼り 0.5kg/m ²	バリテープC (バリボードPSジョイント)
	ウレタン塗膜防水※2／加硫ゴムシート防水※3	VTエース 0.3kg/m ²	
	塩ビシート防水接着工法※3	プライマー※4+VTエース 0.3kg/m ²	

※1 保護材は保護コンクリート、モルタル、高圧ブロック、タイル等とします。

※2 フッ素保護塗料仕上げのウレタン保護塗料が摩耗し、ウレタンが露出している場合、OTプライマーA(または速硬化OTプライマーMブルー)の塗布が必要です。

※3 下地シートの種類や劣化の状態により適応できない場合があります。

※4 VTプライマー(0.1kg/m²)を塗った後、速硬化OTプライマーMブルー(0.1kg/m²)を塗ります。

バリボードPS貼付け(レイコーセメント)



バリボードPS敷設



アスファルト系下地処理材(湿式)

リベース

溶剤

既存アスファルト系防水層の上に塗布することで、新規アスファルト防水層との接着力を向上させる、アスファルト系下地活性材です。

クールベース

水性

既存アスファルト系防水層の部分撤去後の穴埋めや、不陸調整などに適している水性ゴムアスファルト系下地処理材です。
既存砂付ルーフィング全面に塗布することもできます。

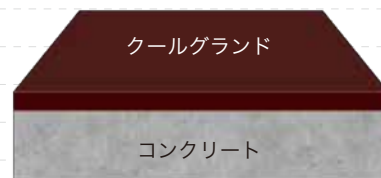
仮防水材(湿式)

クールグランド

水性

アスファルト系および高分子系の既存防水層撤去後に塗布する、速硬化タイプの水性ゴムアスファルト系仮防水材です。
硬化後は、直接新規防水(アスファルト系)を施工できます。

既存アスファルト防水層



荷姿	適用下地
20kg/缶	露出アスファルト防水

荷姿	適用下地
クールベース 8kg/缶 クールベースパウダー 16kg/袋	露出アスファルト防水

荷姿	適用下地
クールグランド 8kg/缶 クールグランドパウダー 12kg/袋	防水層撤去後の コンクリート下地 等

下地の種別・状態	塗布量(目安)
砂付ルーフィング下地	1.2kg/m ²
砂落ちした 砂付ルーフィング下地	1.0kg/m ²
粉付(細砂) 砂付ルーフィング下地	0.8kg/m ²

下地の種別・状態	塗布量(目安)
砂付ルーフィング下地	1.4~1.6kg/m ²
水溜り部補修など	最大30mm厚まで
不陸調整	1回の最大塗布 5mm厚まで

下地の種別・状態	塗布量(目安)
アスファルト防水撤去面	水性プライマーAS 0.2kg/m ² ※ + クールグランド 混練材 1.5kg/m ²
塩ビシート防水撤去面	
ゴムシート防水撤去面	

※撤去下地によって増減があります。



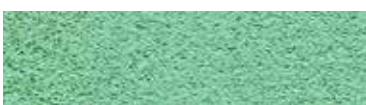
*アスファルト系以外にも、ポリマーセメント系の下地処理材「リグレー」「リグレーエポ」を取り揃えています。

保護塗料 ～SPシリーズ～

屋上を彩り防水層を保護する機能性塗料

SPシリーズの特長

- ・バリエティ豊かな色調が、屋上を華やかに彩ります。
- ・アスファルト系防水材料専用に開発した塗料ですので、対象下地との相性、特に付着性が優れています。
- ・露出断熱防水のような過酷な条件下でも、確実な防水層保護効果を発揮します。
- ・エマルジョンタイプですので、施工中の有機溶剤揮発による火災や中毒の心配がありません。

品名・規格・塗布量・特長	色	名称・色番号	日射反射率(%)	
			近赤外線領域 (780～2500nm)	全波長領域 (300～2500nm)
グリーン 購入法適合 高反射塗料 SPファインカラー アクリル樹脂を主成分とするエマルジョン系塗料です。 SPシリーズのスタンダード品として、防水層の温度上昇を抑制し劣化を軽減する効果があります。 ●18kg/缶 ●塗布量 碎石砂・スレート砂・細砂： 0.4～0.6kg/m²※1		ライトグレー A-101	74.6	60.3
		マットシルバー A-122	72.0	54.6
		ライトブラウン A-66	74.2	60.3
		ミントグリーン A-25	76.6	57.6
グリーン 購入法適合 高反射塗料 SPクリーンカラー 土・砂・花粉・珪藻類等の自然環境に起因した堆積物の影響から、防水層表面の保護効果を持つ骨材入り塗料です。 ●18kg/缶 ●塗布量 碎石砂・スレート砂・細砂： 0.5～0.6kg/m²(1回塗り)※1 堆積物が予測される部位： 0.7～0.8kg/m²(2回塗り)※2		CLグレー CL-109	78.0	63.8
		CLマットシルバー CL-122	75.8	56.4
		CLアイボリー CL-69	77.9	70.9
グリーン 購入法適合 高反射塗料 SPミッドカラー 明度を下げることでの照り返しによる眩しさを抑えながら、優れた遮熱効果を実現した、周辺環境との調和を図ったエマルジョン系保護塗料です。 ●18kg/缶 ●塗布量 碎石砂・スレート砂・細砂： 0.5～0.7kg/m²※1		ミッドグレー I-103	60.4	45.5
		ミッドリーフ I-27	57.6	40.6
		ミッドベージュ I-63	63.1	47.6
		ミッドチェリー I-33	66.7	52.8

品名・規格・塗布量・特長	色	名称・色番号	日射反射率(%)	
			近赤外線領域 (780～2500nm)	全波長領域 (300～2500nm)
高反射塗料 SPサーモコート SPスーパーサーモコート アクリル樹脂に骨材を加えた、エマルジョン系高耐久・高反射厚膜塗料です。防水層の温度上昇を抑制し、劣化を軽減する効果があります。特にSPスーパーサーモコートは、日射反射率(近赤外線領域)で80.0%とSPシリーズ最高の性能を有しています。 共に、防火性能に優れ、防水層を火災時の飛び火から保護する機能および、表面を美しく保ち続けるセルフクリーニング機能があります。		サーモホワイト TH-1000 (SPスーパーサーモコート)	80.0	81.0
		サーモグレー TH-109	77.5	61.8
		サーモアイボリー TH-69	76.9	69.8
		サーモグリーン TH-29	75.9	64.5

- 18kg缶
- 塗布量 砕石砂・スレート砂・細砂:
0.8～1.2kg/m²(2回塗り)※1

※各塗料塗布量の下限値を確保することで本来の性能を満たすように設計されています。



SPサーモコート



SPファインカラー

《注意事項》

- ※1 各塗料塗布量の下限値を確保することで本来の性能を満たすように設計されています。
- ※2 2回塗り箇所は通常保護塗装部位に比べ色が濃くなりますが、性能上問題ありません。
- ・高温になる夏季など、気象条件によっては、標準使用量を超える場合があります。
- ・日射反射率は(財)日本塗料検査協会試験による塗料単体の反射率です。
- ・高温になる夏季など、気象条件によっては、標準使用量を超える場合があります。
- ・塗り替えや下地が平滑な場合は、標準使用量を下回ることもあります。
- ・SPファインカラー、SPミッドカラーは1%を上限として水希釈が可能です。顔料分離が生じやすくなるため、攪拌しながらすみやかに使い切ってください。
- ・SPサーモコート、SPスーパーサーモコートは3%を上限として水希釈が可能です。顔料分離や骨材沈降が生じやすくなるため、攪拌しながらすみやかに使い切ってください。
- ・SPスーパーサーモコートは非常に高い日射反射率ですので、照り返しや反射光害に注意し、低層部では使用しないなどの近隣への配慮が必要です。
- ・SPスーパーサーモコートは色がほぼ純白のため、汚れが目立つ場合があります。
- ・緑化帯が設置されている場合、植栽帯周辺部や排水経路の露出防水にはSPクリーンカラーを2回塗り(0.7～0.8kg/m²)してください。
- ・植栽帯からの余剰水により、保護塗料上に藻や土などの汚れが付着する場合があります。必要に応じて二重床仕上げなどの汚れ対策をご検討ください。
- ・各色は印刷のため、現物との差違がありますのでご決定の際は色見本帳などをご参照ください。
- ・グリーン購入法:循環型社会の形成のために、平成12年5月制定された「国等による環境物品等の調達の推進等に関する法律」
- ・特注色対応は、SPマルチカラーで承ります。弊社営業担当までご相談ください。(SPマルチカラーは高反射機能を有していないため、断熱工法(既存含む)では採用できません。)

軽歩行用仕上げ材

ガムクール防水を保護し、屋上を彩る歩行用仕上げ材

歩行用仕上げ材の特長

- ・アスファルト系砂付成型板や、天然砂粒、磁器タイル、コンクリートなど数多くの素材から選択可能です。
- ・防水層を保護し軽歩行可能にするだけでなく、仕上げ材によっては屋上に外断熱効果を付加することもできます。
- ・仕上げ材の色を組合せることで、楽しいカラフルなパターン仕上げが可能になります。
- ・比較的軽量ものから、コンクリート製のものまで、ラインナップしています。

軽歩行用パネル仕上げ



ステップスクエア500

天然の細かい砂粒と、樹脂バインダーを混合してつくった成型板で、カラフルでデザイン性豊かな屋根に仕上げます。適度な弾力性と滑り抵抗性があり、透水性にも優れています。



NO-501



NO-518



NO-520



NO-588

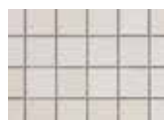
天然石のため、微妙な色差があり、単色で並べると色ムラが目立つ恐れがあります。2色～3色を組み合わせた市松貼りなどをお薦めします。

磁器タイル仕上げ



ガムロンタイル

耐久性の高い磁器タイル仕上げです。タイル裏面の端部・角部分を曲面に加工し、歩行しても防水層表面を傷つけない形状です。



パールホワイト
GT-101



オレンジブリック
GT-102



サンディブラウン
GT-103



ウォームグレー
GT-104

軽歩行ブロック仕上げ



エイブロックBF・BJ

セメントと硬質骨材との混合と合成繊維メッシュで補強された成型板です。防水層の上に置き敷きする簡単施工です。目地部分で折り曲げ、下地の不陸等に馴染ませて設置します。



RBタイル

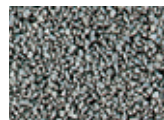
ポリスチレン系断熱材とモルタルを工場で同時成型したもので、外断熱工事と歩行仕上げ工事が同時にできます。熱伝導率が低く断熱効果の高い、施工の簡単なコンクリートパネルです。

軽歩行パネル仕上げ



バリキャップP

厚さ6mmのアスファルト系砂付成型板で、表面に焼付彩色した砂粒(または自然色砂粒)を隙間なく密着させた、保護仕上げ材です。2色あるいは3色を組み合わせ、楽しくカラフルなパターン仕上げも可能です。



S-1 ライトグレー



S-5 自然色



S-6 赤茶



S-22 新緑

※各仕上げ材の色は印刷のため、現物との差異がありますので、ご決定の際は色見本帳などをご参照ください。



防水性能

いくつかの検証を経て立証された、圧倒的なパフォーマンスを備えた防水システム

下地の亀裂への防水層追従性能① 耐繰り返し疲労性能

防水層の下地は、さまざまな要因により挙動が生じており、その下地の動きに防水層が追従できなければ、破断、漏水の事態に至ります。ガムクール防水層の繰り返し下地追従性能を確認します。

繰り返し疲労試験

■ 試験方法
JISA6013(2005)耐疲労試験に準ずる。
下地の亀裂幅0.5～2.5mmの拡大縮小を、繰り返し600サイクル行い、GSS-2S防水層の状態を観察する。また80℃加熱劣化112日後の防水層についても同様の試験を行う。



試験結果

項目	ガムクール防水 GSS-2S	
	初期	加熱劣化後
破断の有無	無し	無し
砂付き面の状態	異常なし	異常なし
下地からの浮き・剥離	異常なし	異常なし

ガムクール防水層は、下地の繰り返し挙動に対し安定した状態を維持します。

下地の亀裂への防水層追従性能② 破断抵抗性能

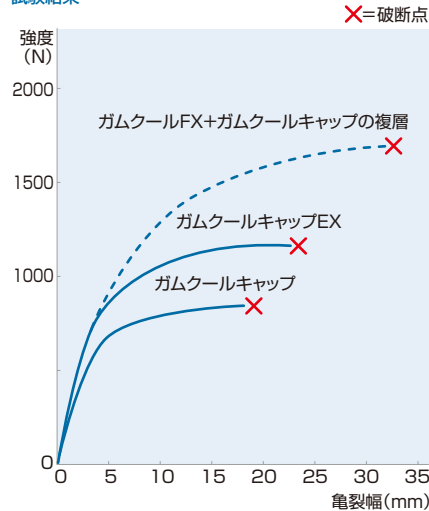
ガムクールのゴムアス自着層はその軟接着効果により、下地亀裂部に発生する応力を全体に分散することで、材料が破断することを極力抑制します。実際にどの程度の幅まで追従できるかを確認します。

破断抵抗性試験

■ 試験方法
左記試験同様、スレート板下地にガムクールキャップを貼り、中央部亀裂を一定速度(5mm/分)で開いていき、防水層破断時の強度を亀裂幅で測定する。
測定温度: -15℃



試験結果



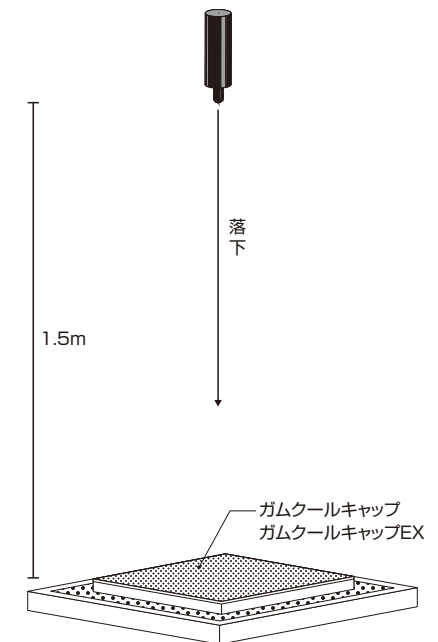
ガムクールの耐衝撃性能

防水層は思いもかけない機械的な損傷を受ける場合があります。施工中やメンテナンス時に誤って工具や重量物を落としたケースを想定した試験を行いました。

落球試験

■ 試験方法
先端が半球形状のシリンダー型おもり(500g、鉄製)を高さ1.5mの位置から落下させ、試験体表面の破損状況を観察する。
試験温度: -15℃

■ 試験体
コンクリートパネルの表面にガムクールキャップ、ガムクールキャップEXを貼り付け試験体とする。



試験結果

ガムクールキャップ、ガムクールキャップEXいずれも異常は認められませんでした。

新ガムクールキャップの耐熱性能

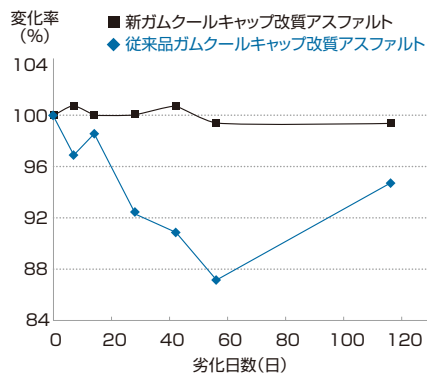
夏季、炎天下における露出防水層の温度は70℃を越える場合も珍しくありません。新しいガムクールキャップは、最も外部温度の影響を受けやすい最上層の改質アスファルトを改良し、その性能向上を図りました。

耐熱劣化試験

■ 試験方法

各試験体を80℃に熱したエアオープンの中で静置させ0～16週経過後において軟下点を測定し、その変化率をグラフ化しました。

試験結果



新しい改質アスファルトの軟化点は長期劣化後もほとんど変化せず、従来品よりもさらに安定した耐熱性能であることが確認できます。

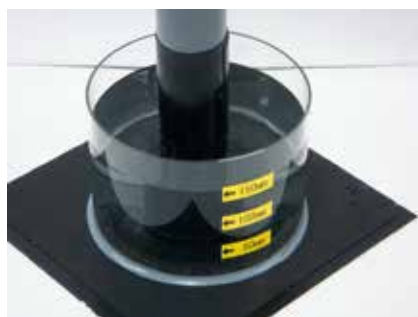
柔軟性に優れたエンシンシート

複雑な部位への施工を目的としたエンシンシートは、柔軟性と延伸性が命です。配管廻りなどを想定した試験体を作成し、エンシンシートの水密性能を確認しました。

水張り試験

■ 試験方法

配管廻りを想定した試験体の根本にエンシンシートを貼り、水張り試験を実施。(水深150mm、5℃、24時間)



試験結果

エンシンシート施工部位からの浸水は見られませんでした。

高反射塗料塗布による防水層の保護効果について

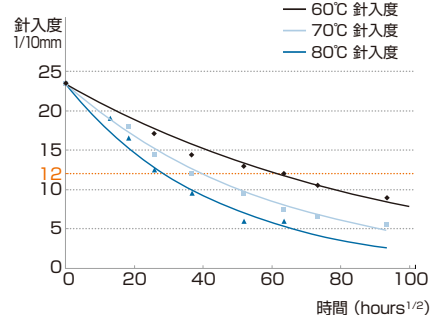
防水層は温度が高いほど熱劣化を受け、性能低下が進行します。

アスファルト防水では、この加熱劣化と“針入度”という性能値が良く相関することが知られています。

図は、建築学会で発表された加熱劣化時間と針入度との相関データです。

加熱劣化温度が高いほど劣化が促進されることが分かります。(例えば針入度12の場合60℃、70℃、80℃と、10℃の違いでかなり劣化時間の違いがあることが読み取れます。)

加熱劣化時間と針入度



高反射塗料にて表面を覆うことで、防水層温度上昇が抑えられ、(10ページ「保護塗料の有無による防水層温度比較推移」参照)ひいては防水層の延命に効果を期待できることになります。

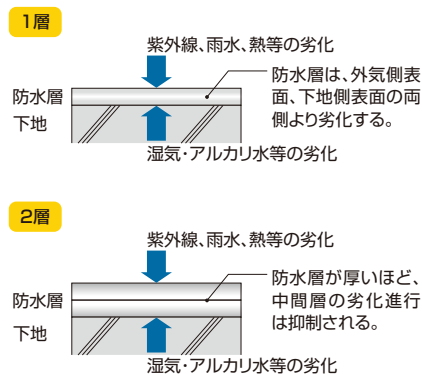
※注意：防水層は熱劣化の他にも風雨や紫外線、躯体挙動等によっても劣化するため、単純に10℃温度が低減すれば耐久性がX倍になるということではありません。

防水層の積層効果について

従来から熱アスファルト工法では、ルーフィングを貼り重ねてゆく「積層防水」が主流であり、現在でも官公庁仕様においては基本的に2層以上の積層工法が採用されています。ルーフィングを積層する効果には以下のものがあります。

- ①防水層厚みが増すことによる劣化速度の抑制
- ②ルーフィングが複数枚となることによる力学的特性の向上
- ③各層に別機能を持たせることによる付加価値の付与

紫外線・雨水熱等の劣化イメージ



上記以外にも積層させることによる人為的ミスの低減および用途に応じて仕上げ材を選定できるメリットがあります。

積層効果①

防水層厚みが増すことによる劣化速度の抑制

●経年防水層の分析結果例

総合技術開発プロジェクト(総プロ)においてアスファルト防水層の経年劣化の指標としてはアスファルトの針入度が適切であるとしています。全国多数のアスファルト防水層をサンプル調査し、防水層を構成しているアスファルト各層の針入度は、層の位置により劣化進行の度合いが異なることがわかっています。

アスファルト経年防水層の各層における針入度測定例

防水層部位	針入度
上層	16.0まで低下
中間層	19.5まで低下
下層	15.0まで低下

【防水層採取物件情報】

- ・北海道千歳市 RC造
- ・アスファルト露出防水熱工法 3層仕様
- ・防水施工後 19年経過

上記の分析結果より、3層からなるアスファルト防水層は、最上層は日射熱や紫外線、最下層は水分等の劣化因子により劣化が進行しますが、中間層においては比較的健全な状態を保つことができることを示しています。

積層効果②

力学的特性の向上

●機械的強度(抗張積の比較)

アスファルト防水で使用されるアスファルト系ルーフィングはそれぞれJIS規格に基づく試験方法によりその性状を確認することができます。しかし、実際の防水層は様々なルーフィングの組合せにより構成されているため、防水層全体の強度比較は一般的に防水層の抗張積*により比較されます。

*抗張積: ルーフィングの引張り強さ(N)と最大荷重時の伸び率(%)の積で求められる、ルーフィングの破断に要するエネルギーを表す数値。

強度試験

■試験方法

ガムクール防水の以下の2仕様について比較します。

仕様①

GSS-2S(ガムクールFS+ガムクールキャップ)

仕様②

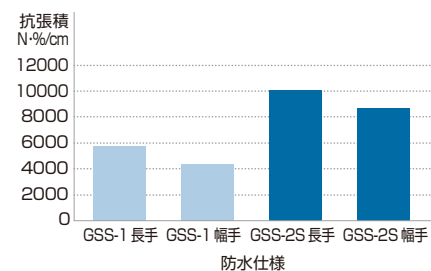
GSS-1(ガムクールキャップEX)

上記試験片を引張試験機に取り付け、速度100mm/分で試験片が破断するまで引っ張り、最大荷重及び破断時の変位量を求め、抗張積を計算します。

各防水層抗張積比較

	引張強さ (N/cm)	破断時の 伸び率(%)	抗張積 (N・%/cm)
GSS-1 長手	125.0	46.5	5811.6 (100)
GSS-1 幅手	86.4	50.7	4381.9 (100)
GSS-2S 長手	219.4	45.7	10016.6 (172)
GSS-2S 幅手	174.3	51.0	8879.5 (202)

※()内の数値はGSS-1仕様を100とした値。



試験結果

GSS-2仕様はGSS-1仕様と比較し170%以上の抗張積を持ち、防水層としての機械的強度に優れていることがわかります。

耐風圧性能

ひとつひとつの部材の繋がりが、強風に対しての備えと安心をお約束します。

下地処理材の接着・固定力

様々な種類の既存防水層上にガムクールを施工する場合、その固定強度が耐風圧性能を左右します。

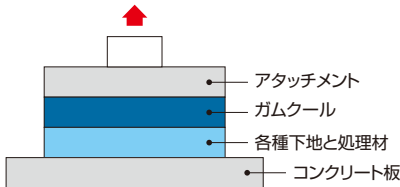
接着試験

下図のように試験体を作成し、引張試験機にて接着強度を測定する。

■ 試験方法

- ・引張速度:100mm/分
- ・測定温度:20℃
- ・接着面積:16cm² n=5

■ 試験体



アタッチメントにはエポキシ接着剤にて接着させる

試験結果

ガムクール粘着材の接着力(N/m²)

試験体	試験結果	絶縁工法の場合 (接着面積54%)
下地構成		
アスファルト防水／ リベス	230,000	124,200
アスファルト防水／ クールベース	249,000	134,460
コンクリート／ クールグラウンド	263,000	142,020
コンクリート／ 水性プライマーAS	232,000	125,280
ギルフォーム	152,000	82,080
ウレタン防水／ OTプライマーA	242,000	130,680
ゴムシート防水／ 水性プライマーAS	232,000	125,280
塩ビシート防水／ VTプライマー + 速硬化OTプライ マーMブルー	280,000	151,200

※いずれもガムクール粘着層の材料破壊。
(ギルフォーム上のガムクールは一部ギルフォーム
破壊を伴う。)

レイコーセメントの接着力

断熱材「ギルフォーム」と乾式パネル「バリボード」の接着剤の固定強度を確認します。

接着試験

■ 試験方法
左記に準ずる
(コンクリートには水性プライマーASを塗布)

試験結果

断熱材ギルフォームの接着力(N/m²)

試験体	試験結果 破壊現象	工法m ² 当たりの 接着強度
コンクリート／ レイコーセメント	201,000 ギルフォーム 破壊	36,545 (0.04m ² ×5点 貼り)
コンクリート／ ダンパーシート	152,000 粘着材・ ギルフォーム 破壊	82,080 コンクリート／ ダンパーシート面の 接着面積 54%を考慮。

バリボードの接着力(N/m²)

試験体	試験結果 破壊現象	工法m ² 当たりの 接着強度
コンクリート／ レイコーセメント	337,000 レイコー セメント破壊	37,444 (0.04m ² ×5点 貼り)

m²当たり接着強度の算出

接着強度×接着面積÷被着体面積×安全率50%

接着面積:1点当たり0.04m²の5点貼り

被着体面積:ギルフォーム=0.55m²

バリボード=0.9m²

アンカーの引き抜き強度

機械的固定工法では、アンカーがいかに強固に固定されているかが、風圧に対してひとつのポイントになります。

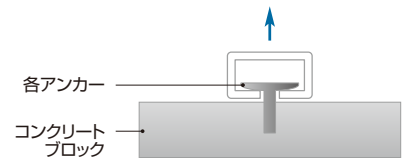
引き抜き試験

下図のように試験体を作成し、引張試験機にて引き抜き強度を測定する。

■ 試験方法

コンクリートブロック(圧縮強度24N/mm²)に各種アンカーを固定し、建研式引張り試験器で引抜強度を測定する。

■ 試験体



試験結果

	PLアンカー	UPアンカー
使用ドリル径	6.0mm	6.0mm
埋め込み深さ	40mm	30mm
強度(N/本)	4,730	5,560

UPアンカー打ち込み部の シートの引き抜き破断強度

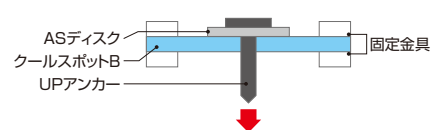
固定強度に関して金属製のディスクやアンカー類に比べ、強度的に劣る部分がシートとディスクの接合部分です。この部分の強度を確認しました。

引張り試験

■ 試験方法

クルスポットBに、ASディスクとUPアンカーを打ち込み、万能引張り試験機でシートの引張り破断強度を測定した。また、20℃の飽和アルカリ水中に1ヵ月浸漬した後の強度も測定した。

■ 試験体



試験結果

部位	初期	飽和アルカリ水浸漬後
引張り 破断強度 N/1カ所	2,724	2,695
現象	シート破断	シート破断

シート(クルスポットB)の破断を想定した試験でも十分な引張り破断強度を確認できました。また飽和アルカリ水中浸漬1ヵ月後も数値がほとんど変わらず、良好な結果となっています。

耐風圧性能の検証

建物の屋根には、強風下において防水層を吸い上げようとする力(負圧)が生じます。防水層はその力に対抗しなければなりません。建築基準法に基づき、以下のモデルを用いて、負圧に対する耐風圧性能の検証をしました。

〈風圧力の算定基準〉

建築基準法施行令(第82条の4)
告示(平成12年建告第1454号、1458号)

①耐風圧性能を計算するにあたり、仮想モデルを設定します。

■モデル設定条件

建物の高さ(H):30m
建物の短辺方向の長さ(a):50m
屋上勾配:1/50
基準風速:38m/秒
地表面粗度区分:Ⅲ
その他条件:都市計画区域内

②屋根にかかる風圧力は、以下の計算式により求められます。

$$W=q \times C_f$$

- ・W: 風圧力(N/m²)
- ・q: 平均速度圧(N/m²)
- ・C_f: ピーク風力係数

※平均速度圧は次式により求めます。

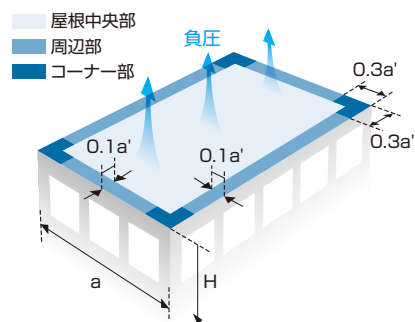
$$q=0.6 \times E_r \times V_o^2$$

- ・E_r: 平均風速の高さ方向の分布を表す係数
- ・V_o: 基準風速

(V_oは全国の市町村単位で細かく分類し、その土地で吹く風の基準として30m~46mの8段階に区分されています。)

③風圧力の計算結果

部位	風圧力(N/m ²)
屋根中央部	-2,123
周辺部	-2,717
コーナー部	-3,651



H: 建築物の高さと、軒の高さとの平均
a': 平面の短辺長さ(a)とHの2倍の数値のうち、いずれか小さい数値(ただし30mを超える場合は30とする)

ガムクール接着工法の耐風圧性能

工法	接着強度(N/m ²) および破壊現象	コーナー部風圧力(N/m ²)	安全率(%)
絶縁工法 GSS-2S,GCS-2Sなど	124,200 下地/ストライプ粘着層(粘着層破壊)	-3,651	3,402
密着工法 GSS-2,GSK-1など	230,000 下地/全面粘着層(粘着層破壊)	-3,651	6,300
断熱工法(防湿層付) GPS-300S,GCS-300Sなど	82,080 断熱材/ストライプ粘着層(粘着層破壊)	-3,651	2,248
断熱工法(レイコーセメント) GSS-200Sなど	36,545 レイコーセメント/断熱材(断熱材破壊)	-3,651	1,001
バリボード工法(レイコーセメント)	37,444 レイコーセメント材料破壊	-3,651	1,026

ガムクール機械的固定工法の耐風圧性能

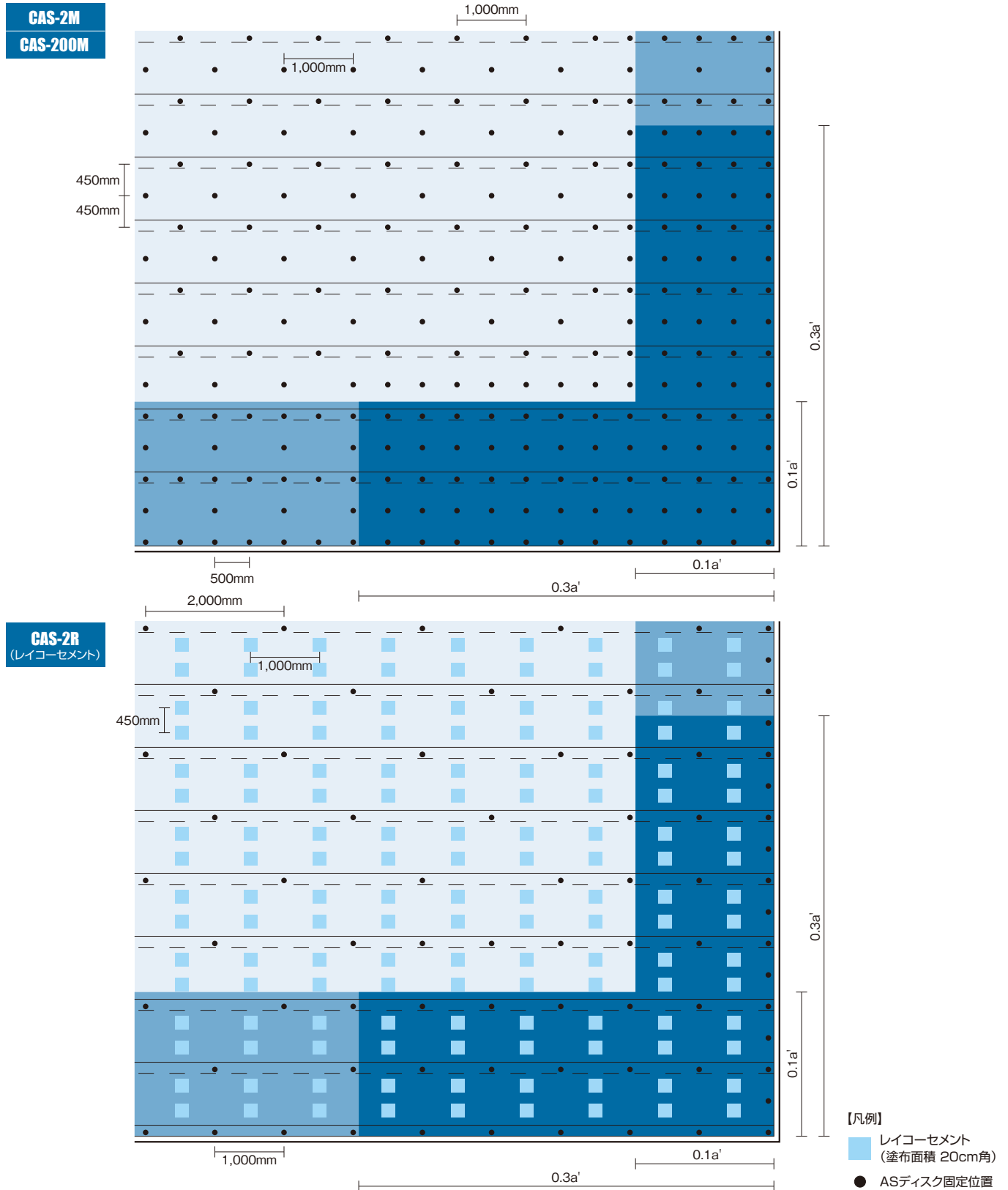
工法	部位	固定アンカー・使用接着材	1箇所当たり固定強度(N)	m ² 当たり箇所	m ² 当たり固定強度(N/m ²)	風圧力(N/m ²)	安全率(%)
機械的固定工法	屋根中央部	UPアンカー	2,695	2.2	5,929	-2,123	279
	周辺部	UPアンカー	2,695	3.3	8,893	-2,717	327
	コーナー部	UPアンカー	2,695	4.4	11,858	-3,651	324
機械的固定・接着剤併用	屋根中央部	レイコーセメント	2,940	2.2	6,468	7,950	374
		UPアンカー	2,695	0.55	1,482		
	周辺部	レイコーセメント	2,940	2.2	6,468	7,950	292
		UPアンカー	2,695	0.55	1,482		
	コーナー部	レイコーセメント	2,940	2.2	6,468	9,432	258
		UPアンカー	2,695	1.1	2,964		

※レイコーセメントの固定強度は、下地状況や諸条件により、規定の50%(200cm²/カ所)しか接着面積を確保できなかったとして計算しています。(レイコーセメント:14.7N/cm²×200cm²)

※海岸沿いや高層の建物など強風にさらされる地域の建物では、風圧力が増加するため十分な安全率が確保できない場合があります。この場合は、1m²辺りのディスク固定数を増やす必要があります。

固定割付例 例：短辺方向長さ(a')=20mの場合

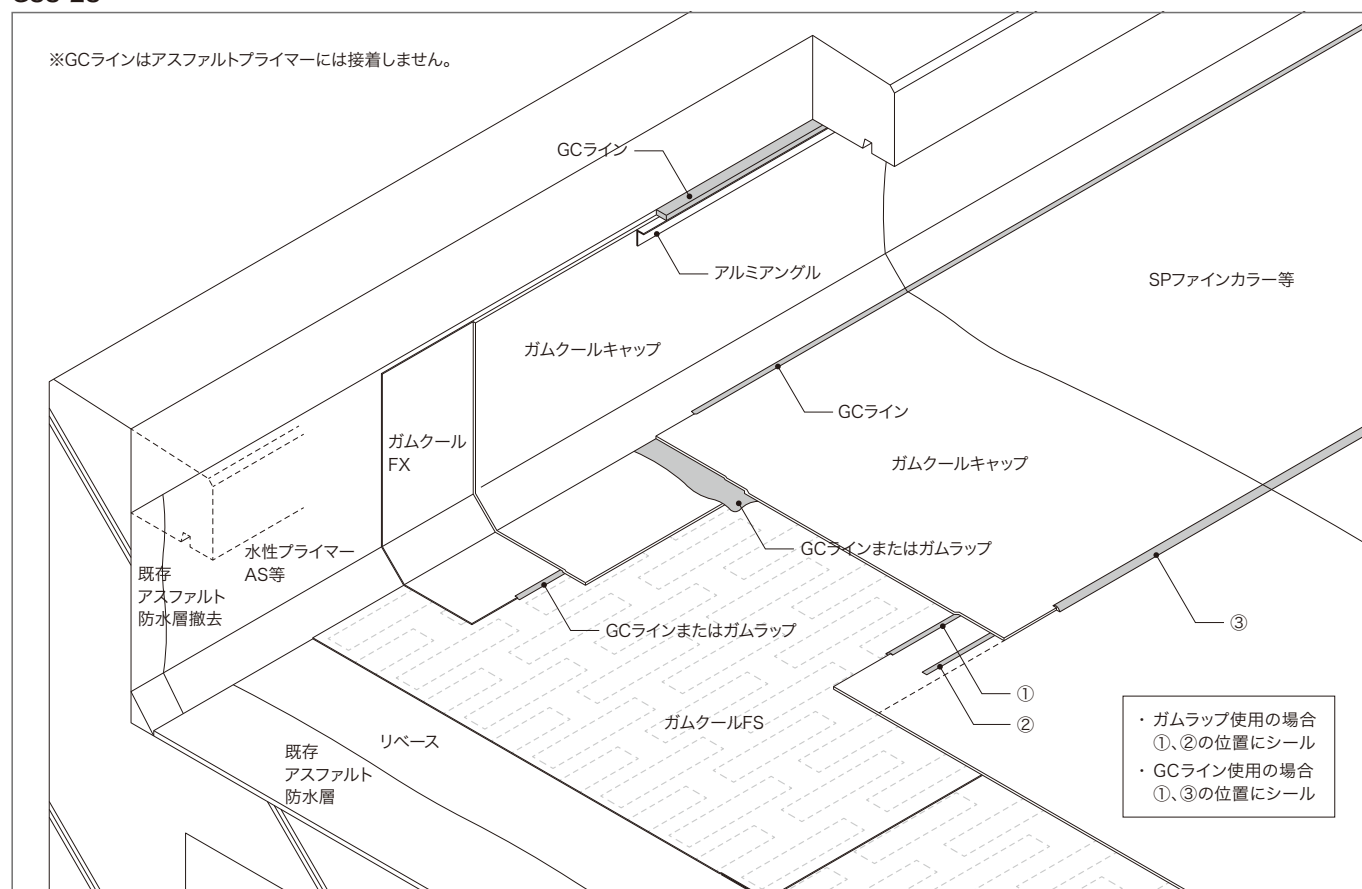
コーナー部分拡大図 コーナー部、周辺部の固定パターンは、 $0.1a'$ および $0.3a'$ の範囲の1列外側まで適用する。



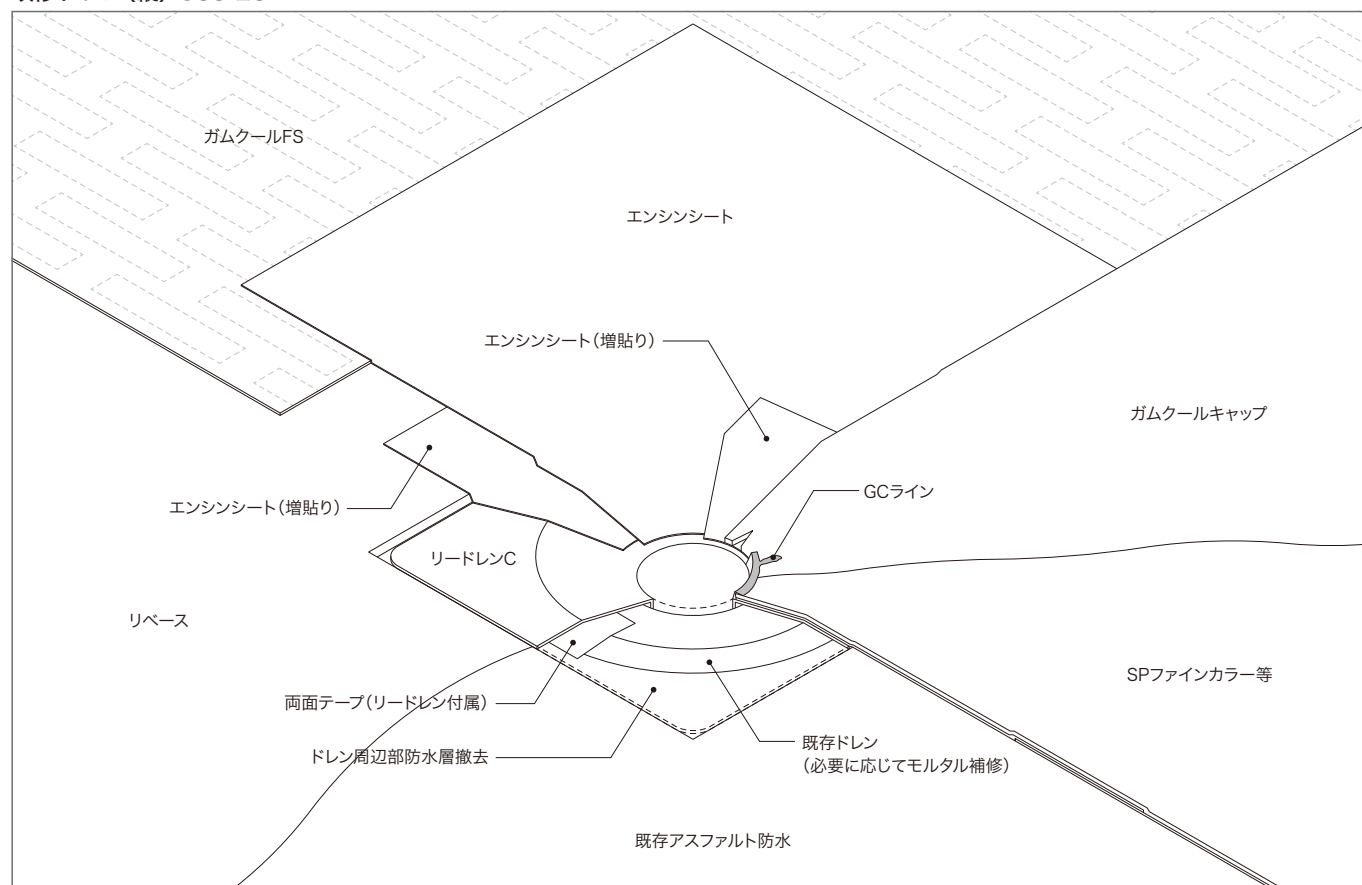
GSS-2S

施工情報

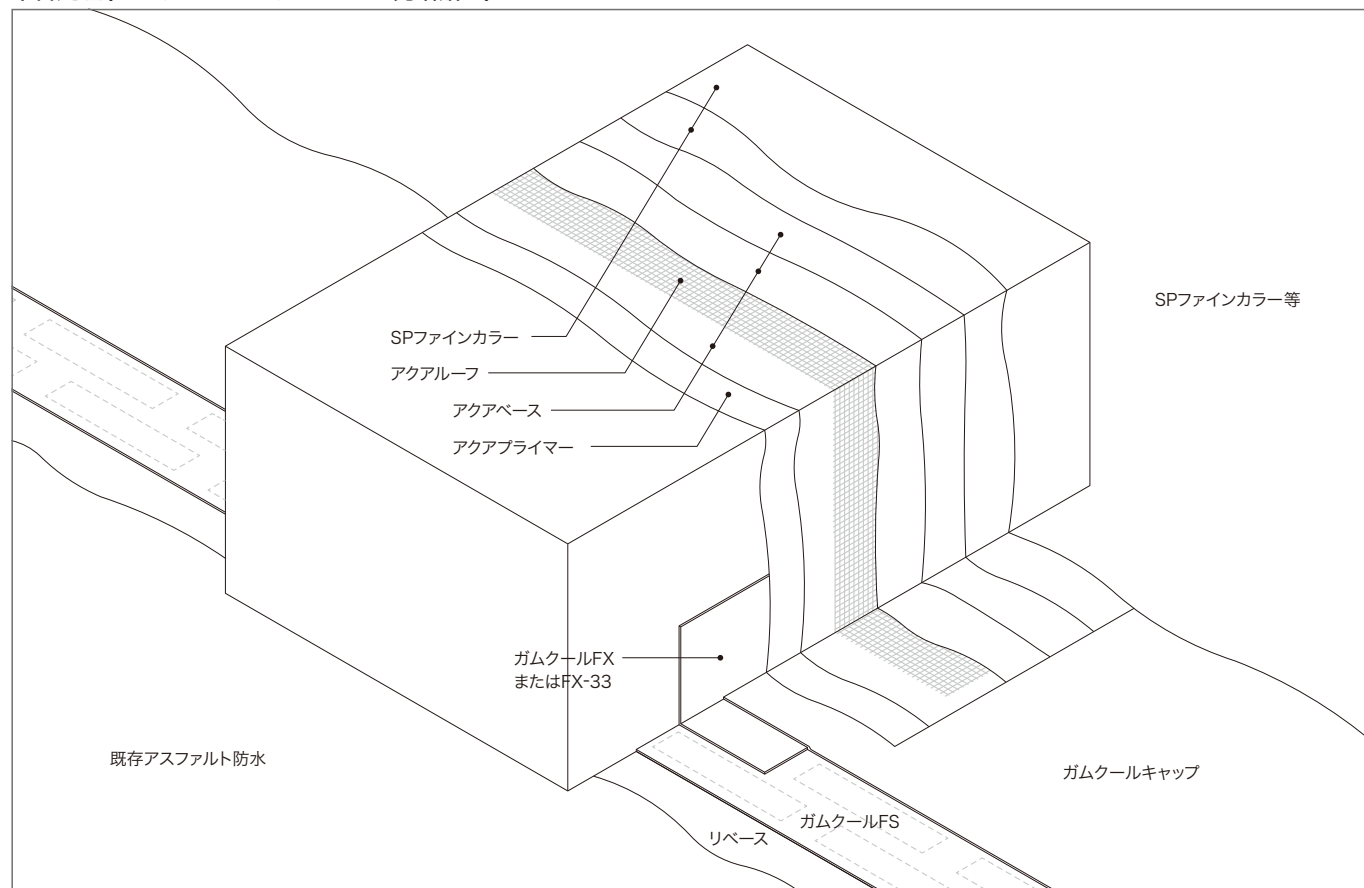
納まり図例



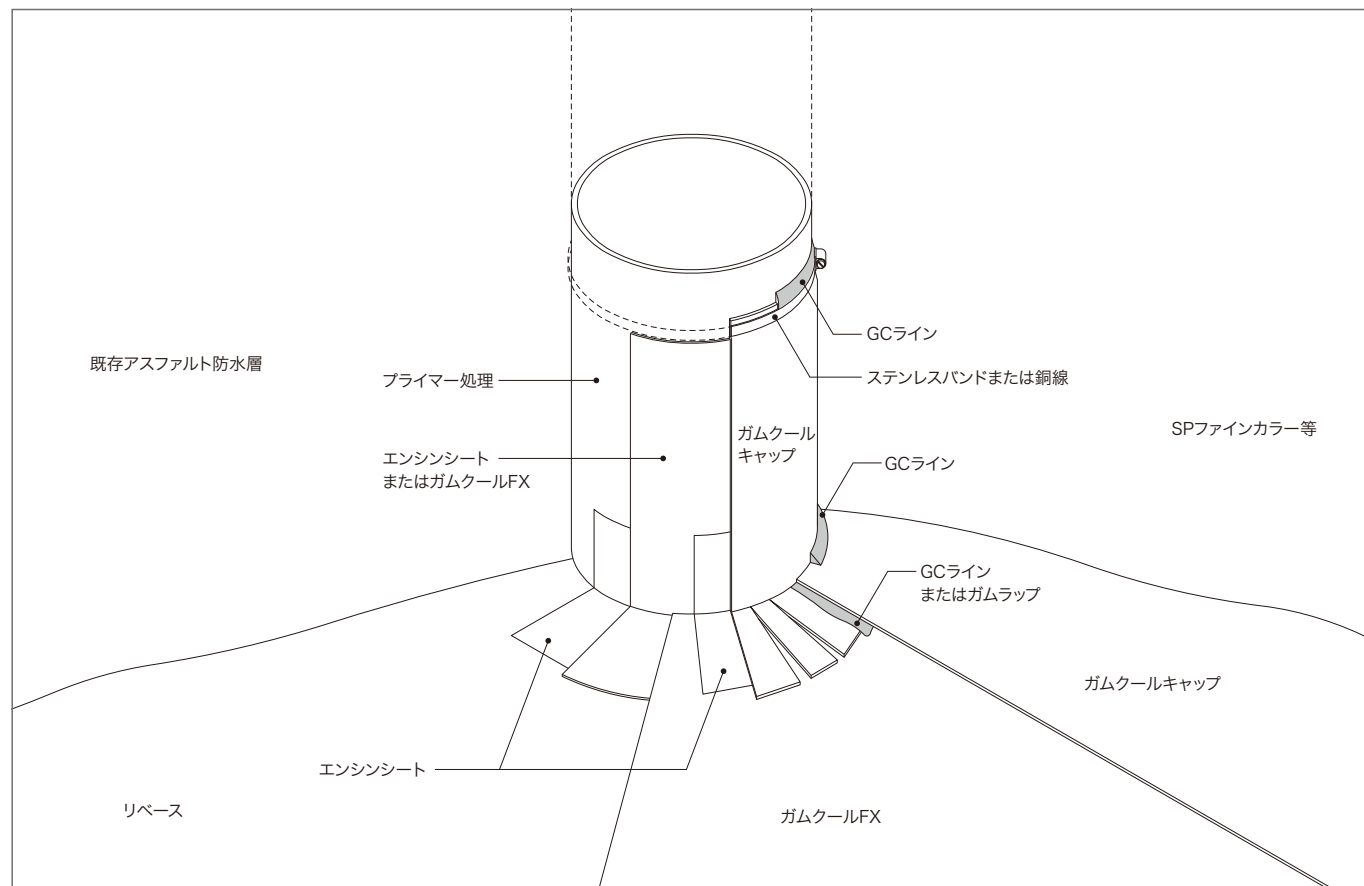
改修ドレン(縦) GSS-2S



架台処理(ガムクール+アクアベース 先増貼り)

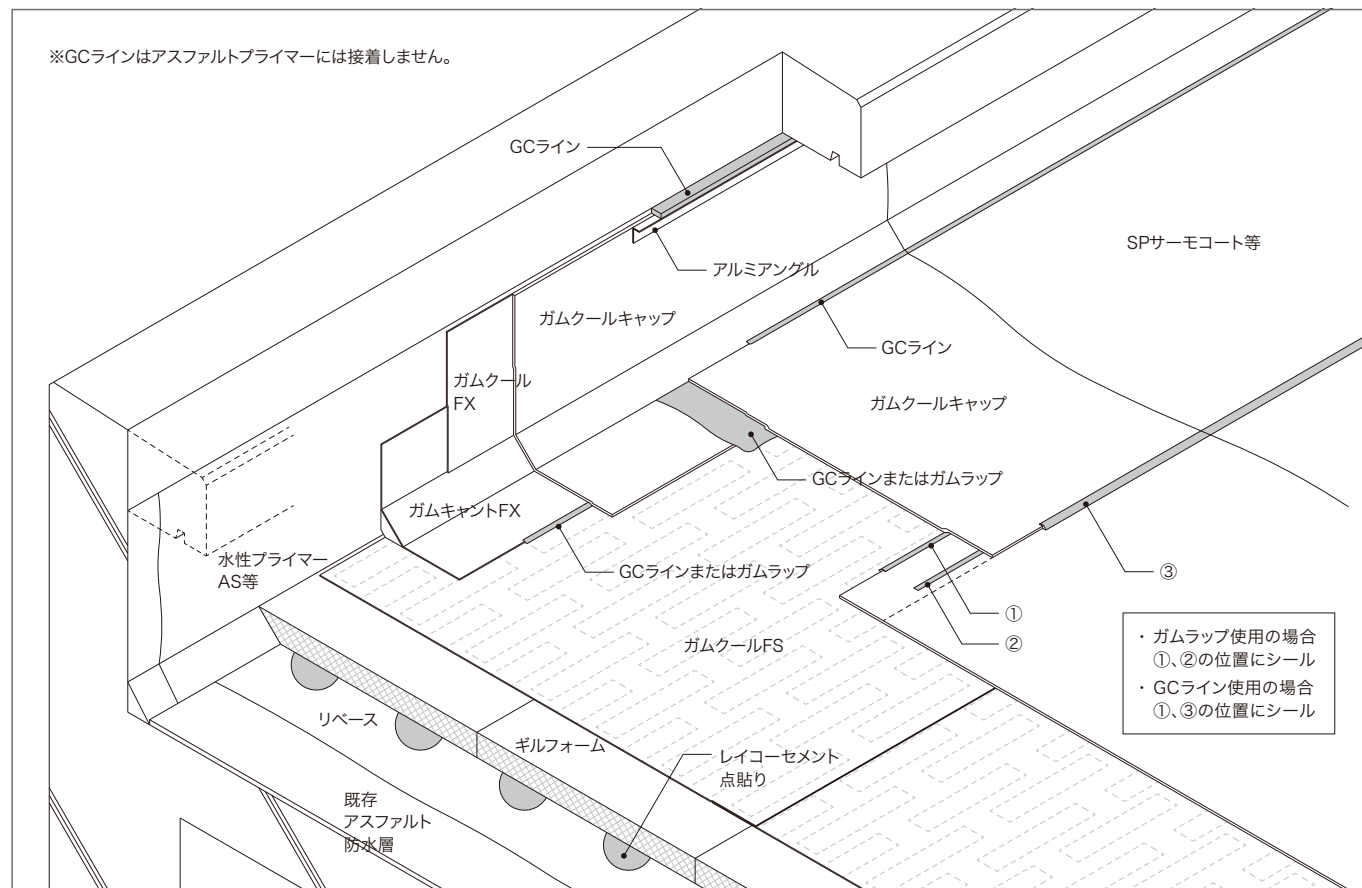


貫通管 GSS-2

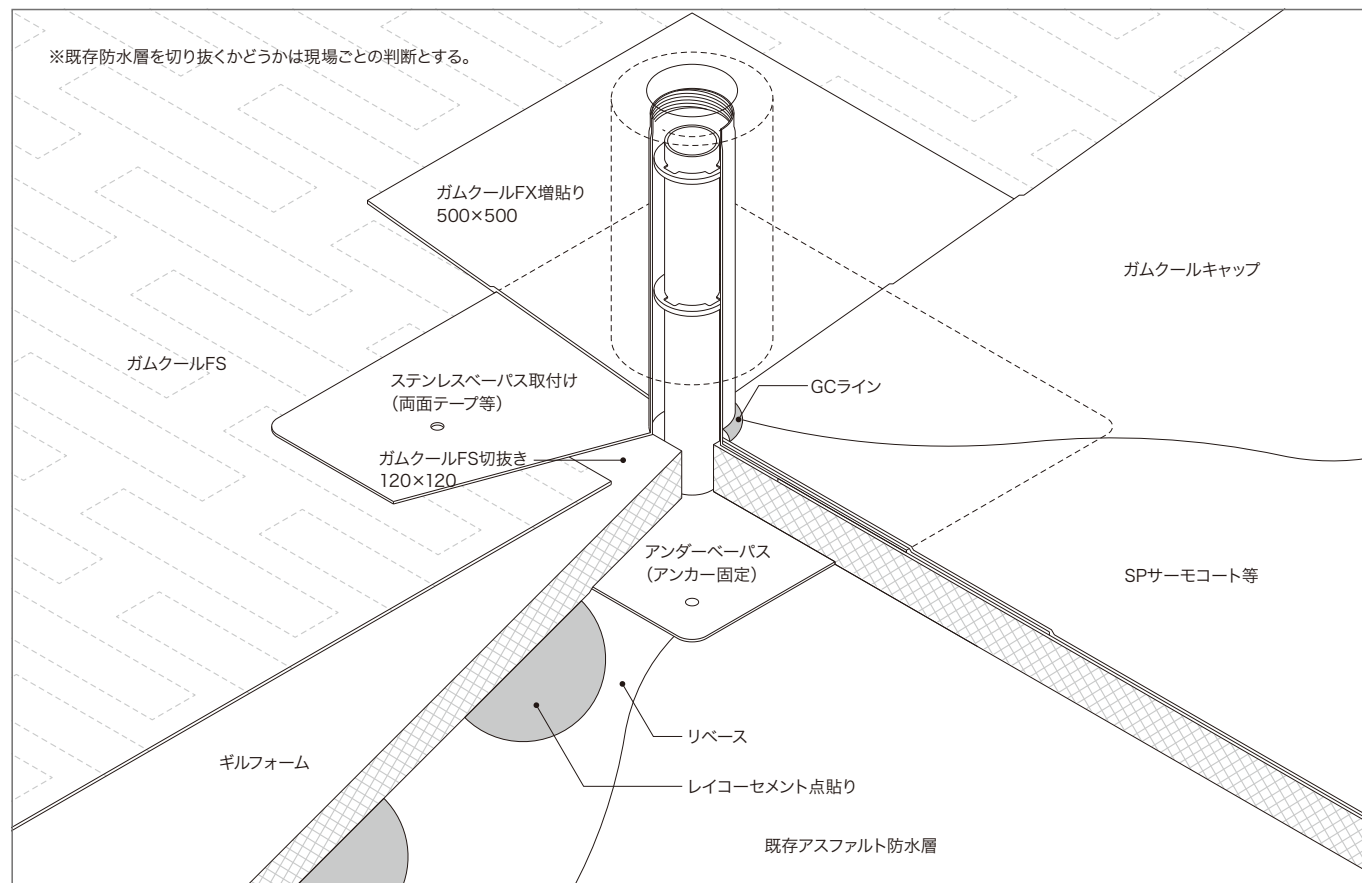


納まり図例

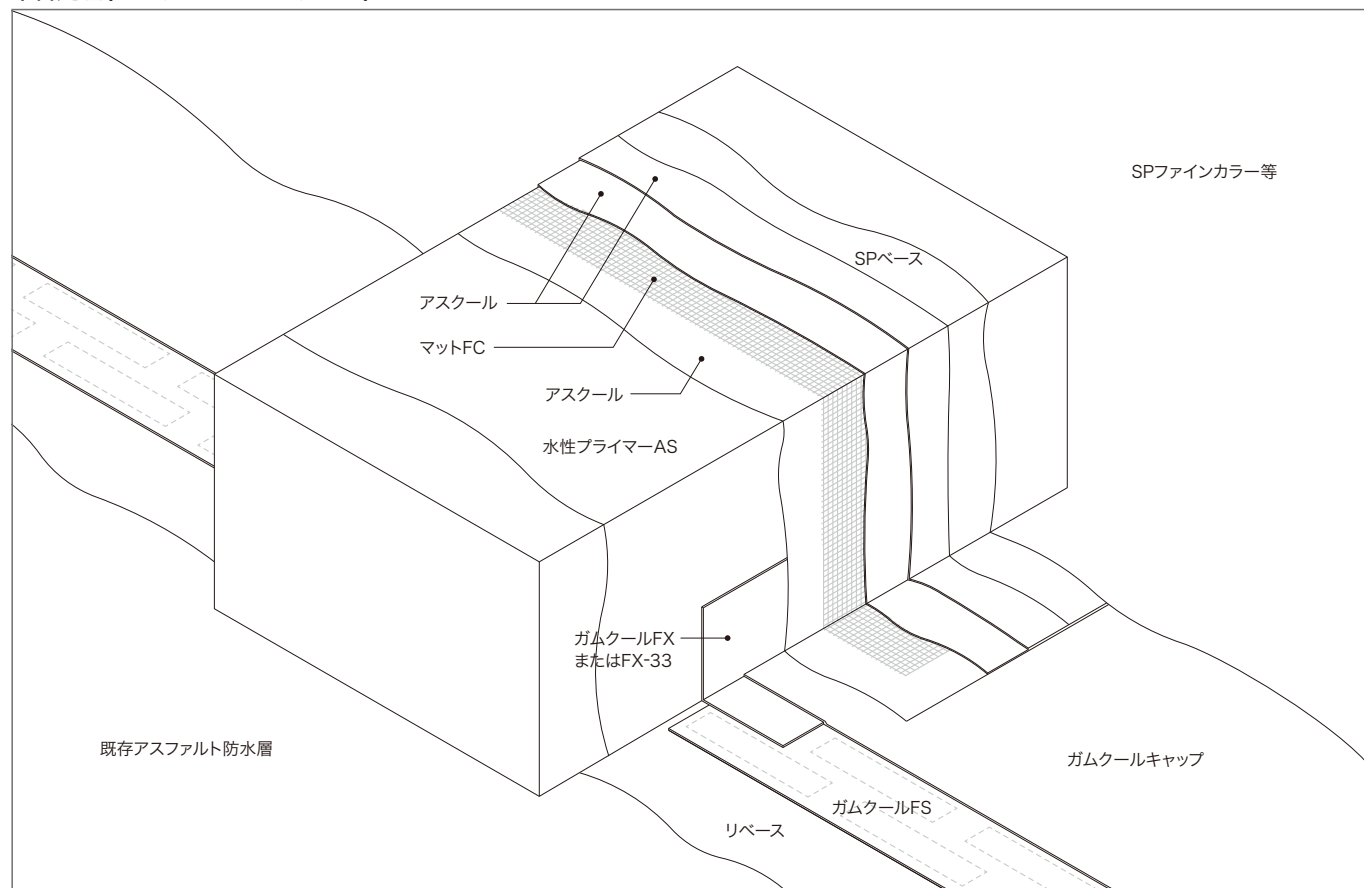
GSS-200S



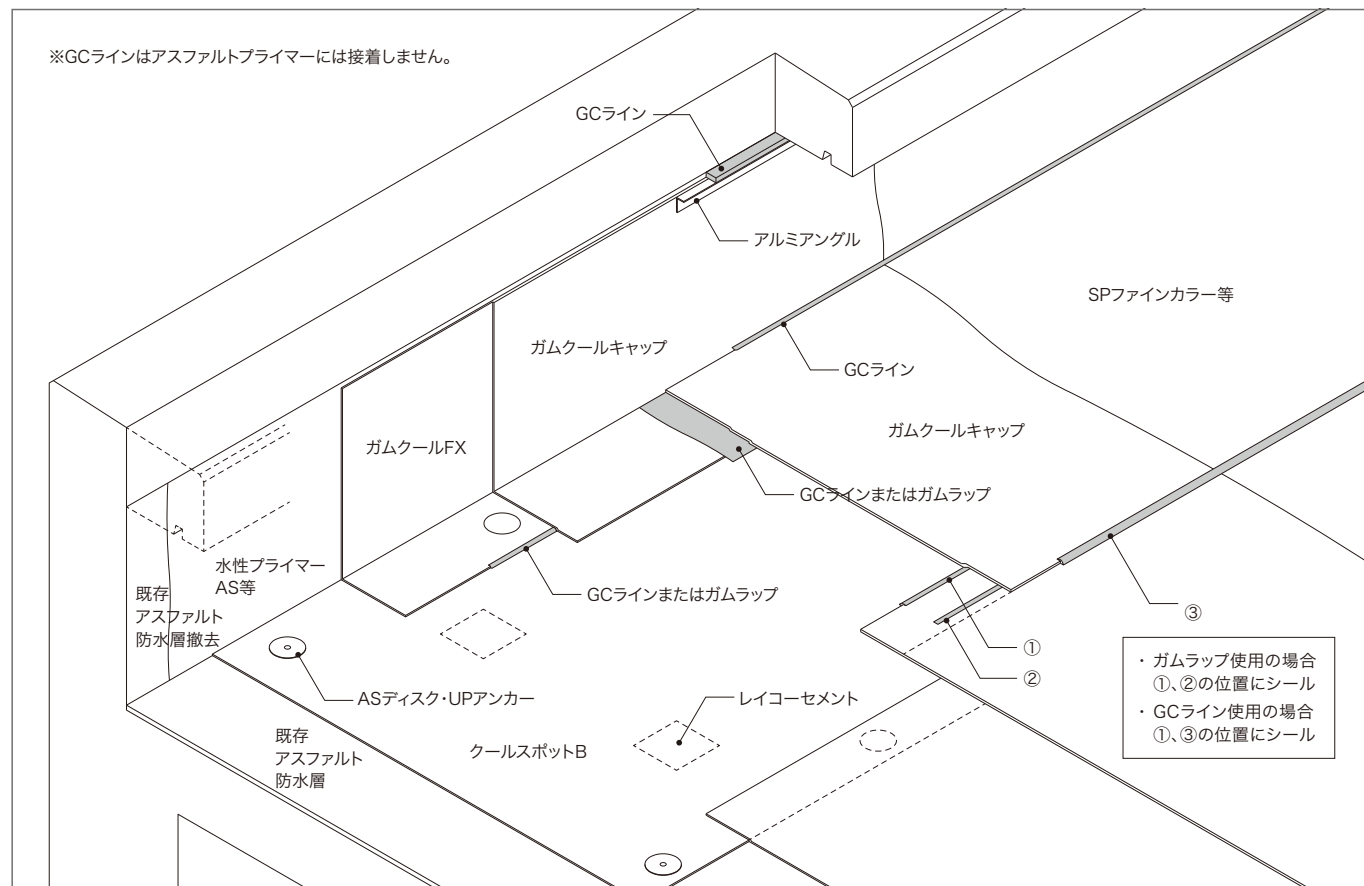
脱気筒 GSS-200S



架台処理(ガムクール+アスクール)

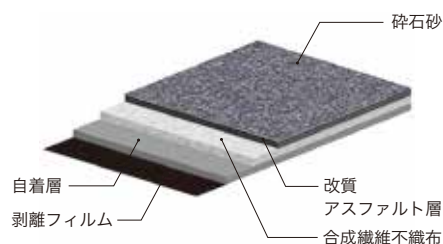


CAS-2R



材料紹介 シート類

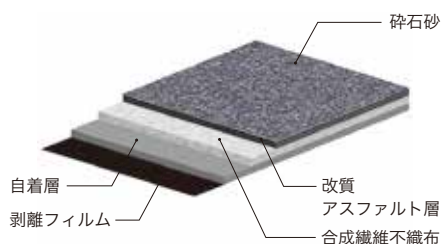
ガムクールキャップEX



主に単層工法に使用する砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出単層用R種II類

1m×8m巻
厚さ:3.5mm
※彩色ガムクールキャップEX(色:新緑、赤茶)は受注生産品です(納期約2~3週間)。
複層工法の彩色砂付仕上げにもご使用いただけます。

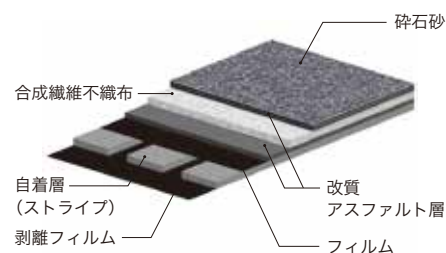
ガムクールキャップ



複層工法に使用する砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出複層用R種II類

1m×8m巻
厚さ:2.9mm

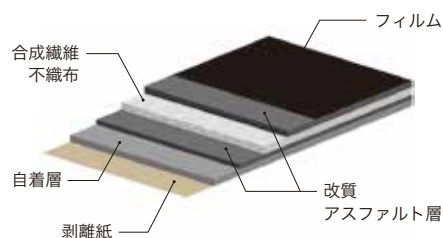
ガムクールキャップAS



裏面がストライプ状の自着層になっており、一層で通気と仕上げの機能を持つ砂付キャップシート。
JIS A 6013 露出単層用R種II類

1m×8m巻
厚さ:3.2mm(自着層を含まず)
※受注生産品

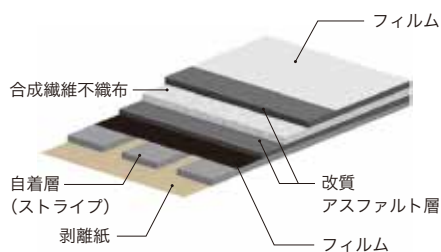
ガムクールFX/FX-33



ガムクールFXは、裏面が全面粘着タイプの中貼りシート。FX-33はガムクールFXを裁断したもの。
JIS A 6013 非露出複層用R種II類

ガムクールFX 1m×16m巻
FX-33 330mm×16m巻
厚さ:1.5mm

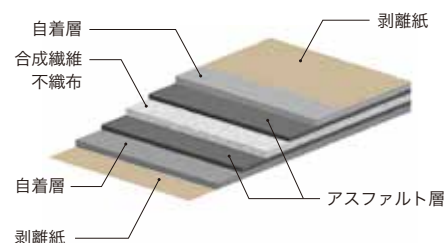
ガムクールFS/ガムクールFSII



裏面がストライプ状自着層になっており、複層工法の一層目に使用。ガムクールFSIIは、厚さ1.5mm品。
JIS A 6013 非露出複層用R種II類(FSII)

1m×16m巻
厚さ:ガムクールFS 1.0mm(自着層を含まず)
ガムクールFSII 1.5mm(自着層を含まず)

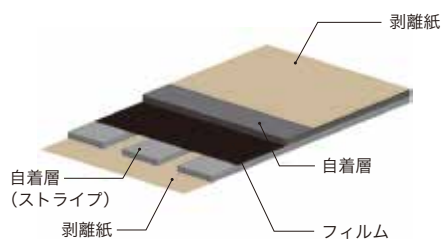
ガムクールベースE



バリキャップPで仕上げる際に使用する両面粘着タイプの中貼りシート。

1m×12m巻
厚さ:1.5mm

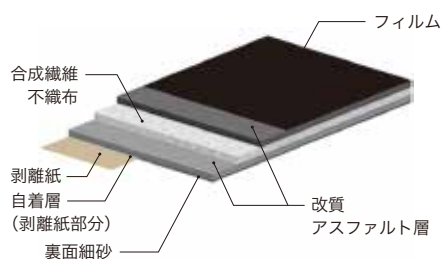
ダンパーシート



断熱工法に使用する防湿層兼断熱材固定用シート。

1m×32m巻
厚さ:0.8mm(自着層を含む)

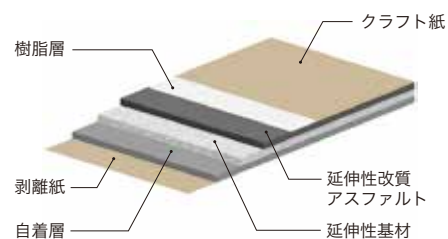
クールスポットB



機械的固定工法用下貼りシート。
表面にディスク固定用の目印が印刷されている。

1m×12m巻
厚さ:2.4mm

エンシンシート



延伸性があり、出入隅・ドレン廻りなどの複雑部位に切り込みを入れずに施工できるシート。
(アスクールと組合わせての使用はできません)

450mm×8m巻
厚さ:1.5mm

メンテナンスシート



防水層に対する取り扱い・メンテナンス等の注意事項を記載した粘着タイプのシート。
専用プライマー付。

基本サイズ:A2サイズ(420mm×594mm)
他のサイズも対応可能
※受注生産品

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

下地処理材／下地調整材／接着剤／シール材

水性プライマーAS



コンクリートやモルタル下地に使用する、アスファルトと合成樹脂を配合したエマルジョンタイプのプライマー。オルタックシート類施工時に使用。

17kg/缶

アスファルトプライマー



コンクリートやモルタル下地に使用する、揮発性溶剤を用いた下地処理材。

15.5kg/缶
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しませんのでご注意ください。

アスファルトプライマーSS



コンクリートやモルタル下地に使用する、速乾性下地処理材。

16kg/缶

VTプライマー



アクリルウレタン系2液硬化型プライマー。既存が塩ビシートの場合、一層目に使用。

6kg/セット(主剤:2kg、硬化剤:4kg)

リベス／リベスSL



既存アスファルト防水層を活性化化する下地処理材。リベスSLは勾配用。

20kg/缶

リグレー／リグレーパウダー



下地補修用SBR系ポリマーセメントモルタル。リグレー(ポリマーセメントモルタル用SBR系エマルジョン混和液)とパウダーを混練して使用。

リグレー 18kg/缶
リグレーパウダー 厚塗り用:20kg/袋
薄塗り用:20kg/袋

リグレーエポ



荒れたコンクリート等の下地はもちろん、タイル、金属材などに被膜を形成。各種下地材への接着性に優れた水性エポキシ系の下地調整材。

28kg/セット
(主剤:4kg、硬化剤:4kg、パウダー:20kg)
*シルバー塗料の上には使用できません。

クールベース



水性ゴムアスファルト系下地調整材。既存アスファルト防水層撤去後の穴埋め、不陸調整他に使用。

クールベースパウダー 16kg/袋
クールベース 8kg/缶

クールグランド



既存防水層撤去後、新規防水層施工までの一時止水に用いる、速硬化タイプの仮防水材。

グランドパウダー 12kg/袋
クールグランド 8kg/缶

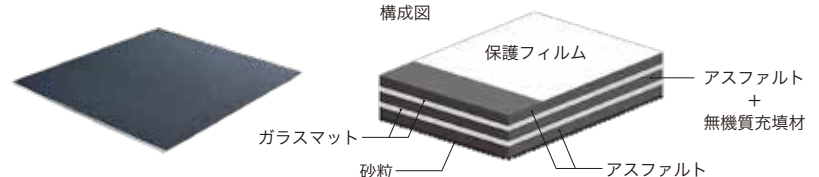
マルチグランド



既存防水と新規防水の種類を問わずに使用できる仮防水材。

グランドパウダー 12kg/袋
マルチグランド 10kg/箱

バリボードPS



アスファルトに無機質充填材を配合し板状に成型したパネル材。裏面は砂粒層で下地水分を拡散。容易に施工でき、耐衝撃性・耐圧縮性に優れる。

1m×0.9m/枚
厚さ:4mm
*砂付面を下にして使用。

レイコーセメント



合成ゴムを含有した改質アスファルトをペーストタイプに仕上げた、断熱材ギルフォームおよびバリボードPS貼付け用の接着剤。

18kg/缶

RBセメント



RBボード接着用のアスファルト系接着剤。

20kg/缶

ボンドE206



ALC下地機械的固定工法用の2液硬化型低粘度エポキシ注入材。

(注入量の目安: 5g/穴、600穴/セット)
3kg/セット (主剤: 2kg、硬化剤: 1kg) ×
4セット/箱

ガムホット



専用工具のガムホットサーバーで熱溶解して施工する改質アスファルト系シーリング材。施工後は常温ですぐ硬化する。

260g/本
20本/箱

ガムラップ



常温タイプの改質アスファルト系シーリング材。専用工具ガン1400またはエレメントガンを用いて施工する。

1.6kgチューブ
11本/箱

GCライン(カート/ジャンボ)



ガムクール防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用する変成シリコン系シーリング材。

320cc詰替型ソフトカート、850ccジャンボカート
各10本/箱
*GCラインは、アスファルトプライマーに接着しません
のでご注意ください。

強力ガムシール



ガムクール防水層の貼仕舞、ドレン、パイプ廻りなどに使用するゴムアスファルト系シーリング材。

330ccカートリッジ
20本/箱
20kg/缶、9kg/缶

テープ類／キャント類／断熱材／仕上げ材

メルトテープR



バーナーで炙る溶融タイプのテープ。

150mm×25m巻

ガムリッチ18



出入隅やドレン廻りなどの複雑部位に使用する、伸縮性にすぐれた増貼り用のゴムアス系両面テープ。

180mm×8m巻

ASパッチ



ASディスク固定後の増貼りやクールスポットBに使用する片面粘着層付テープ。

200mm×16m巻

VTテープ50



ステップエッジ固定に使用する両面テープ。

50mm×15m巻
3巻/箱

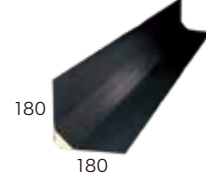
バリテープC



バリボードPSの目地部増し貼り用。剛性が高く強靱な片面粘着層付テープ。

100mm×20m巻
8巻/箱

ガムキャントFX



コーナー用成型キャント材。片側に100mm幅のラップ部分がある。

(本体長さ910mm+ラップ100mm)
20本/箱

RBキャント1500



立上り防水層を、押えコンクリートの挙動から保護する発泡ポリエチレン製緩衝材。裏が粘着面で、立上り際の下地になじむよう切込み入り。

20mm×150mm×1,500mm
34本/箱

ギルフォームS/W



写真はギルフォーム35S

外断熱用の硬質ウレタンフォーム。熱伝導率が極めて低い炭化水素系発泡ガスを内包した、完全ノンフロンタイプの断熱材。SとWの2サイズがある。

S 605mm×910mm
W 900mm×1,200mm ※Wは受注生産品
厚さ:25、30、35、40、50、60mm

RBボード
スタイロフォームRB-GK-II



RBボード スタイロフォームRB-GK-II

押えコンクリート打設工法に最適な、完全ノンフロンタイプ硬質ポリスチレンフォーム断熱材。

910mm×910mm
厚さ:25、30、35、40、50、60mm

SPファインカラー／SPミッドカラー



アクリル樹脂を主成分とする、アスファルト系防水材専用エマルジョン塗料。SPファインカラーは日射反射率50%以上の高反射塗料。

18kg/缶

SPスーパーサーモコート
SPサーモコート



アクリル樹脂を主成分とするエマルジョンと骨材で構成された、高耐久・高反射厚膜水性保護塗料。断熱工法に適用可能。

18kg/缶

SPクリーンカラー



土、砂、花粉、珪藻類等の自然環境に起因した堆積物の影響から防水層表面を保護する効果を持つ、骨材入り高反射保護塗料。

18kg/缶

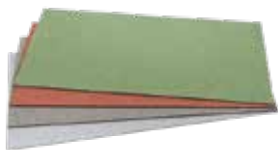
SPトナー



SPシリーズの2度塗り仕様に用いる工程管理用着色材。1度目の塗布時に保護塗料に添加して色味を変え、施工部位を見分ける。

1kg/缶(計量カップ付)

バリキャップP



表面を彩色砂や自然色砂で仕上げたアスファルト成型板。(バリキャップ自体に粘着層はついていません)

500mm×1,000mm
厚さ:6mm
5.1kg/枚

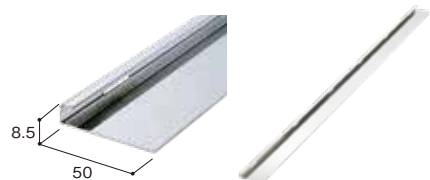
ステップスクエア500



天然の砂粒を成型した粘着層付き防水層保護板。

500×500mm 厚さ:7.5mm(12kg/m²) 6枚/箱
*美観を維持するため、クリアタイプのステップトップ(主剤:15kg、硬化剤:3kg)を約3年ごとに塗布することをおすすめします(0.2kg/m²)。

ステップエッジ



ステップスクエア500、ガムロンタイルの端部保護を兼ねた、ステンレス製見切り材。VTテープ50を用いて固定する。側面に水抜用の穴あり。

50mm×1,000mm
10本/箱

ガムロンタイル



歩行用磁器タイル保護仕上げパネル。裏面は粘着層付。

300mm×300mm 厚さ:8mm(1.2kg/枚)
18枚/箱 ※受注生産品
*端部保護のため、見切り材ステップエッジ(50mm×1,000mm)をご使用ください。

RBタイル



ポリスチレン系断熱材とモルタルを同時成型した複合タイル。

450mm×450mm
総厚:67mm(断熱材厚さ:50mm)
8kg/枚

ウィンドバー(低層用)
ウィンドブロック(中層用)

RBタイル用縁見切り材。

ウィンドバー 60mm×30mm×2,730mm
ウィンドブロック 63mm×170mm×600mm

サンドイッチ金具



RBタイル相互連結用金具。

上下金具+ビス1個/セット

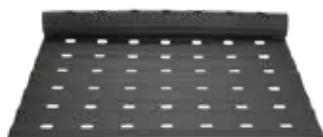
エイブロックBF/BJ



合成樹脂ネットで補強したセメント系成型パネル。パネル目地部分で折り曲げ、下地の不陸等になじませて設置ができる。

600mm×600mm
厚さ:25mm 20kg/枚
※受注生産品

エイマット



エイブロック敷設用のクッション材。

1,000mm×1,000mm
厚さ:7mm 35枚/袋

縁石ブロック
連結用プラグビス(BJ用)

エイブロック用縁見切材とBJ連結用ビス。

縁石ブロック 120×600mm 厚さ:60mm
連結用プラグビス プラグ+ビス50セット/袋
色:グレー

絶縁クロス1000



ポリプロピレンのフラットヤーンクロスを使用した絶縁材。押えコンクリート仕上げ断熱工法に使用する。

1m×100m巻

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

アンカー類／ディスク類／雨仕舞材

	PLアンカー 50	PLアンカー 80	PLアンカー 100	PLアンカー 125	PLアンカー 150	エアピン30	エアピン35
							
材質	ステンレス製					ステンレス製	
適応下地	コンクリート下地					コンクリート下地 (PC不可)	
固定方式	ねじ込みタイプ					エアツール打ち込み	
径×長さ	7×50mm	7×80mm	7×100mm	7×125mm	7×150mm	3.6×30mm	3.6×35mm
荷姿	100本/箱 (締付専用ビット付)					100本/箱	
ドリル径	6mm					－	
埋め込み深さ	40mm以上					20～30mm	
有効取付 厚さ*1	0～10mm	10～40mm	35～60mm	60～85mm	85～110mm	0～10mm	5～15mm

*1 固定可能な断熱材などの厚さ

	UPアンカー35	UPアンカー50	UPアンカー60	UPアンカー75	UPアンカー 8-60	UPアンカー 8-80	UPアンカー 8-100	UPアンカー 8-120
								
材質	ビス:ステンレス製/プラグ:樹脂製				ビス:ステンレス製/プラグ:樹脂製			
適応下地	コンクリート下地				コンクリート下地・ALC下地			
固定方式	ねじ込みタイプ				ねじ込みタイプ			
径×長さ	6×35mm	6×50mm	6×60mm	6×75mm	8×60mm	8×80mm	8×100mm	8×120mm
荷姿	100本セット/箱				100本セット/箱			
ドリル径	6mm				8mm			
埋め込み深さ	30mm以上				40mm以上			
有効取付 厚さ*1	0～5mm	5～20mm	20～30mm	20～45mm	0～20mm	20～40mm	40～60mm	60～80mm

*1 固定可能な断熱材などの厚さ

ASディスク



PLアンカー、UPアンカーなどを使用して固定。

材質：亜鉛メッキ鋼板
直径：60mm 穴径：7mm
100枚/箱

AMディスク



UPアンカー 8-60、8-80、8-100、8-120を使用して固定。

材質：亜鉛メッキ鋼板
直径：60mm 穴径：8mm
100枚/箱

ディスク60



エアピン30、35を使用してエアロスミスにて固定。

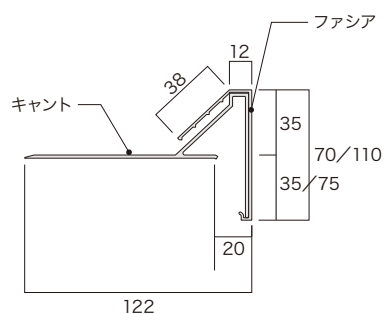
材質：ガルバリウム鋼板
直径：60mm 穴径：4mm
100枚/箱

フラッシュエッジ70A/110A



防水層挟み込み式のアルミ製端部水切材。

色：70A シルバー、T-11※、T-3、T-4※
110A シルバー、T-11※、T-3、T-4※
※受注生産色



(単位：mm)

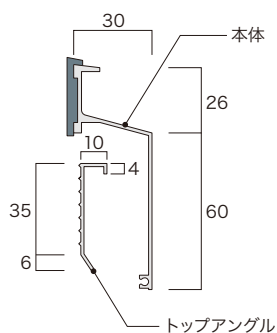
	キャント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ：3,000 厚さ：1.7	長さ：2,995 厚さ：1.7	長さ：80 厚さ：0.6
ビス穴	7穴 450間隔	—	—

フラッシュトップ60



防水層上り端未用のアルミ製水切材。

色：シルバー、T-11※、T-3、T-4※
※受注生産色

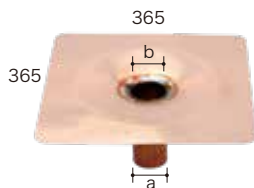


(単位：mm)

	キャント	ファシア	ジョイント板
規格	長さ：2,995 厚さ：1.3	長さ：3,000 厚さ：1.2	長さ：80 厚さ：0.6
ビス穴	7穴 450間隔	—	—

ドレン／ベーパー／施工用具

リードレンCたて



改修工事用たて型銅製ドレン。
既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

9サイズあり(標準品は5サイズ)

*詳細については「リードレンC」のカタログをご参照ください。

リードレンCたて 規格

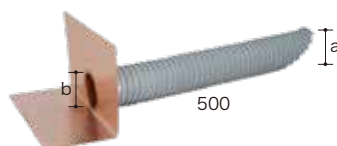
(単位:mm)

呼称	35※	45※	50※	60	65	75	80	95	120※
外径(a)	34.5	44.5	49.5	58	64	74	79.5	94.5	119
内径(b)	33.1	43.1	48.1	56.6	62.6	72.6	78.1	92.9	117.4

※印は受注生産品(納期約2週間)

※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンの筒外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

リードレンC横



改修工事用横型銅製ドレン。
既存ドレンの上に設置することで二重ドレンシステムとなる。専用アンカー付属。

7サイズあり(標準品は3サイズ)

*詳細については「リードレンC」のカタログをご参照ください。

リードレンC横 規格

(単位:mm)

呼称	40※	50※	60	75	90	115※	140※
ホース 外径(a)	39.8	45.9	59.9	72.6	85.8	112	137.2
筒 内径(b)	30.4	36.4	49.4	60.8	73.4	99.4	124.9

※印は受注生産品(納期約2週間)

※既存ドレンの内径を採寸し、リードレンのホース外径が既存ドレン内径より小さいサイズを選定してください。

トルネードドレンたて80/90



改修用排水量改善たて型二重ドレン。排水口の羽根形状で排水量を増加する画期的な構造。新築時の直径100mm縦引きドレンと同等の排水力。

各1個/箱

(キャップ、専用ナット、専用シリコンゴム付)

ドレンキャップ190/AS

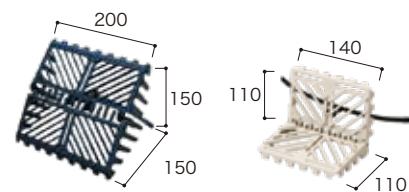


アルミダイキャスト製縦引き用ドレンキャップ。
ステンレス製板バネ(樹脂製キャップ付)をドレン内部に差し込んで設置。

ドレンキャップ190 色:黒 1個/箱

ドレンキャップAS 色:黒、ライトグレー 5個/箱

ドレンキャップ横引用C200/AS

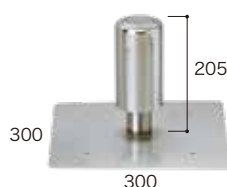


角度調節ができるアルミダイキャスト製ドレンキャップ。
固定用ステンレス製板バネ付。

ドレンキャップ横引用C200 色:黒 1個/箱

ドレンキャップ横引用AS 色:ライトグレー 1個/箱

ステンレスベーパー

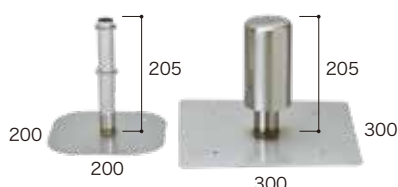


防水層のフクレを解消するための平面部用ステンレス製通気材。

70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

ステンレスベーパーW

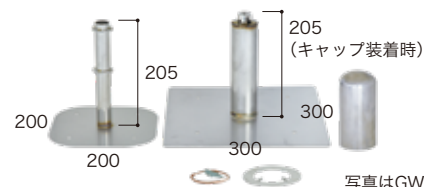


断熱工法に使用する、二重式の平面部用ステンレス製通気材。

70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

ステンレスベーパーG/GW



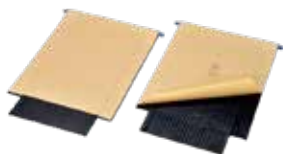
逆流防止弁付の平面部用通気材。

Gは非断熱用、GWは断熱工法用の二重式。

70~80m²に1カ所の割合で設置。

1個/箱

ペーパス



合成ゴム製の立上り部用通気材。
10mに1ヵ所程度を目安に設置。

幅:240mm
高さ:350、500、700、1000mm
各サイズ 5枚/箱

エレメントガン



接着剤、シーリング材電動塗布機。ガムラップ、シングルセメントバック1.4のほか、GCライン等の標準カートリッジ、ジャンボカートに適用。

専用ボックス入り
(各種接着剤、シール材に対応したホルダー3種を同梱)

ガムホットサーバー



ガムホット溶融、保温用の専用ポット。
100V電源により作動する。

タンク式・三脚セット
※受注生産品

ガン1400



シングルセメントバック1.4、ガムラップ塗布用。

シリンダー径:70mm
シリンダー長:420mm

ルーフィングカッターDXII



ガムクール剥離紙のみをカットできる特殊形状のカッター。先端のベロ(舌)状金属製ガイドにより剥離紙が破けにくくなっている。

長さ:165mm
1本
*市販の替え刃(NTカッター)を使用してください。

ルーフ押し器C(冷工法用)



転圧を掛けながら、剥離紙をロールに巻き取る冷工法用ルーフィング専用工具。筒状に巻き取られた剥離紙は、ロールを外して処分できる。

重量:8.5kg

平板転圧ローラー/Si



転圧施工用の樹脂製小型ローラー。
平板転圧ローラーSiは、ローラー部がシリコーンチューブ製。

ローラー幅:145mm
直径:約20mm Si 約27mm
各1個

ステッチャー



防水シートの出入隅部、3枚重ね部等の転圧用ローラー。

5本/セット

転圧ローラー230L/230M



平面部用の転圧ローラー。
防水層が傷つかないようにローラー表面をゴム被覆してある。

転圧ローラー 230L(大型) 重量:10kg
転圧ローラー 230M(中型) 重量:4kg

レイコーディッシャー



レイコーセメントを用いた点貼りの施工時などに、一定量を塗布できる塗布用工具。

2個/箱

ガン1500用二又ノズル



ガムクールキャップのラップ部分に、内・中シールを同時に適量で施工できる鋳物製の専用ノズル。ガン1500に取り付けて使用。

1個/袋

ステンレスバンドF



貫通管など、パイプ廻りの防水層端末部固定用バンド。パイプの寸法に合わせて切断して使用するフリーサイズ品。

バンド 5m
クリップ 10個/袋

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

シングル関連部材／雨仕舞材

シングル



彩色焼成砂仕上げのスタンダード品。

厚さ：約2.8mm

ロフティー



天然スレート砂で仕上げた、ハイグレードシングル。

厚さ：約4.0mm

入り数

	シングル	ロフティー
本体(束)	20枚入 葺き足140mm	14枚入 葺き足140mm
棟用(束)	本体を加工	ロフティー 棟 14枚入(42片分)
谷用(巻)	谷用シングル 925mm×6m	ロフティー 谷 925mm×6m
有効面積/束 (本体)	2.56m ²	1.79m ²

【シングルカラーバリエーション】

〈一般焼成彩色砂シリーズ〉



SA-8 アンティークグリーンⅡ



SA-12 バイングロープⅡ



SA-200 ブラックスワンⅡ



SA-310 パイニーブラウンⅡ



SA-320 ブライトグレー



SA-330 クラシックレッド



SA-401 リッチブラウン※



SA-402 ディープブルー※



SG-601 クロスグレー※

〈光触媒シリーズ〉



SC-501 シルキーグレー※



SC-502 カシブラウン※



SC-505 ハイブリッドホワイト※



SC-701 グランホワイト※

【ロフティーカラーバリエーション】



LA-1 ロイヤルブラックⅡ



LA-4 メッドブラウンⅡ※

※受注生産品(納期約2週間)

ガムクールM



改質アスファルトを主原料とし、裏面に粘着層を設けたシングル専用下葺材。

1m×10m巻
厚さ：1.5mm

シングルセメント



アスファルトをベースにしたシングル用接着剤。

シングルセメント 20kg/缶
シングルセメントパック1.4
1.4kg×12パック/箱

コンクリートネイル19／35



写真はコンクリートネイル19

コンクリート下地で使用する、亜鉛メッキ製シングルズレ止め用釘。

コンクリートネイル19 長さ：19mm
4kg/箱(約3,980本入)
コンクリートネイル35 長さ：35mm
4kg/箱(約2,280本入)

シルバー

T-11*

T-3

T-4*

(単位:mm)

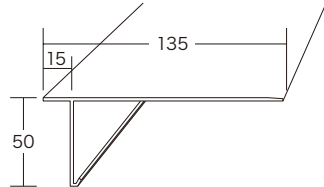
水切金物(アルミ製)

軒先用

ケラバ用

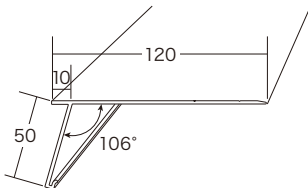
その他部位用

シングルドリッパーS



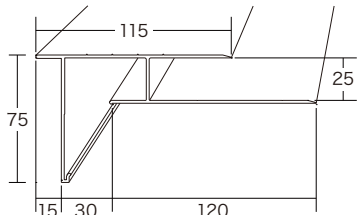
長さ:2,000mm 厚さ:1.4~2.0mm

シングルドリッパーK



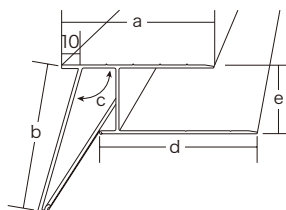
長さ:2,000mm 厚さ:1.8~2.0mm

シングルドリッパーT25



長さ:2,000mm 厚さ:1.7~2.0mm

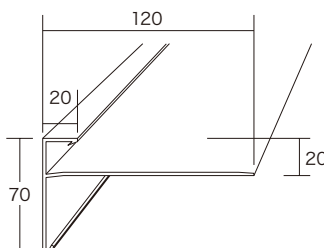
シングルドリッパーT30/T35/T50



長さ:2,000mm

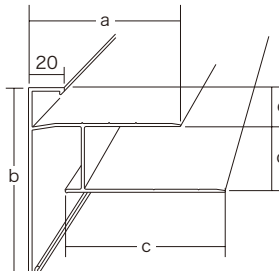
	T30	T35	T50
厚さ	1.7~2.0	1.7~2.0	2.0
a	85	85	85
b	85	85	100
c	106°	106°	106°
d	87	87	90
e	30	35	50

シングルエッジS



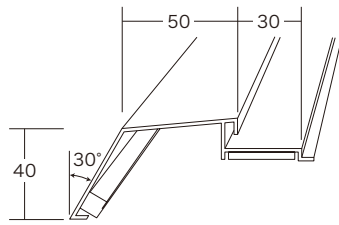
長さ:2,000mm 厚さ:1.5~2.0mm

シングルエッジT25/T30/T35/T50



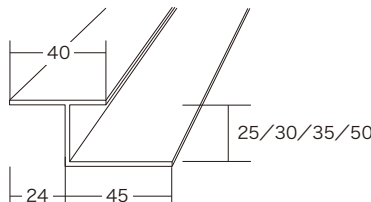
長さ:2,000mm

フラッシュカバー120



長さ:3,000mm 厚さ:1.4mm

アルミ中間浅木25S/30S/35S/50S



長さ:2,000mm 厚さ:1.1~1.2mm

ビス穴径 直径:6mm共通

ビス穴数 フラッシュカバー120 7穴(450mm間隔)、中間浅木 7穴(300mm間隔)、それ以外 7穴(300mm間隔)

*受注生産色(アルミ中間浅木はシルバー色のみ、雪止め金具はシルバー色なし)

※軒先用をケラバに流用する場合があります。

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

※シングル、ロフティーならびに水切金物の色は、印刷のため現物との色差がありますので、ご決定の際は現物見本などをご参照ください。

※金物類厚みについては、主要部分の厚みを表示しています。

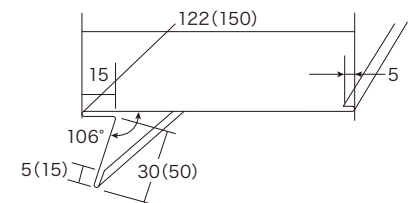
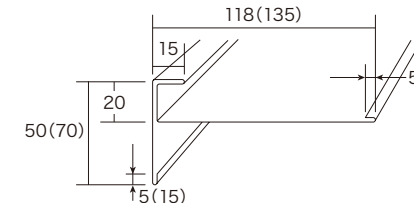
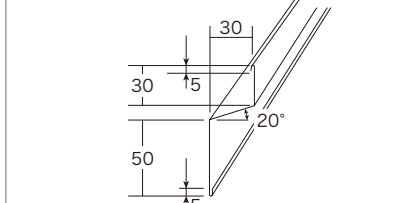
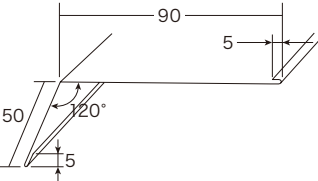
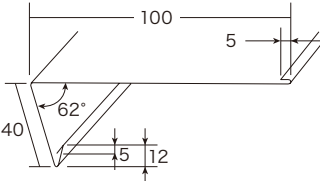
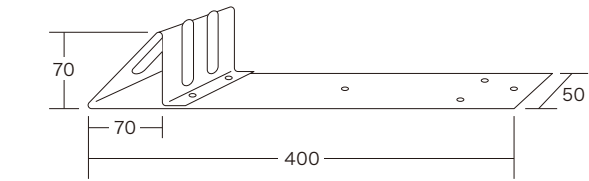
シングル関連雨仕舞材

新茶

黒

シルバー*

(単位:mm)

水切金物(ステンレス製 SUS304)		
軒先用	ケラバ用	その他部位用
ステンレスノキサキ/ステンレスノキサキL  長さ:2,000mm 厚さ:0.4mm 10本/箱 ()内はステンレスノキサキL	ステンレスケラバ/ステンレスケラバL  長さ:2,000mm 厚さ:0.4mm 10本/箱 ()内はステンレスノケラバL	ステンレストップ  長さ:2,000mm 厚さ:0.4mm 10本/箱
受注加工水切		雪止め金具
ステンレスノキサキKタイプ  長さ:2,000mm 厚さ:0.4mm 各10本/箱	ステンレスノキサキJタイプ  長さ:2,000mm 厚さ:0.4mm 各10本/箱	雪止め金具  長さ:2,000mm 厚さ:1.5mm 20個/箱

*受注生産色(アルミ中間棧木はシルバー色のみ、雪止め金具はシルバー色なし)
※軒先用をケラバに流用する場合があります。
※各材料の寸法は実際の製品と若干異なる場合があります。
※水切金物の色は、印刷のため現物との色差がありますので、ご決定の際は現物見本などをご参照ください。
※金物類厚みについては、主要部分の厚みを表示しています。

塗膜防水材料

アスクール



アスファルト系材料との接着性に優れる、立上り専用の反応硬化型改質アスファルト塗膜防水材料。

12kg/セット (A剤:1.5kg、B剤:10.5kg)

SPベース



アスクール上に塗布するアクリルエマルジョン系保護塗料。付属の砂骨ローラーにて塗布する。

8kg/缶 (砂骨ローラー付)

マットFC



ポリエステル繊維を用いたアスクール補強用マット。

1,050mm×50m巻

OTプライマーA



コンクリート、モルタル下地用。四季を問わず通年で使用できる1液型のウレタン系プライマー。

16kg/缶

速硬化OTプライマーMブルー



塗布した部分が識別しやすいよう青色に着色した速乾性の既存ウレタン防水用仲介プライマー。

8kg/缶

立上り用オルタックエース



立上り用ウレタン防水材料。チクソ性が高いためダレにくく、鉛非含有による高耐久化と特化則・有機則非該当の環境性能を両立。

24kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:16kg)
配合比 1:2
硬化物密度 1.3Mg/m³

メッシュUB/メッシュUBのり付き/メッシュUBソフト



密着工法用補強材。メッシュUBはガラス繊維を用いた強靱な補強布。メッシュUBソフトは柔軟性のあるポリエステルを用いた補強布。

メッシュUB 1,040mm×100m巻
のり付き 1,040mm×100m巻
ソフト 1,020mm×50m巻

OTコートシリコン



シリコン変性アクリルウレタン系の高耐久保護塗料。新配合で耐候性、耐久性が向上。フッ素保護塗料と同等の性能を有する。

14kg/セット (主剤:6kg、硬化剤:8kg)

OTシール



オルタックシート端末部に施工する、速乾性1液のウレタン系シーリング材。

320ccカートリッジ
10本×2箱/梱包

アクアベース



アスファルト系材料との併用が可能な2液型アクリルゴム系塗膜防水材料。溶剤不使用の水系材料で、有機則・特化則非該当。

20kg/セット (主材:19kg、添加剤:1kg)

アクアプライマー



アクアベース専用の2液型水系エポキシプライマー。

16kg/セット (A剤:8kg、B剤:8kg)

アクアルーフ



ポリエステル繊維を用いたアクアベース補強用不織布。

1,050mm×20m巻

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。

材料一覧

種類	品名	規格	備考
シート類	ガムクールキャップEX	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類
	ガムクールキャップ	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出複層用R種Ⅱ類
	彩色ガムクールキャップEX	1m×8m巻	彩色砂付改質アスファルトシート 色：新緑、赤茶 JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類 受注生産品
	ガムクールキャップAS	1m×8m巻	砂付改質アスファルトシート JIS A 6013 露出単層用R種Ⅱ類 受注生産品
	ガムクールFX／FX-33	ガムクールFX 1m×16m巻 FX-33 330mm×16m巻	中貼り用改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	ガムクールFS	1m×16m巻	部分粘着型改質アスファルトシート
	ガムクールFSⅡ	1m×16m巻	部分粘着型改質アスファルトシート JIS A 6013 非露出複層用R種Ⅱ類
	ガムクールM	1m×10m巻	シングル下葺用改質アスファルトシート
	ガムクールベースE	1m×12m巻	バリキャップ仕上工法用下貼り改質アスファルトシート
	ダンパーシート	1m×32m巻	防湿用部分接着型改質アスファルトシート
	クールスポットB	1m×12m巻	機械的固定用改質アスファルトシート
	エンシンシート	450mm×8m巻	延伸性増貼りシート
下地処理材・下地調整材・接着剤	水性プライマーAS	17kg/缶	アスファルト系水性プライマー
	アスファルトプライマー	15.5kg/缶	溶剤型アスファルト系プライマー
	アスファルトプライマーSS	16kg/缶	速乾性溶剤型アスファルト系プライマー
	アスファルトプライマーDC	16.4kg/缶	強溶剤型アスファルト系プライマー 受注生産品
	VTプライマー	6kg/セット(主剤：2kg、硬化剤：4kg)	塩ビシート用アクリルウレタン系プライマー 色：クリア
	リベース／リベースSL	20kg/缶	アスファルト系下地活性材(リベースSLは勾配用)
	リグレー	18kg/缶	下地調整用ポリマーセメントモルタル SBR系混和液
	リグレーパウダー厚塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 粗粉体
	リグレーパウダー薄塗り用	20kg/袋	下地調整用ポリマーセメントモルタル 細粉体
	リグレーエポ	28kg/セット (主剤：4kg、硬化剤：4kg、パウダー：20kg)	下地調整用速硬型水性エポキシ系樹脂モルタル
	クールベース	クールベース：8kg/缶 パウダー：16kg/袋	水性ゴムアスファルト系下地調整材
	クールグラント	8kg/缶	速硬型水性ゴムアスファルト系仮防水材
	マルチグラント	10kg/箱	既存防水撤去後の仮防水材
	グラントパウダー	12kg/袋	速硬化特殊セメント粉体・骨材
	レイコーセメント	18kg/缶	バリボードPS、ギルフォーム用接着剤
	RBセメント	20kg/缶	ポリスチレンフォーム断熱材用アスファルト系接着剤
	ボンドE206	3kg/セット (主剤：2kg、硬化剤：1kg)×4セット/箱	アンカー固定補強用エポキシ注入剤
	バリボードPS	1m×0.9m 厚さ：4mm	絶縁用複合防水下貼りアスファルト成型板
テープ材	ガムリッチ18	180mm×8m巻	コーナーおよびドレン廻り用増貼りテープ
	ASパッチ	200mm×16m巻	機械的固定工法用増貼りテープ
	バリテープC	100mm×20m 8巻/箱	バリボードPS用ジョイントテープ
	メルトテープR	150mm×25m巻	エンドラップシール用熱熔融テープ
	VTテープ50	50mm×15m 3巻/箱	ステップエッジ固定用

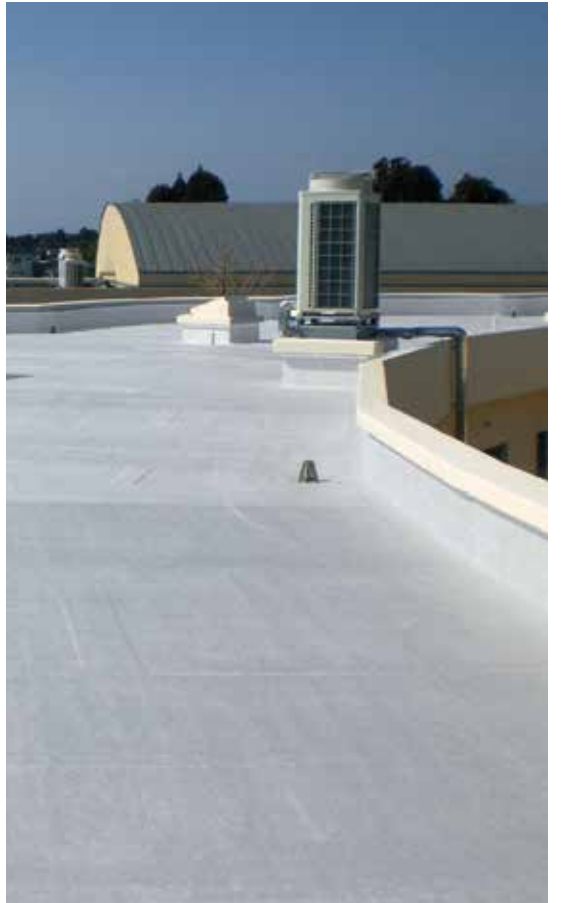
※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
シール材	ガムホット	260g/本 20本/箱	ホットメルトタイプシーリング材
	ガムラップ	1.6kgチューブ×11本/箱	改質アスファルト系シーリング材
	GCライン	320cc詰替型ソフトカート 850ccジャンボカート 各10本/箱	変成シリコン系シーリング材 (塗布量目安:外シール 40cc/m、内シール 30cc/m)
	強力ガムシール	330ccカートリッジ 20本/箱 20kg/缶、9kg/缶	ゴムアスファルト系シーリング材
	OTシール	320ccカートリッジ 10本×2箱/梱包	ウレタン系シーリング材(速乾性1液)
キャン ト類	ガムキャントFX	長さ:910mm 20本/箱	入隅用増貼材付コーナー部材
	RBキャント1500	長さ:1,500mm 34本/箱	コーナー用緩衝材
断熱材	ギルフォームW	900×1,200mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム 受注生産品
	ギルフォームS	605mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60、70、75mm	耐熱型硬質ウレタン系フォーム S70、S75は受注生産品
	RBボード	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	スタイロフォームRB-GK-II	910mm×910mm 厚さ:25、30、35、40、50、60mm	ノンフロン押出法ポリスチレンフォーム断熱材
	絶縁クロス1000	1m×100m巻	ポリプロピレン製フラットヤーンクロス
仕上 げ材	SPスーパーサーモコート	18kg/缶	高反射・防火エマルション系保護塗料 色:1色
	SPサーモコート	18kg/缶	高反射・防火エマルション系保護塗料 色:3色
	SPクリーンカラー	18kg/缶	高強度・高反射エマルション系保護塗料 色:3色
	SPファインカラー	18kg/缶	高反射エマルション系保護塗料 色:4色
	SPミッドカラー	18kg/缶	高反射・低明度エマルション系保護塗料 色:4色
	SPマルチカラー	18kg/缶	エマルション系保護塗料 色:3色
	SPTナー	1kg/缶(計量カップ付)	保護塗料工程管理用着色材
	バリキャップP	500mm×1m 厚さ:6mm	彩色砂付アスファルト成型板仕上げ材 色:4色
	ステップスクエア500	500mm×500mm 厚さ:7.5mm 6枚/箱	天然砂粒成型板仕上げ材 色:4色
	ガムロンタイル	300mm×300mm 厚さ:8mm 18枚/箱	粘着層付磁器タイル仕上げ材 色:4色 受注生産品
	ステップエッジ	50mm×1m 10本/箱	ステップスクエア用ステンレス製端部見切り材
	RBタイル	450mm×450mm 厚さ:67mm	セメント系断熱タイル
	エイブロックBF/BJ	600mm×600mm 厚さ:25mm	セメント系タイル 受注生産品
	エイマット	1m×1m 厚さ:7mm 35枚/袋	エイブロック用緩衝材
アン カー 類	UPアンカー35/50/60/75	アンカー長さ:35、50、60、75mm 100本セット/箱	機械的固定用アンカー
	UPアンカー 8-60/8-80/8-100/8-120	アンカー長さ:60、80、100、120mm 100本セット/箱	機械的固定用アンカー
	PLアンカー 50/80/100/125/150	アンカー長さ:50、80、100、125、150mm 100本セット/箱	機械的固定用アンカー(締付専用ビット付)
	エアピン30/35	アンカー長さ:30、35mm 100本セット/箱	機械的固定用アンカー(エアロスミス用)
デ ィ ス ク 類	ASディスク	直径:60mm 厚さ:1.6mm 100枚/箱	機械的固定用ディスク
	AMディスク	直径:60mm 100枚/箱	機械的固定用ディスク(ALC下地用)
	ディスク60	直径:60mm 100枚/箱	機械的固定用ディスク(エアロスミス用)

材料一覧

※各材料の寸法と重量は実際の製品と若干異なる場合があります。
 ※改質アスファルトシート類につきましては、納品時に一定の割合で1ヵ所切断している製品(2ピース品)が混在しておりますので、ご了承ください。

種類	品名	規格	備考
雨仕舞材	フラッシュエッジ70A	長さ:3,000mm	防水層端部アルミ雨仕舞材
	フラッシュトップ60	長さ:3,000mm	立上り部アルミ雨仕舞材
ドレン・ペーパー	リードレンCたて	1個	改修用銅製ドレン(専用アンカー付属)
	リードレンC横	1個	改修用銅製ドレン(専用アンカー付属)
	トルネードドレンたて80/90	筒外径:80、88mm 1個/箱	改修用排水量改善タテ型ドレン (キャップ、専用ナット、シリコンゴム付)
	ドレンキャップ190	1個/箱	タテ型用キャップ(大) 色:黒
	ドレンキャップAS	5個/箱	タテ型用キャップ(小) 色:黒、ライトグレー
	ドレンキャップ横引用C200	1個	横引用キャップ 色:黒
	ドレンキャップ横引用AS	1個	横引用キャップ 色:ライトグレー
	ペーパー	高さ:350、500、700、1000mm 5枚/箱	立上り部用通気材
	ステンレスペーパー	1個/箱	平面部用通気材
	ステンレスペーパーW	1個/箱	平面部用通気材(断熱工法用)
	ステンレスペーパーG	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材
	ステンレスペーパーGW	1個/箱	逆流防止弁付 平面部用通気材(断熱工法用)
	ステンレスバンドF	バンド:5m クリップ:10個/袋	パイプ廻り防水層端部固定用金具
塗膜系防水材	アスクール	12kg/セット(A剤:1.5kg、B剤:10.5kg)	改質アスファルト反応型塗膜防水材
	SPベース	8kg/缶(砂骨ローラー付)	アスクール用エマルジョン系保護塗料
	マットFC	1,050mm×50m巻	立上り用不織布シート
	アクアベース	20kg/セット(主材:19kg、添加剤:1kg)	2液混合型アクリルゴム系塗膜防水材
	アクアプライマー	16kg/セット(A剤:8kg、B剤:8kg)	2液型水系エポキシプライマー
	アクアルーフ	1050mm×20m巻	防水層補強用ポリエステル不織布
	アクアルーフ200	210mm×20m巻	防水層補強用ポリエステル不織布
	OTプライマーA	16kg/缶	ウレタン系プライマー(コンクリート、モルタル下地用)
	KYプライマーエポ金属用	11kg/セット (主剤:8kg、硬化剤:2kg、専用シンナー:1kg) 0.55kg/セット (主剤:0.4kg、シンナー入り硬化剤:0.15kg)	金属下地用、さび止め用 エポキシ系プライマー(汎用溶剤タイプ)
	速硬化OTプライマーMブルー	8kg/缶	速乾性青色着色ウレタン系伸介プライマー (ウレタン下地用)
	立上り用オルタックエース	24kg/セット(主剤:8kg、硬化剤:16kg)	立上り用ウレタン防水材 配合比1:2 JIS A 6021
	メッシュUB	1,040mm×100m巻	ウレタン防水材補強用ガラスメッシュ
	エンドラップテープ 50/100/200	50、100、200mm×50m巻	粘着層付補強用ガラスメッシュテープ
	OTコートA	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	アクリルウレタン系保護塗料 色:標準色4色(半つや) 受注生産品4色(半つや)
	OTコートクール	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高反射型アクリルウレタン系保護塗料 色:2色(半つや)
	OTコートシリコン	14kg/セット(主剤:6kg、硬化剤:8kg)	高耐久シリコン変性アクリルウレタン系保護塗料 色:3色(つやあり)



使用上の注意とメンテナンス ― ガムクール防水の維持管理 ―

ご使用時の注意点

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

- 通常時における防水層上の歩行および使用は厳禁です。
- 維持補修の目的で防水層上を歩行する際には、防水層を損傷する可能性の低い履物（ゴム底の靴などの柔らかい履物）を使用してください。
- 防水層の表面が雨や雪でぬれていたり、落葉、苔、砂、埃などが堆積していると防水層上は滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 防水層上に溶剤、油、薬品類をこぼさないよう、注意してください。万が一、こぼれてしまった際には専門工事店にご相談ください。
- 防水層に傷をつけたり、防水層上で物を落としたり、引きずったりすることは避けてください。
- 雪下ろしには、金属製のスコップなどの防水層を損傷させやすい道具を使用しないでください。
- 防水層の上に、重量物や振動物を載せないでください。
やむを得ない場合には、バリキャップや防振ゴム等、防水層の養生となる物で防水層を保護してください。
- たばこの投げ捨てや防水層の上での火気使用は厳禁です。
- 防水層上に直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。

〈押えコンクリート仕上げ〉

- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。植栽をご希望の際には、専門工事店にご相談ください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。

〈ステップスクエア、ガムロンタイル仕上げ〉

- ステップスクエア、ガムロンタイル上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれている場合は、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 火気の使用、直接客土して草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈バリキャップ仕上げ〉

- バリキャップ上での運動はお控えください。
- バリキャップのフクレなどで利用上支障が生じている際には、専門業者にご相談ください。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- 断熱工法の場合は、原則として屋上利用はできません。

〈エイブロック、RBタイル仕上げ〉

- エイブロック上での運動はお控えください。
- 表面が雨や雪でぬれていると滑りやすくなりますので、歩行の際には転倒にご注意ください。
- 表面が白くなることがありますが、強度には影響ありません。
- 火気の使用、直接客土しての草木の植栽を行わないでください。
- 植物の生育が確認された場合には、専門工事店にご相談ください。
- セメント製品ですので地域や気象条件により凍害や白華現象を生じる場合があります。ご了承ください。
また、凍害や白華現象の発生抑制のため、できる限り排水を良くし、水たまりを作らないようにしてください。

〈露出防水仕様〉

- 露出防水仕様においては下記のような状況が見られることがありますが、防水性能に支障はありません。
 - ・下地の含有水分による防水層のふくれや、砂付ルーフィングの砂粒の隙間に入り込んだ湿気による表層のフクレ
 - ・雨水が滞留しやすい箇所に粉塵、泥、花粉、黄砂等が堆積し、乾燥収縮する事で生ずる表層クラック
 - ・砂付ルーフィングに付着している余剰砂の脱落
 - ・砂に含有される鉄分による錆

定期的なメンテナンスのお願い

〈砂付ルーフィング仕上げ〉

○防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生の有無、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

○仕上塗料の塗り替え…塗料により塗り替え時期が異なるのでご相談ください。

〈押えコンクリート仕上げ〉

○植物の発生状況の点検、清掃…1年に1回

伸縮目地部・ドレン廻りの植物の発生状況、伸縮目地部・ドレン廻りに堆積している土砂の除去

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃

〈ステップスクエア仕上げ〉

○ステップトップの塗り替え…3年に1回程度

○ステップスクエア表面状況の点検…1年に1回

ステップスクエアの割れの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況。

〈バリキャップ仕上げ〉

○バリキャップ表面状況の点検…1年に1回

バリキャップのフクレ・砂落ちの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の亀裂・破断の発生状況、仕上げ塗料の減耗状況、大きなフクレの発生状況、設備基礎廻りの劣化状況

○防水廻りの金物の点検…1年に1回

立上り押え金物の設置状況、金物廻りのシーリングの劣化状況、水切金物・笠木の設置状況

○ルーフトレン、排水溝、排水経路の点検、清掃…1年に2回

ゴミの清掃、ドレン廻りでの植物の生育状況

〈エイブロック、RBタイル、ガムロンタイル仕上げ〉

○エイブロック、RBタイル、ガムロンタイル表面状況の点検…1年に1回

エイブロック、RBタイル、ガムロンタイルの割れの発生状況の点検

○立上り防水層の表面状況の点検…1年に1回

防水層の点検・補修および仕上げ塗料の塗り替えは専門技術が必要です。弊社または専門工事に依頼してください。(有償)

※保護塗料は経年によりひび割れや減耗を生じます。これらの現象は防水性能に支障を及ぼすものではありませんが、保護塗料は定期的な塗り替えを推奨します。

※シール材は経年によりひび割れや減耗を生じます。納まりが適切であれば、これらの現象は防水性能に直ちに支障を及ぼすものではありませんが、シール材は定期的な打ち替えを推奨します。

北海道防水改修事業センター

東北防水改修工事協同組合

関東防水管理事業協同組合

東海防水改修工事協同組合

北陸防水改修事業センター

関西防水管理事業協同組合

中国防水改修事業センター

九州防水改修工事協同組合

田島ルーフィング株式会社
<https://www.tajima.jp>

東京支店

〒101-8579 千代田区外神田4-14-1
TEL 03-6837-8888

大阪支店

〒550-0003 大阪市西区京町堀1-10-5
TEL 06-6443-0431

札幌営業所

〒060-0042 札幌市中央区大通西6-2-6
TEL 011-221-4014

仙台営業所

〒980-0021 仙台市青葉区中央1-6-35
TEL 022-261-3628

北関東営業所

〒330-0801 さいたま市大宮区土手町1-49-8
TEL 048-641-5590

千葉営業所

〒260-0032 千葉市中央区登戸1-26-1
TEL 043-244-3711

横浜営業所

〒231-0012 横浜市中区相生町6-113
TEL 045-651-5245

多摩営業所

〒190-0022 立川市錦町1-12-20
TEL 042-503-9111

金沢営業所

〒920-0025 金沢市駅西本町1-14-29
TEL 076-233-1030

名古屋営業所

〒460-0008 名古屋市中区栄1-9-16
TEL 052-220-0933

広島営業所

〒730-0029 広島市中区三川町2-10
TEL 082-545-7866

福岡営業所

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-35
TEL 092-724-8111